

小橋工業(株)のホームページ(以下、弊社サイト)においては、カタログ・取扱説明書・パーツリスト等の電子データの閲覧、ダウンロードのサービス(以下、本サービス)をご提供しております。

本サービスをご利用の際には、以下の注意事項をご確認ください。

電子データの取扱いについて

電子データの内容について

- 本サービスにおいては、弊社製品のカタログ、取扱説明書、パーツリスト等、製品に関する全ての印刷物を網羅するものではありません。
- カタログ、取扱説明書、パーツリストの内容は、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。その為、弊社サイト内に掲載される電子データの内容は、販売店等で配布、掲示されるカタログ、製品購入時に同梱する取扱説明書、印刷物として存在しているパーツリストの内容とは異なる場合がございます。

表記内容は、発行当時の情報であり、弊社純正部品の名称、小売単価、各営業所の名称、所在地などの情報が現在と異なる場合があります。

また、製品安全上の取り扱い、環境対応につきましては、製品販売時の法令、規制に適合するものであり、製品販売後の法令、規制の変更内容を反映していない場合があります。予めご了承ください。

著作権について

本サービス内の電子データにつきましては、弊社(小橋工業株式会社)が著作権その他知的財産権を保有します。無断で他のウェブサイトや印刷媒体に転載することや複製、翻訳等はできません。但し、お手持ちの製品ご使用の為、1部に限り印刷することができます。

保証について

弊社の製品保証、安全性の保証は製品付属の書面に基づく保証に限られており、弊社サイト内の電子データに基づく保証は提供いたしません。

お問合せについて

ご使用の製品の取り扱い及び、使用上の安全等に関するお問合せは、ご購入店にご相談頂きますよう、お願いいたします。

免責事項

弊社サイトのご利用に起因するソフトウェア、ハードウェア上の事故その他の損害等につきましても、一切の責任を負いません。

弊社サイトのご利用に際して生じたお客さまと第三者との間のトラブルにつきましては、一切責任を負いません。弊社サイトのサービスは予告なく中止、または内容や条件を変更する場合がございます。

以上

小橋工業株式会社

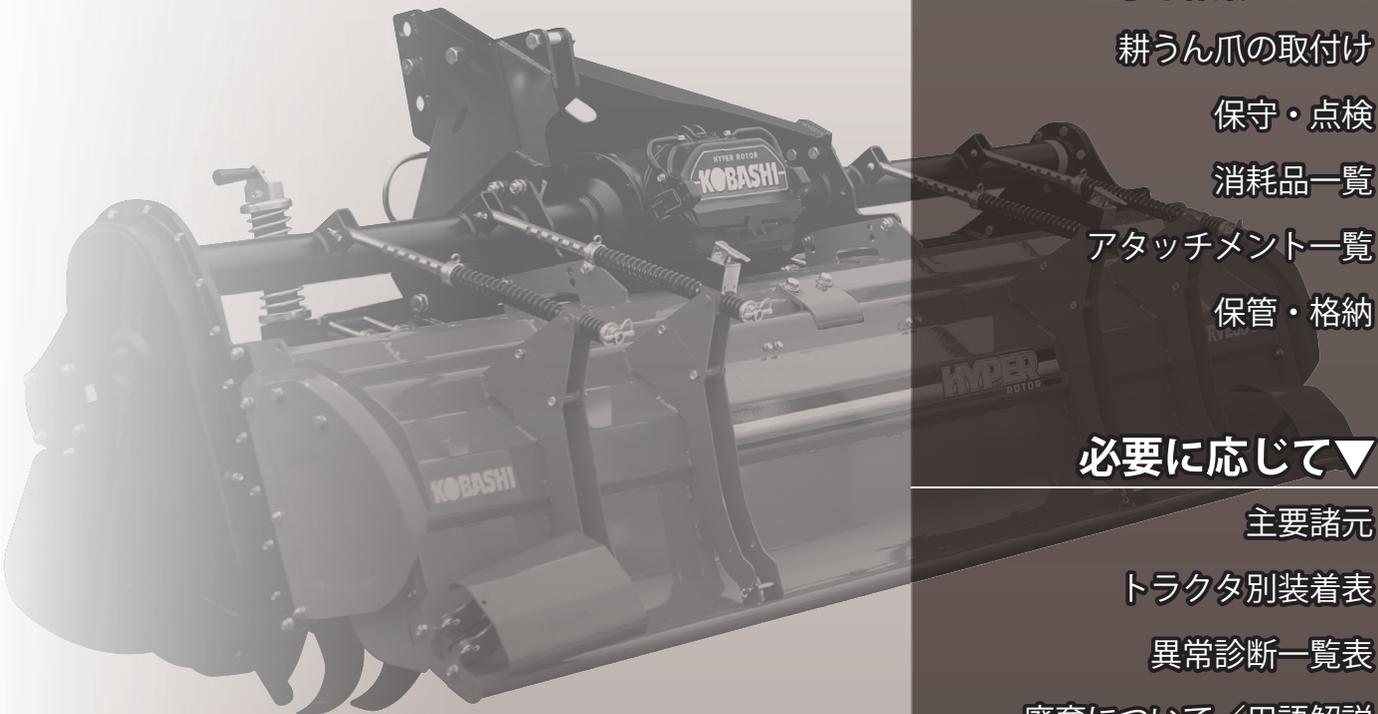
コバシハイパーローター KRV-0・KRZ-0シリーズ取扱説明書

お役立ちガイド

このたびは作業機をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 特に、安全について(→p.4～p.11)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
- お読みになった後も、必ず作業機の近くに保管し、いつでも読めるようにしてください。



HYPER ROTOR

目次

必ず読む▼

はじめに ▶p.2

詳細目次 ▶p.3

安全について ▶p.4

使い方▼

各部の名称 ▶p.12

開梱・組立て ▶p.14

ジョイントの取付け準備 ▶p.15

トラクタへの装着0L,3L,4L (JIS規格) ▶p.16

トラクタへの装着2L ▶p.25

移動・圃場への出入り ▶p.33

上手な作業のしかた ▶p.34

耕うん爪の取付け ▶p.42

保守・点検 ▶p.52

消耗品一覧 ▶p.66

アタッチメント一覧 ▶p.68

保管・格納 ▶p.70

必要に応じて▼

主要諸元 ▶p.71

トラクタ別装着表 ▶p.79

異常診断一覧表 ▶p.112

廃棄について/用語解説 ▶p.114

はじめに

作業機を操作する前にこの取扱説明書をよく読み、正しい取扱方法を理解してください。この取扱説明書は、作業機の近くに保管して、操作手順に不安が生じたときにはいつでも読み返せるようにしてください。

使用目的・使用範囲

この作業機は水田・畑の耕うん・碎土整地用です。使用目的以外の作業や作業機・部品の改造などは、決してしないでください。故障した場合は、保証の対象になりません。

取扱上の注意

- 当社は、以下のことを守らないで生じた損害または傷害に対しては一切責任を負うことができませんので厳守してください。
 - ・取扱説明書記載の指示事項を守ってください。
 - ・作業機・部品を改造しないでください。
 - ・操作・保守作業は、通常必要とされる注意または用心をして作業してください。
- 危険性に関する警告は、作業機の本体に貼り付けた警告表示ラベル、およびこの取扱説明書に記載してあります。
- この取扱説明書には、知り得る限りの危険性を記載しています。したがって、この取扱説明書に記載した警告や指示を守ることにより安全性は向上します。
また、これら以外にも事故防止対策に関して、十分な配慮が必要です。
- この取扱説明書は、日本語を母国語とする人を対象に作成されています。日本語を母国語としない人がこの作業機を取扱う場合は、必ずお使いになる方に安全指導を行ってください。

貸出時および譲渡時の注意

- 作業機を譲渡または貸与する場合は、この取扱説明書を十分理解してから作業するように指導してください。また、この取扱説明書を作業機に添付してお渡しください。
- この作業機は国内での使用を前提としています。したがって、海外諸国の規格への適応は保証できません。また、海外諸国では使用言語が異なるため、国外への持ち出し・転売はしないでください。

取扱説明書について

- この取扱説明書は、作業機の組立て、操作、および保守の方法を説明するものです。
- この取扱説明書の内容は作業機の改良のため、予告なく変更する場合があります。
- この作業機とこの取扱説明書の図とは異なることがあります。
また、作業機内部の説明を容易にするため、図の一部を省略していることがあります。あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書は著作権を有します。当社の事前の文書による同意なしに、この取扱説明書の全体もしくは部分的にも複製、翻訳しないでください。また、読み取り可能でない電子装置や機械にも転写しないでください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い求めの販売店にご注文ください。
- この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- さらに詳しい情報を必要としたり、質問があるとき、または内容につき不明な点がありましたらお買い求めの販売店へお問い合わせください。

詳細目次

はじめに	2
詳細目次	3
安全について	4
警告表示について	4
安全に作業するために	4
警告表示ラベルの種類と位置	10
サービスと保証について	11
各部の名称	12
0L, 3L, 4L 仕様 (JIS 規格)	12
2L 仕様	13
開梱・組立て	14
注意事項	14
開梱手順	14
標準装備品	14
ジョイントの取付け準備	15
注意事項	15
切断方法	15
トラクタへの装着 0L, 3L, 4L (JIS 規格)	16
注意事項	16
装着前の準備	16
トラクタへの装着	19
装着後のトラクタとの調整	22
トラクタからの取外し	23
トラクタへの装着 2L	25
注意事項	25
装着前の準備	25
トラクタへの装着	27
装着後のトラクタとの調整	30
トラクタからの取外し	31
移動・圃場への出入り	33
注意事項	33
上手な作業のしかた	34
注意事項	34
作業速度と耕うん軸回転速度	34
作業深さの調整	37
コールタの調整 (PJ 仕様のみ)	38
エプロンの調整	38
圃場の回りかた	41

耕うん爪の取付け	42
注意事項	42
耕うん爪の種類と用途	42
耕うん爪について	43
保守・点検	52
注意事項	52
保守・点検の準備	52
保守・点検一覧表	53
作業内容	54
消耗品一覧	66
アタッチメント一覧	68
保管・格納	70
主要諸元	71
トラクタ別装着表	79
T-3L・4L 仕様	79
2L 仕様 (KRV)	91
2L 仕様 (KRZ)	103
異常診断一覧表	112
廃棄について	114
注意事項	114
用語解説	114

必ず読む

はじめに／詳細目次

安全について

ここに示した注意事項は、作業機を安全に正しく使用していただき、使用者や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

警告表示について

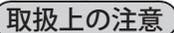
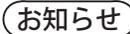
警告レベルの定義

誤った取扱いをすると、生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「危険」、「警告」、「注意」に区分して記載しています。

 危険	誤った取扱いをしたときは、死亡、後遺症などの大きな被害の可能性が高いことを意味します。
 警告	誤った取扱いをしたときは、死亡、後遺症などの大きな被害を負う恐れがあることを意味します。
 注意	誤った取扱いをしたときは、軽度の傷害が発生する可能性があることを意味します。

その他の表示

上記以外の表示は、次のとおりです。

 取扱上の注意	誤った取扱いをしたときは、作業機が故障する可能性があることを意味します。
 お知らせ	作業機本来の能力が発揮できないこと、あるいは、特に知っておいていただきたいことを意味します。

絵表示

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	強制（すること）を示します。
	注意を示します。

安全に作業するために

全般

危険



禁止

使用目的以外の作業や作業機・部品の改造をしないでください。
* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

取扱説明書はいつでも読めるように、作業機と一緒に大切に保管してください。
* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

取扱説明書をよく読み、作業機・部品の使いかたを理解してから使用してください。
トラクタの取扱説明書も併せてよく読んでください。
* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



警告



禁止

適応トラクタ以外には装着しないでください。
主要諸元表を熟読の上、適応馬力内のトラクタに装着してください。
* 特にトラクタ馬力が小さい場合、トラクタとの重量バランスが悪くなり、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 警告



禁止

次のような状態では、運転しないでください。

- ・飲酒運転
- ・いねむり運転
- ・病気や薬物の作用で正常な運転ができないとき
- ・若年者
- ・妊娠中の方

作業機の操作に熟練し、必要な運転免許証を携帯し、心身ともに健康な状態で運転してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機を他人に貸出す場合は、取扱説明書も添付し正しい取扱いを指導してください。

* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

作業中の服装は、ヘルメット、丈夫な手袋、すべらない靴、キチンとした作業服を着用してください。

ボタンもキチンととめてください。

* 回転部分に巻き込まれ、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意



必ず実行

共同作業者がいる場合は、動作ごとに合図を徹底してください。

* 作業機が急に動き、事故・ケガにつながる恐れがあります。



作業前点検

⚠ 注意



必ず実行

各部のボルト、ナットなどの緩みや、ピンの脱落がないか確認してください。

* 事故・ケガ・故障につながる恐れがあります。



トラクタへの着脱

⚠ 警告



必ず実行

トラクタと作業機の着脱の際は、いつでも逃げられる安全な態勢で操作し、トラクタは必ずブレーキで止めてください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業機への着脱・調整は、平坦で十分な広さがあり地盤のしっかりした場所で行ってください。

特に夜間の作業機の着脱は、適切な照明を用いてください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

取付け各部のトメピンが全て確実に装着されているか確認してください。

* 事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



⚠ 注意



必ず実行

二人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。

* 作業機が急に動き、事故・ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

ジョイントのノックピンが確実にPTO 軸溝、または作業機入力軸溝にはまったか確認してください。

* ジョイントが抜け、事故・ケガにつながる恐れがあります。



注意

トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に入らないように注意してください。

* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



カバーの取付け

⚠ 危険



ジョイントなど、作業機のカバー類は必ず取付けてください。

必ず実行 * 巻き込まれて、死亡事故・大ケガにつながる恐れがあります。



トラクタへの装着

⚠ 危険



作業機とトラクタとの重量バランスを確認してください。

- 必ず実行
- ・トラクタの前輪に最低限 20% 以上の荷重がかかるように、フロントウエイトを取付けてください。
 - ・作業機に泥が付着して重くなる場合があるので、泥を取除いてください。
 - ・アタッチメントなどを取付けて使用する場合も、バランスを確認しフロントウエイトを取付けてください。
- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
作業機を装着すると、重量バランスが変わります。



⚠ 注意



作業機に他のアタッチメントを取付ける場合は、事前に必ずアタッチメントの取扱説明書をよく読んでください。

- 必ず実行
- * 事故・ケガ・故障につながる恐れがあります。



トラックへの積み・降ろし

⚠ 危険



禁止

途中でクラッチを切ったり、変速を中立にしないでください。

- 低速で積み・降ろししてください。
* 転倒などし事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

積み・降ろしの場所は、平坦で安全な場所で行ってください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

アユミ板は、滑り止めの付いている丈夫なものを使用してください。

- 確実に固定し、傾斜角度、平行度を確認してください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

積み・降ろしの際は、トラックが移動しないようしっかりとサイドブレーキをかけてください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

トラクタの左右のブレーキペダルを連結し、脱輪ないようにしてください。

- * ブレーキが片ぎきし、転倒などし事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

作業機を装着しての積み・降ろしは、トラクタの重量バランスが変わります。泥の付着などがあるので注意してください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

積み・降ろしの際、折りたためる作業機は折りたたみ、エクステンションエプロンも折りたたみ、トラックの荷台からはみ出さないように注意してください。

また、強度が十分あるロープで確実に固定してください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



一般走行

⚠ 危険



高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回をしないでください。

禁止

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



周囲の人やものに注意して旋回してください。

必ず実行

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



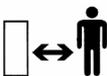
⚠ 警告



トラクタ・作業機には、運転者以外の人を乗せないでください。

禁止

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



走行するときは次のことを守ってください。

必ず実行

- ・左右のブレーキペダルを連結すること
- ・作業機の回転を止めること
- ・作業機の落下速度調節レバーを締めて、必ず油圧ロックをすること

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



坂道での走行は次のことを守ってください。

必ず実行

- ・クラッチを切ったり、変速を中立にしないこと
- ・スピードを落とし、低速で走行すること
- ・エンジブレーキを使用し、急ブレーキをかけないこと

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。作業機は左右がトラクタの機体幅より広いため、走行時は注意してください。



⚠ 警告



注意

作業機は左右がトラクタの機体幅より広いので、走行時は注意してください。

移動時は、作業機の折りたたみ箇所は折りたたみ走行してください。

また、スタンドが付いている場合も必ず取外してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意



必ず実行

トラクタで公道を走行する場合は、作業機を取外してください。

道路運送車両法違反となります。
* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



注意

路肩に草が茂っている場所を走行するときは、路肩の強度に気を付けてください。

* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



圃場への出入り

⚠ 警告



必ず実行

圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げ、うねや段差に対して直角に進んでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

圃場の出口が傾斜している場合は、バックして上がるか、または丈夫なアユミ板を使用してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

うねや段差に対しては、作業機を低くして重心を下げ、直角に進んでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず読む

安全について

作業中

⚠ 危険

 いねむり運転、わき見運転をしないようにあらかじめ体調を整えてください。
必ず実行

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 警告

 作業機の下にもぐったり、足をふみこんだりしないでください。
禁止

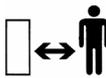
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



 作業中は、周りに人を近寄らせないでください。
禁止

特に子供には十分注意すること。
補助作業者がいる場合は、動作ごとに合図かわすこと。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



 回転部分など、動くところには触れないでください。
禁止

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



 次の作業をする場合は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が絶たれていることを確認してから作業してください。
必ず実行

- ・ 運転者が運転位置を離れて作業機を調整するとき
- ・ 爪軸などへの草やワラのからみ付きを取除くとき

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意

 作業機のカバーは、土礫が飛散しないように調節してください。
必ず実行

* ケガにつながる恐れがあります。



取扱上の注意

- ・ むかみにはまっても作業機は絶対に外さないでください。
牽引点を低くし、他の車に引き上げてもらってください。
故障につながる恐れがあります。

作業中の点検

⚠ 警告

! 作業機の点検を行うときは以下のことを確認してから作業してください。

必ず実行

- ・トラクタの駐車ブレーキをかける
 - ・エンジンを停止する
 - ・PTO 軸への動力の伝導が絶たれている
 - ・油圧ロックを行う
- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



! 点検のために外したカバー類は、必ず元どおりに取付けてください。

必ず実行

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意



禁止

ラジエーターやマフラには触れないでください。

- * 火傷をする恐れがあります。



必ず実行

点検整備に必要な工具類は、適切な管理を行い正しい使用をしてください。

- * 整備不良で事故につながる恐れがあります。



トラクタ停車

⚠ 警告



必ず実行

傾斜に止める場合は、タイヤに必ず車止めをしてください。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



⚠ 注意



必ず実行

平らな場所に止め、作業機を降ろしてエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてください。

- * 事故・ケガにつながる恐れがあります。



その他

⚠ 警告

! 作業機指定の PTO 回転速度を守ってください。

必ず実行

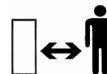
- * 低速回転用の作業機を高速回転で使用すると、作業機が異常作動し事故・大ケガ・故障につながる恐れがあります。



必ず実行

トラクタのエンジン始動時は、周りに人がいないか、作業機が下がっているか確認してください。

- * 作業機が不意に下がり、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



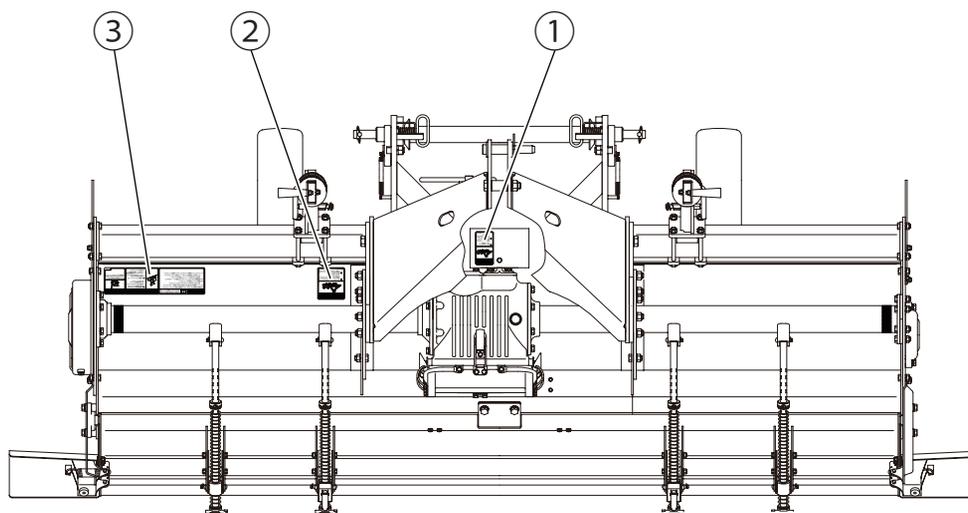
必ず読む

安全について

警告表示ラベルの種類と位置

この作業機には、警告表示ラベルを貼って注意喚起しています。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

- いつも汚れや泥をとり警告表示ラベルがハッキリと見えるようにしてください。
- 警告表示ラベルが損傷したり破損したときは、新しいものと交換してください。
- 警告表示ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品に、取外した部品と同じ場所に警告表示ラベルを貼ってください。



① コードNo. 9992126



② コードNo. 9992127



③ コードNo. 9993689

注意 使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

1. 作業機を着脱するときは、トラクタと作業機の間立たないでください。
2. エンジン始動時や作業中は、周囲の安全を確認し、人がいないか、特に子供には注意し、近づけないようにしてください。
3. 作業機の上に人を乗せないでください。
4. 点検整備時には、必ずエンジンを止め、駐車ブレーキをかけて、油圧降下防止用ストップバルブを締めてください。また、絶対に作業機の下にはいって作業をしないでください。
5. ジョイントのノックピンが確実にロックされていることを確認してください。

警告 転落事故を防ぐためには、発進や登坂時にトラクタの前輪が浮き上がらないように充分な前部ウエイトを取付けてください。

- 作業機にアタッチメントを装着する時には、特にバランスを注意するとともに、アタッチメントの取扱説明書をよく読んで、適切な処置や調整を行ってください。

警告 ロータリの回転部に接触すると、ケガをするおそれがありますので、回転部に近づかないでください。

9993689

サービスと保証について

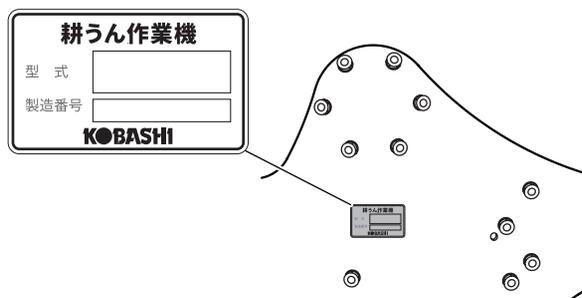
保証書

この作業機には保証書を添付しています。保証書はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。保証内容は保証書をご覧ください。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービス

作業機の調子が悪いときに点検、処置してもなお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買い上げいただいた販売店まで連絡してください。

- お客様名
- 作業機の型式と製造番号
- ご使用状況（作業速度、回転速度はいくらで、どんな作業をしていたときに）
- どのくらい使用されましたか（約〇〇アール・約〇〇時間使用后）
- 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳しくお教えてください。



補修用部品の供給年限について

この作業機の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打切り後9年といたします。したがって、その後のご注文に対しては、在庫限りの供給とさせていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。市販類似品をお使いになりますと、作業機の不調や作業機の寿命を短くする原因になります。また、部品の改造はしないでください。

型式について

本書では、同じシリーズの型式の作業機について併記しています。お買いあげいただいた作業機の型式名を保証書および型式ラベルで確認し、該当箇所をお読みください。

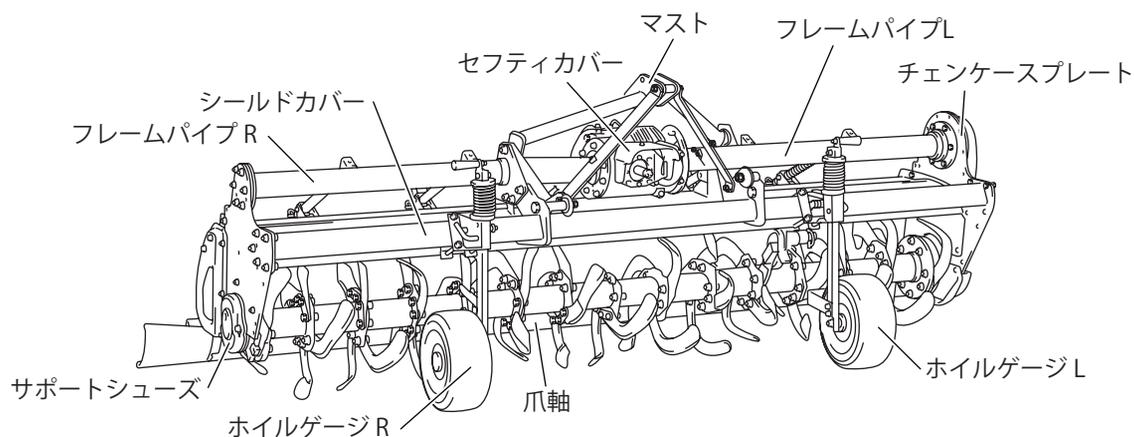
各部の名称

本書では、0L, 3L, 4L 仕様と 2L 仕様を併記しています。お客様が購入された作業機の型式を確認し、該当箇所をお読みください。

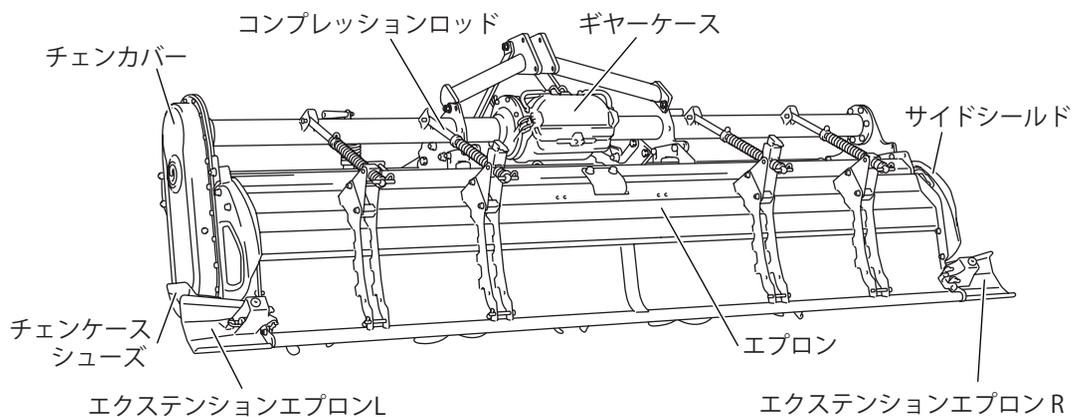
0L, 3L, 4L 仕様 (JIS 規格)

■ 前面 (トラクタとの接続側)

KRZ の場合は、両端支持ホイールゲージになります。



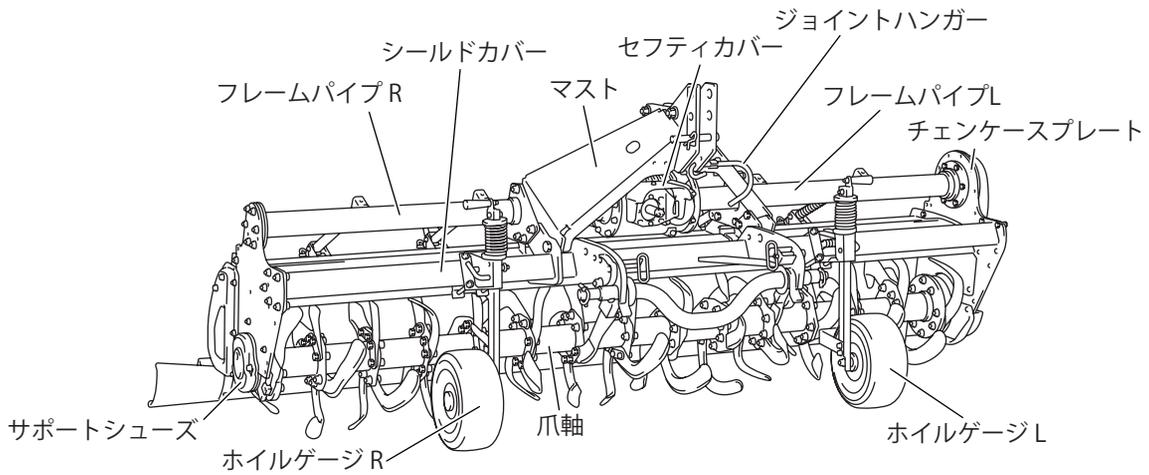
■ 背面



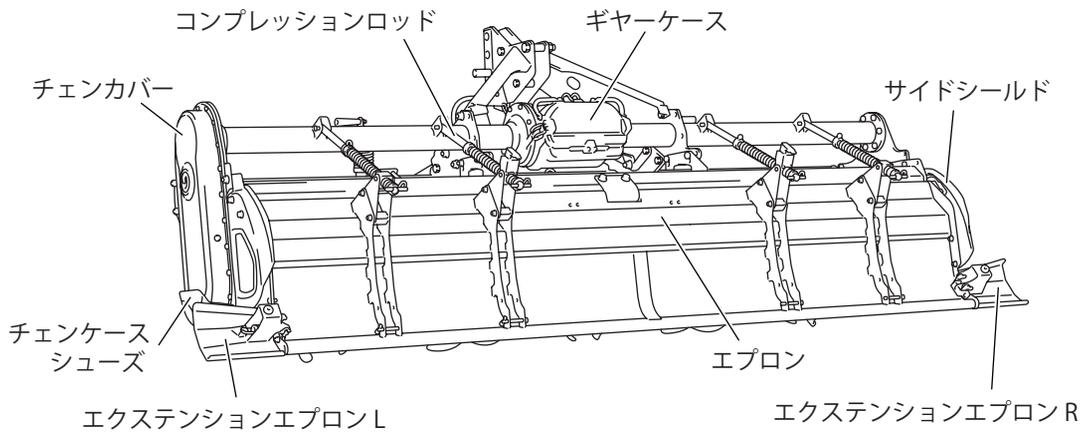
2L仕様

■ 前面（トラクタとの接続側）

KRZの場合は、両端支持ホイールゲージになり、マストステーが追加になります。



■ 背面



開梱・組立て

作業機は鉄枠梱包されていますので、開梱要領書に従って開梱・組立てしてください。

注意事項

⚠ 注意

! 作業は平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行 * 事故・ケガにつながる恐れがあります。

! 開梱するときは、丈夫な手袋を着用して行ってください。

必ず実行 鉄枠梱包には、スクリュウネジが使用されています。ネジの踏み抜きなどないように注意して開梱してください。

* ケガにつながる恐れがあります。

! この開梱要領書に従って開梱・組立てを行ってください。

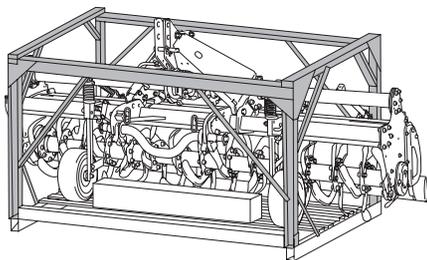
必ず実行 * 作業手順を誤ると、作業者がケガをしたり作業機が転倒する恐れがあります。

! リフトやクレーンの操作は資格を持った人が行ってください。

必ず実行 * 事故・ケガにつながる恐れがあります。

開梱手順

ハイパーローターは鉄枠梱包されています。鉄枠に貼り付けられている「開梱要領書」を参照の上、開梱してください。



標準装備品

作業機本体と以下の付属品が梱包されています。

0L, 3L, 4L 仕様 (JIS 規格)

作業機本体と以下の付属品が梱包されています。

< 付属品 >

部品名	数量	摘要
ジョイント	1	3L, 4L 仕様
オートヒッチ	1	3L, 4L 仕様
4L キット	1	4L 仕様
取扱説明書	1	
品質保証書	1	

2L 仕様

作業機本体と以下の付属品が梱包されています。

< 付属品 >

部品名	数量	摘要
ジョイント	1	
2点オートヒッチ	1	
取扱説明書	1	
品質保証書	1	

ジョイントの取付け準備

トラクタによっては、標準のジョイントが長い場合があります。
以下の手順で、ジョイントの取付け準備を行ってください。

注意事項

取扱上の注意

- 長過ぎるジョイントを装着すると、トラクタの PTO 軸と作業機の入力軸を突き、破損させます。
- 短過ぎるジョイントを装着すると、ジョイントのカミ合わせが不足して、チューブが破損します。

切断方法

⚠ 注意

⚠ 高速カッタを使用する場合は、十分注意して作業してください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

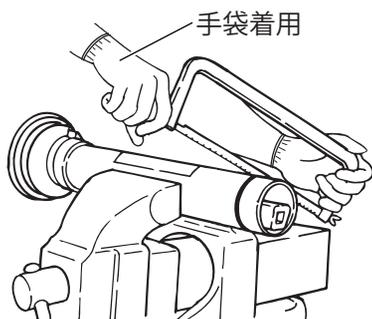
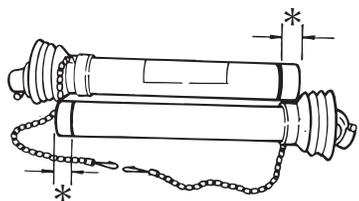
⚠ 高速カッタ、または金ノコを使用する場合は、手袋を着用してください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

取扱上の注意

ジョイント切断寸法は、「トラクタ別装着表」(→ p.79)で確認してください。

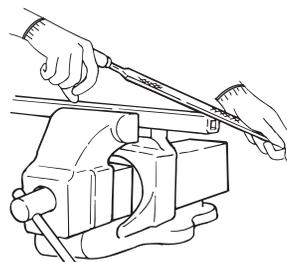
- 1 長い分だけセフティカバーを金ノコ、またはカッターでオス、メス両方切断します。
(*)



- 2 切りとったセフティカバーと同じ長さで、チューブシャフトを金ノコ、またはカッターでオス、メス両方切断します。



- 3 切り口をヤスリでなめらかにして、切り粉を取除きます。



- 4 グリスを塗布して、オス、メスを組合わせます。

使いかた

開梱・組立て／ジョイントの取付け準備

トラクタへの装着 0L, 3L, 4L (JIS 規格)

トラクタへの装着と取外しについて記載しています。

注意事項

⚠ 警告

! 平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。
必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

! トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に入らないように注意してください。
注意 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意

! 夜間の場合は適切な照明を用いてください。
必ず実行 * 事故・ケガにつながる恐れがあります。

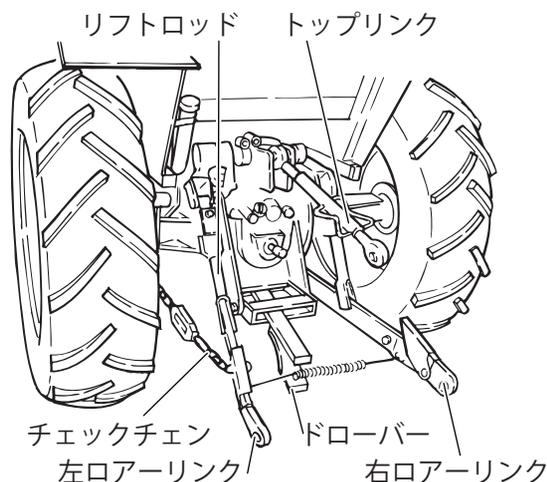
! 二人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。
必ず実行 * 作業機が急に動き、ケガにつながる恐れがあります。

装着前の準備

トラクタの準備

本機の装着方法は、標準 3 点リンク式のヒッチです。ドローバーがジョイントに干渉する場合は、ドローバーの位置を変えるか、取外してください。

取付け位置は、「トラクタ別装着表」(→ p.79) を参照の上、トップリング長さやリフトロッド位置を確認し、取付けてください。



オートヒッチアームの取付け

⚠ 危険

! 必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。
必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

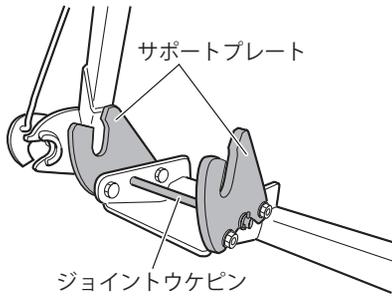
⚠ 注意

! オートヒッチアームは、JIS 規格に準拠したものを使用してください。
必ず実行 類似規格のものは、使用しないでください。
* 故障につながる恐れがあります。

1 オートヒッチアームの状態を確認します。

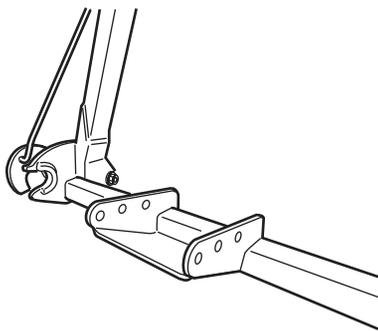
(a) 4 セットの場合

サポートプレートとジョイントウケピンが確実に取付けてあることを確認します。



(b) 3 セットの場合

サポートプレート、ジョイントウケピンがないことを確認してください。

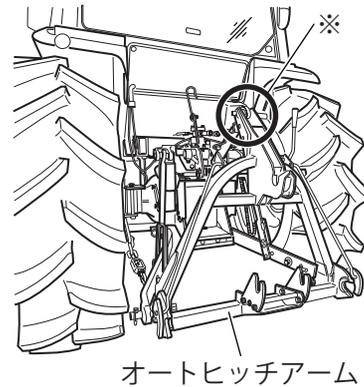


2 トラクタのポジションコントロールレバーを下げ、ロアーリンクをいっぱいまで下げます。

3 オートヒッチアームをトラクタのトップリンクに取り付けます。

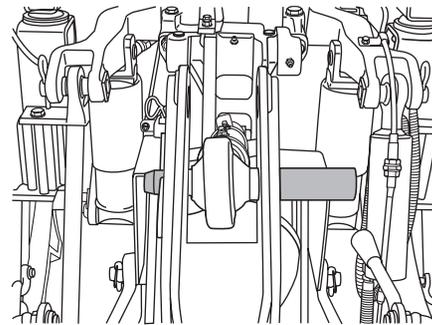
お知らせ

- 付属のトップリンクピンは、カテゴリー I、II 形兼用です。



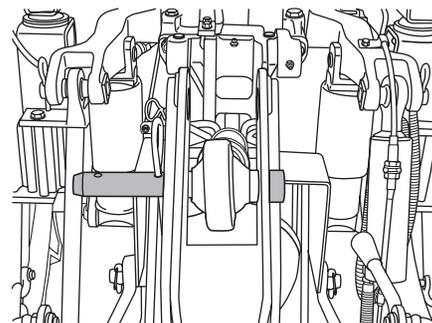
< I 形の場合 >

※拡大図



< II 形の場合 >

※拡大図

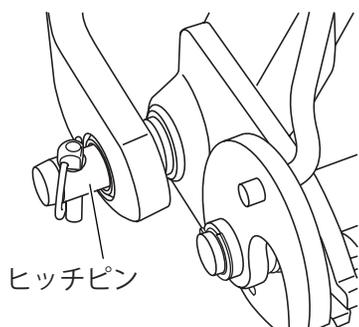


4 左右のロアーリンクにオートヒッチアームのヒッチピンを取付けます。

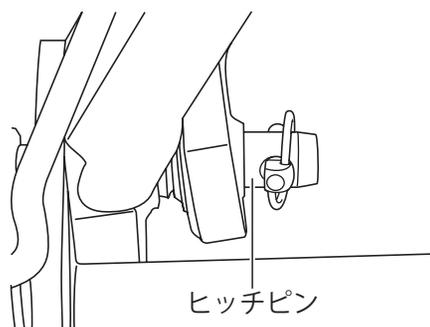
お知らせ

- トップリンクの長さは、装着表の長さに合わせてください。
- トラクタによっては、内側セットと外側セットがあります。「トラクタ別装着表」(→ p.79)で確認してください。
- 標準のヒッチピンはⅡ形です。
- トラクタのロアーリンク穴がⅠ形の場合は、Ⅰ形のヒッチピンに交換してください。

<ヒッチピンが外向きの場合>



<ヒッチピンが内向きの場合>



ジョイントの取付け (4セットの場合)

警告



必ず実行

ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO チェンジレバーがニュートラル (OFF) の位置になっていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

4セットの場合、作業機をトラクタに装着する前にジョイントを取付けます。

お知らせ

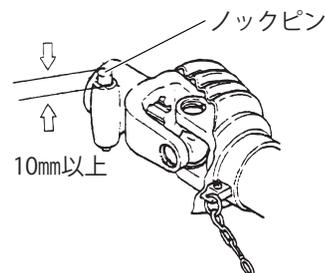
- 3セットの場合は、作業機をトラクタに装着した後でジョイントを取付けてください。「ジョイントの取付け (3セットの場合)」(→ p.22)

1 ジョイントの広角側をトラクタの PTO 軸に取付けます。

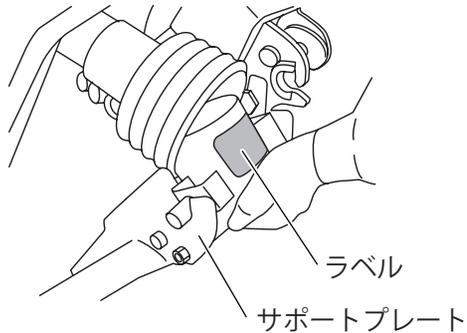
(1) ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入し、軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。

(2) トラクタ側と作業機側のノックピンの取付け状態を確認します。

- ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ピンの頭が **10 mm 以上**出ているか。



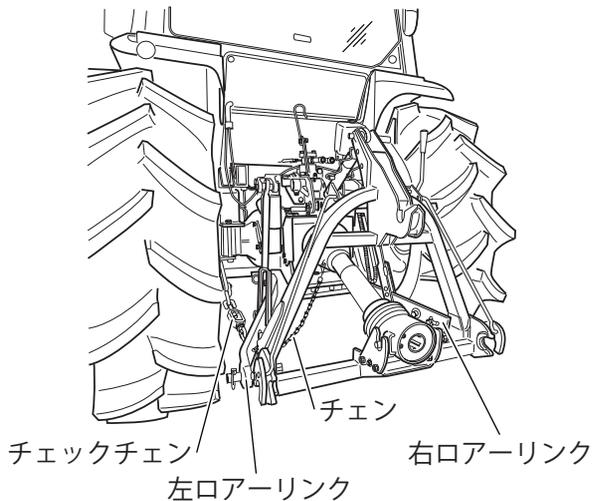
- 2 ジョイントのラベル面を上にし、手でジョイントを折り曲げ、軸の細い部分からサポートプレートの長穴にセットします。



- 3 ジョイントセフティカバーのチェンを固定し、回り止めをします。

取扱上の注意

- このとき作業機をいっぱい下げてもチェンが緊張しないように、たるみを持たせてください。



- 4 チェックチェンを張って、オートヒッチアームをトラクタの中心部に合わせます。また、ロアーリンクの左右の高さも均等にします。
- 5 各部のトメピンやトップリンクピンの抜け止めが確実にされていることを確認します。

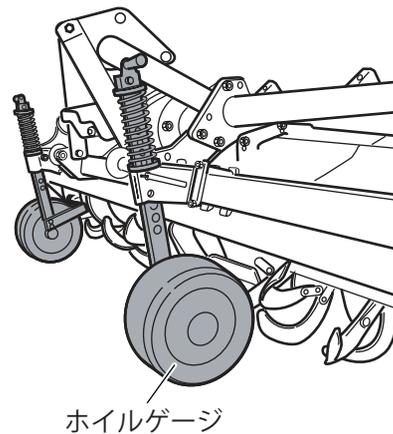
トラクタへの装着

トラクタへの装着

- 1 作業機にホイールゲージを装着します。

ホイールゲージの穴位置を上から 5 番目～8 番目にします。

⇒ 作業機が前傾姿勢になります。

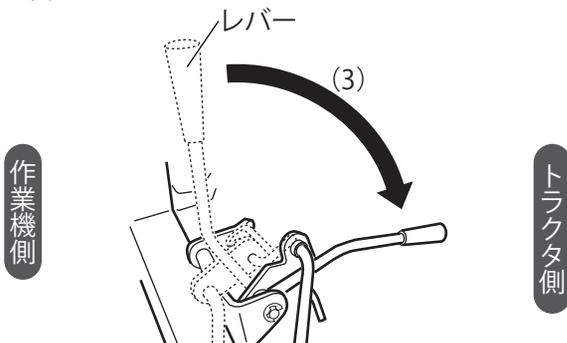


2 オートヒッチアームのロックを解除します。

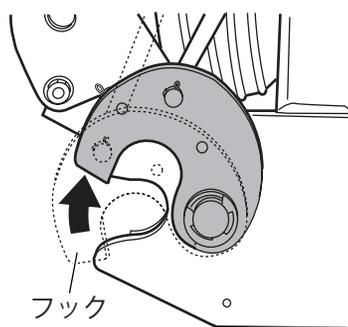
- (1) レバーロックピンを引っ張ります。
- (2) レバーロックピンを解除方向へ回します。
⇒ レバーのロックが解除されます。



- (3) レバーをトラクタ側へ倒します。



⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。



⚠ 注意



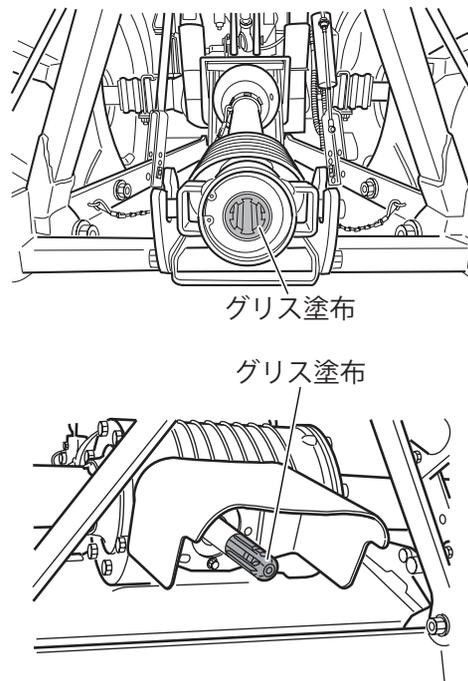
必ず実行

レバーを倒した状態にしたまま、作業機昇降装置を上下しますと、レバーとトラクタが干渉する場合がありますので、干渉に注意して装着してください。

干渉する場合は、干渉しない位置まで下げてからレバーを操作してください。

* トラクタの破損につながる恐れがあります。

3 4セットの場合は、作業機の入力軸とジョイントの結合部に十分にグリスを塗布します。



4 作業機をトラクタに取付けます。

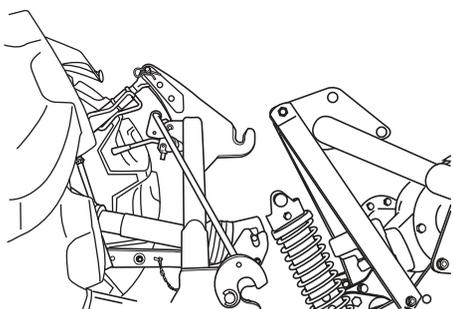
取扱上の注意

- 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。
特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
- トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手動で干渉の有無を確認してから使用してください。
また、作業機が勢いよく上がるため、10 cm以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
- ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。
- トップリンクやローアリンクの取付け位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも、干渉の有無を確認してください。
- 左右の水平調節についても注意してください。

- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) オートヒッチアームを下げます。
- (3) トラクタをゆっくりバックさせ、作業機に近づけます。
作業機のマストのピンの下側にオートヒッチアームのフックを合わせてください。

取扱上の注意

- ・トラクタと作業機が直角になるようにしてください。



- (4) ポジションコントロールレバーを「上げる」にし、フックに合わせて作業機をゆっくりと持ち上げます。

⇒ジョイントのスプライン部は、自動的に接続されます。

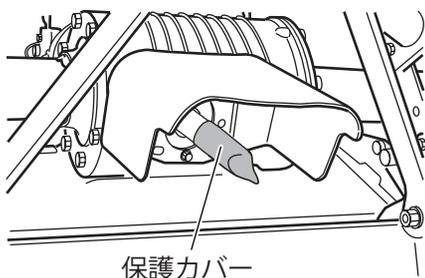
取扱上の注意

- ・ジョイントがかみ合わなかったなどの場合、ポジションコントロールレバーを下げ、一度トラクタを前進させてからやり直してください。
また、トップリンクの長さが適切か確認してください。「トラクタ別装着表」(→ p.79) で確認してください。

■ 保護カバーの取外し

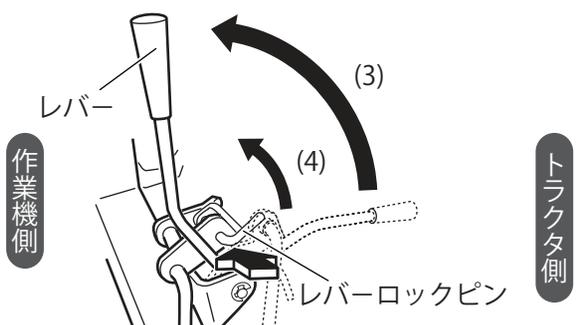
取扱上の注意

- ・入力軸の保護カバーを必ず取外してください。
外さないで使用すると、破損につながる恐れがあります。



5 オートヒッチアームをロックします。

- (1) 作業機のガイドカラーとオートヒッチアームが、しっかりと入っていることを確認します。
- (2) 作業機の入力軸とジョイントのスプラインが、しっかりと入っていることを確認します。
- (3) 確認できたらレバーを上を起こします。
⇒作業機とオートヒッチアームがロックされます。
- (4) レバーロックピンをロック方向に回します。
⇒レバーロックピンとレバーがロックされます。



取扱上の注意

- ・レバーロックピンは作業中の作業機の誤解放を防止するものです。
作業するときは、必ずロックしてください。

ジョイントの取付け (3セットの場合)

⚠ 警告

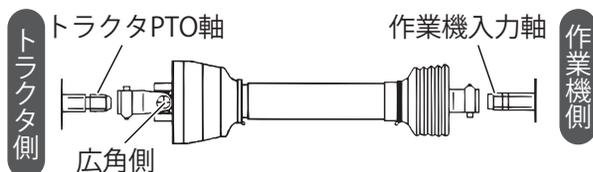
! ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO チェンジレバーがニュートラル (OFF) の位置になっていることを確認してください。

必ず実行

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

3セットの場合、作業機をトラクタに装着した後でジョイント取付けます。

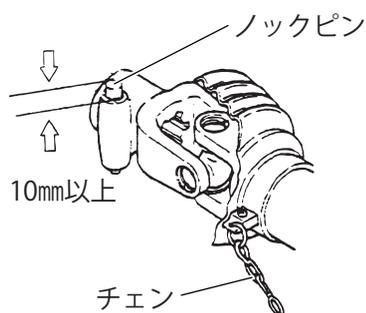
- 1 ジョイントの広角側をトラクタのPTO軸に取付けます。反対側を作業機入力軸に取付けます。



(1) ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入し、軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。

(2) トラクタ側および作業機側のノックピンの取付け状態を確認します。

- ・ ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ・ ピンの頭が **10 mm 以上** 出ているか。



- 2 ジョイントセフティカバーのチェーンを固定し、回り止めをします。

取扱上の注意

- ・ このとき作業機をいっぱい下げてもチェーンが緊張しないようにたるみを持たせてください。

装着後のトラクタとの調整

チェックチェンの調整

左右の横振れを確認し、必要に応じてチェックチェンを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力軸とトラクタのPTO軸を後方より見て直線上に合わせます。
- 2 左右の横振れが 10 mm 以内になっていることを確認します。10 mm を超える場合は、10 mm 以内になるように左右均等にチェックチェンを張ります。

トップリンクの調整

⚠ 警告

! トップリンクの調整は、作業機を接地させてから行ってください。

必ず実行 * トップリンクが抜けて、作業機が落下し、事故・大ケガにつながる恐れがあります。

前後の傾きを確認し、必要に応じてトップリンクを調整してください。

トップリンクは、「トラクタ別装着表」(→ p.79) を参照してください。

リフトロッドの調整

左右の水平を確認し、必要に応じてリフトロッドを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水平になるようにします。
- 2 トラクタの油圧水平スイッチを操作し、リフトロッドを調整します。油圧水平スイッチがない場合は、リフトロッドを回して調整します。

ジョイントの確認

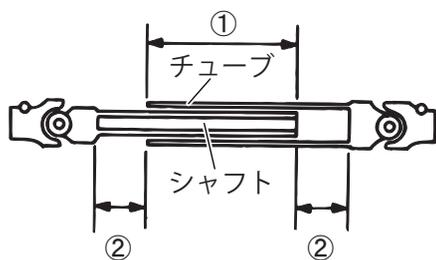
広角ジョイントの場合、ジョイントと作業機の入力軸とが直線に近いほど異音は少なくなります。

取扱上の注意

- ・トラクタによっては、作業機を最上位置に上げた状態で回転させると、異音が発生することがあります。
ジョイントに無理がかかり、損傷の原因になる恐れがあります。
この場合、回転しても振動や音が出ない位置に、トラクタのポジションコントロールレバーのストッパーをセットしてください。

- 1 ゆっくり作業機を上げて、ジョイントが一番縮んだ状態で、軸を突かないことを確認します。
- 2 作業機を上下してシャフトとチューブの重なりを確認します。

トラクタ側



作業機側

ジョイントの種類		①	②
KGC-M	4 セット	最伸時 88 mm	最縮時 25 mm
KGC	3 セット	以上の重なり	以上の間隔

トラクタからの取外し

作業機のトラクタからの取外しについて記載しています。

警告



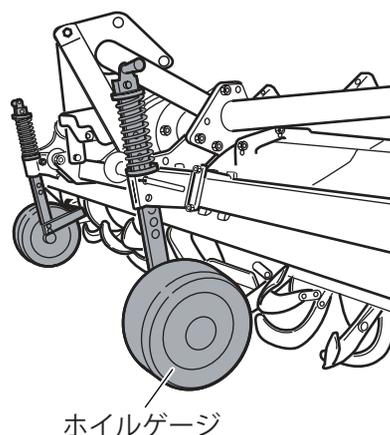
必ず実行

作業機を取外す場合は、平坦で地盤のしっかりした場所で、取外しのためのスペースが十分にとれる場所で行ってください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- 1 作業機にホイールゲージを装着します。

ホイールゲージの穴位置を上から5番目～8番目にします。

⇒ 作業機が前傾姿勢になります。



- 2 ジョイントを取外します。(3セットの場合)

警告



必ず実行

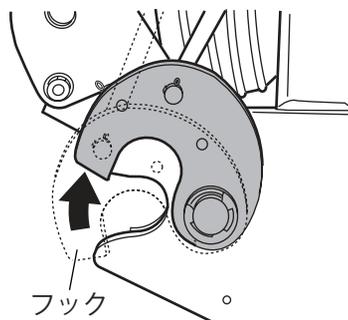
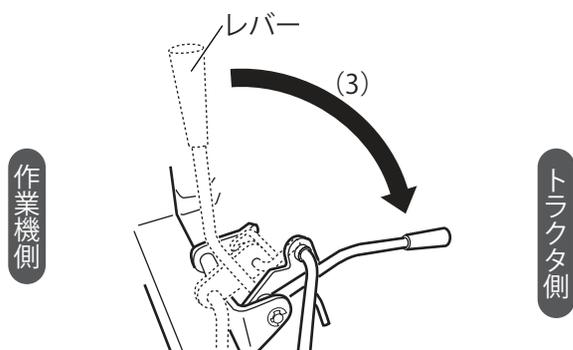
ジョイントを取外すときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO チェンジレバーがニュートラル (OFF) の位置になっていることを確認してください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

使いかた

トラクタへの装着 OL, 3L, 4L (JIS規格)

3 オートヒッチアームのロックを解除します。

- (1) レバーロックピンを引っ張ります。
- (2) レバーロックピンを解除方向へ回します。
⇒ レバーのロックが解除されます。
- (3) レバーをトラクタ側へ倒します。
⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。

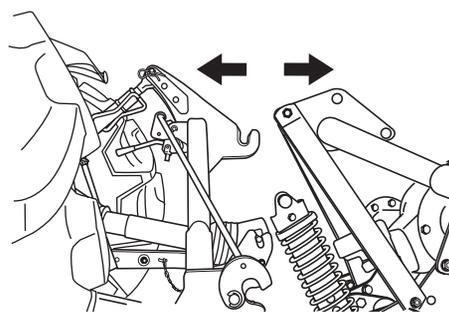


4 作業機を下げます。

- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) ポジションコントロールレバーを「下げる」にします。
- (3) 作業機を下げて接地させ、トラクタをゆっくり前進させます。
⇒ 作業機は外れます。

取扱上の注意

- ・ 外れない場合は、場所が平坦でないかトラクタがまっすぐ前進していないなどの原因があります。再度動作をやり直してください。



トラクタへの装着 2L

トラクタへの装着と取外しについて記載しています。

注意事項

⚠ 警告



平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



注意

トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に入らないように注意してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



夜間の場合は適切な照明を用いてください。

必ず実行

* 事故・ケガにつながる恐れがあります。



二人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。

必ず実行

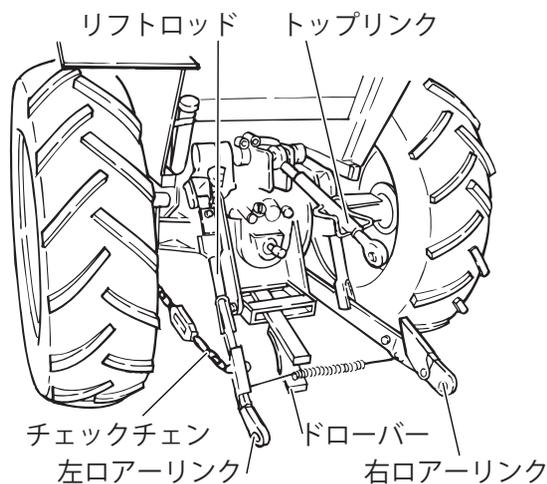
* 作業機が急に動き、ケガにつながる恐れがあります。

装着前の準備

トラクタの準備

本機の装着方法は、標準3点リンク式のヒッチです。ドローバーがジョイントに干渉する場合は、ドローバーの位置を変えるか、取外してください。

取付け位置は、「トラクタ別装着表」(→ p.79)を参照の上、トップリング長さやリフトロッド位置を確認し、取付けてください。



使
い
か
た

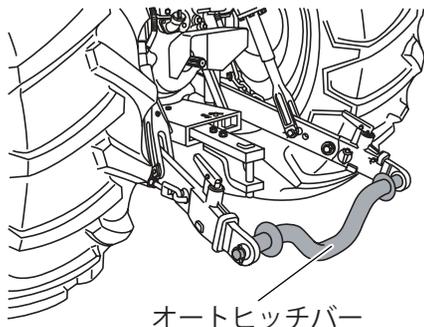
ト
ラ
ク
タ
へ
の
装
着
2
L

オートヒッチバーの取付け

⚠ 危険

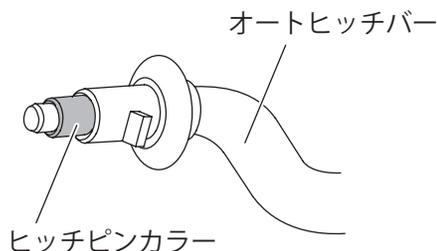
! 必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が切れていることを確認してから作業してください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- 1 トラクタのポジションコントロールレバーを下げ、ロアーリンクをいっぱいまで下げます。
- 2 オートヒッチバーをトラクタのロアーリンクに取付けます。



取扱上の注意

- ・オートヒッチバーはカテゴリーⅡ形です。カテゴリーⅢ形のトラクタに取付ける場合は、付属のヒッチピンカラー (KRZ350J のみ) をオートヒッチバーに取付けてください。



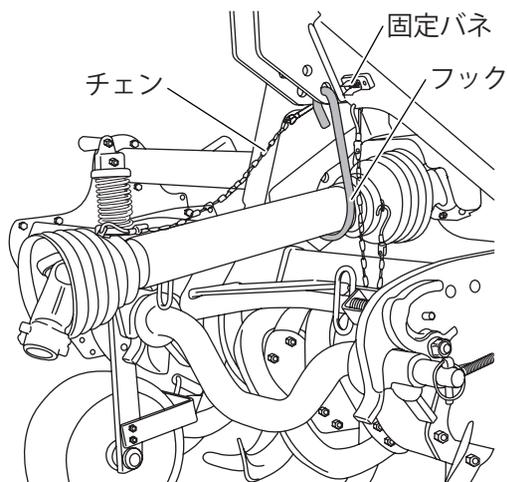
ジョイントの取付け (作業機側)

⚠ 警告

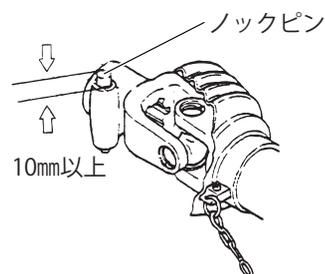
! ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO チェンジレバーがニュートラル (OFF) の位置になっていることを確認してください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

■ CV・SV 仕様以外の場合

- 1 ジョイントのスライド部が抜けないように、2本のチェンを連結します。
- 2 ジョイントハンガのフックを固定バネから取外して、下げます。
- 3 ジョイントの OUTER 側をフックに乗せ、作業機側の入力軸に取付けます。



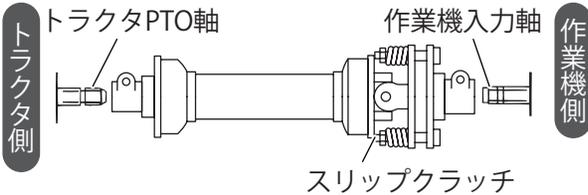
- (1) ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入し、軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。
- (2) ノックピンの取付け状態を確認します。
 - ・ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
 - ・ピンの頭が **10 mm 以上** 出ているか。



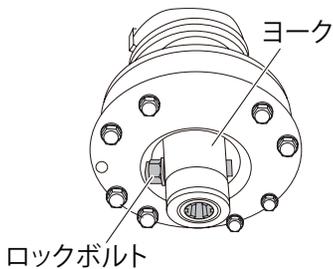
■ CV・SV 仕様の場合

取扱上の注意

- 必ずスリックラッチ側を作業機側入力軸に取付けてください。

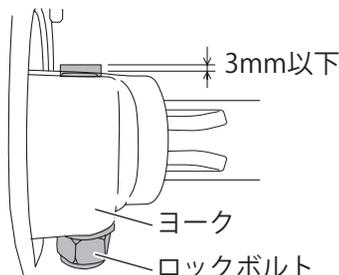


- 1 ヨークに仮止めされているロックボルトを取外します。



- 2 ジョイントのスライド部が抜けないように、2本のチェーンを連結します。
- 3 ジョイントハンガのフックを固定バネから取外して、下げます。
- 4 ジョイントのスリックラッチ側をフックに乗せ、作業機側の入力軸に取付けます。

- (1) ジョイントを入力軸の溝とロックボルト固定位置が合うように挿入します。
- (2) ロックボルトをヨークに挿入し、150N・mで締付けてジョイントを固定します。
- (3) ロックボルト頭（ナットと反対側）の取付け状態を確認します。
 - ・ロックボルトが確実にはまっているか。
 - ・ロックボルト頭はヨークからの飛び出しが3mm以下であるか。



トラクタへの装着

トラクタへの装着

⚠ 警告

! 装着作業中、トラクタを止めるときはその都度エンジンを切り、駐車ブレーキをかけてください。

必ず実行

* トラクタと作業機に挟まれ、大ケガにつながる恐れがあります。

- 1 作業機にホイールゲージまたはコールタを装着します。

(a) ホイールゲージの場合は、ホイールゲージの穴位置を上から2番目～3番目にします。

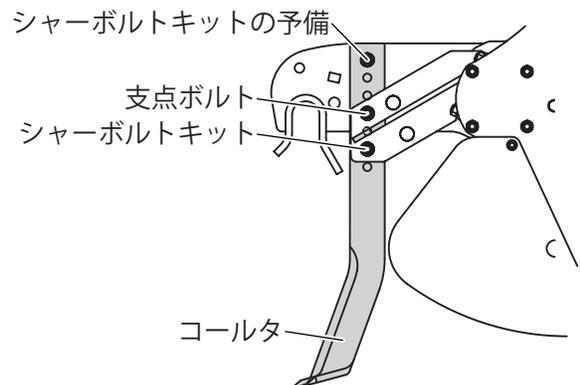
⇒ 作業機がやや前傾姿勢になります。



(b) コールタの場合は、コールタの支点ボルトを上から4番目、シャーボルトキットを上から6番目の穴位置にします。

(PJ仕様のみ)

⇒ 作業機がやや前傾姿勢になります。



使いかた

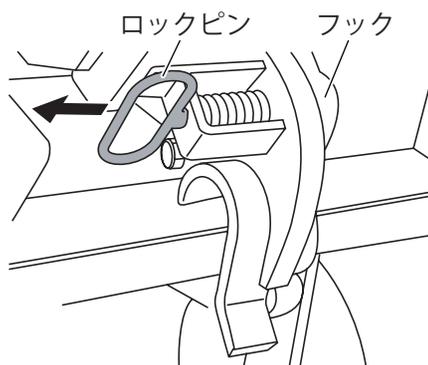
トラクタへの装着 21

2 オートヒッチフックのロックを解除します。

(1) ロックピンを引っ張ります。

⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。
ロックピンはオートヒッチバーがドッキングされると、自動的に入り込みロックされます

(2) ロックピンを下図の位置におきます。



3 作業機をトラクタに取付けます。

取扱上の注意

- 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げながら、トラクタと作業機が干渉しないか確認してください。
特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面のガラスを割らないように注意してください。
- トラクタによっては、スイッチひとつで自動で最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手動で干渉の有無を確認してから使用してください。
また、作業機が勢いよく上がるため、10 cm 以上の余裕を持って上げ規制をしてください。
- ポジションコントロールレバーを徐々に上げて、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイントが突かないことを確認してください。
- トップリンクやロアーリンクの取付け位置、およびリフトロッドやトップリンクの長さを変えた場合にも、干渉の有無を確認してください。
- 左右の水平調節についても注意してください。

(1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにします。

(2) オートヒッチバーを下げます。

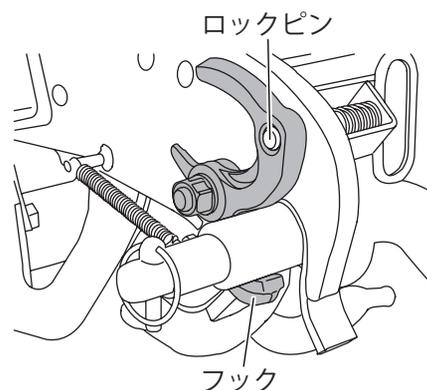
(3) トラクタをゆっくりバックさせ、作業機に近づけます。

作業機のヒッチブラケット開口部にオートヒッチバーを取付けます。

取扱上の注意

- トラクタと作業機が直角になるようにしてください。
- ジョイントとトラクタが干渉しないようにしてください。

(4) 装着後、ロックピンが確実にフックに入り込んでロックされているか確認します。



4 トラクタのトップリンクを作業機のマストに、付属のトップリンクピンで取付けます。

お知らせ

- 付属のトップリンクピンは、カテゴリーⅡ、Ⅲ形兼用です。
- トップリンクの長さは、「トラクタ別装着表」(→ p.79) で確認してください。

ジョイントの取付け（トラクタ側）

⚠ 警告

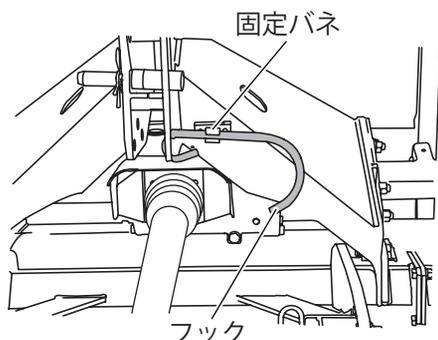
! ジョイントを取付けるときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO チェンジレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。

必ず実行

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

1 抜け止めのために連結していたジョイントのチェンを外します。

2 ジョイントハンガのフックをジョイントから取外し、固定バネにはめ込みます。



取扱上の注意

・トラクタのPTO軸にジョイントを取付けるときは、必ずジョイントハンガのフックからジョイントを取外してください。

3 ジョイントをトラクタのPTO軸に取付けます。

(CV・SV仕様以外の場合)

ジョイントのカバーにはPTO側を示すラベルが貼り付けられています。

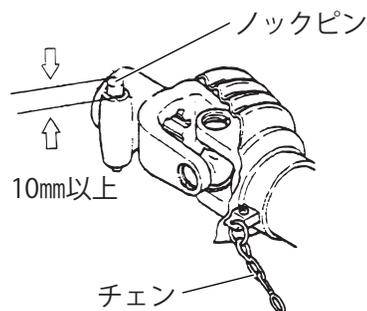
(CV・SV仕様の場合)

ジョイントのカバーにはPTO側を示すトラクタのイラストが描かれています。

(1) ジョイントのノックピンを押しながら軸に挿入し、軸の溝にノックピンをはめ込み、抜け止めをします。

(2) トラクタ側のノックピンの取付け状態を確認します。

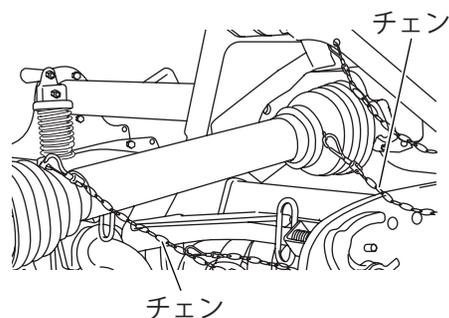
- ・ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ・ピンの頭が **10mm以上** 出ているか。



4 ジョイントセフティカバーのチェンを固定し、回り止めをします。

取扱上の注意

- ・このとき作業機をいっぱい下げてもチェンが緊張しないようにたるみを持たせてください。



⚠ 注意



必ず実行

装着が終わったら、各部のトメピンやトップリンクピンの抜け止めが確実にしていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

装着後のトラクタとの調整

チェックチェンの調整

左右の横振れを確認し、必要に応じてチェックチェンを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力軸とトラクタのPTO軸を後方より見て直線上に合わせます。
- 2 左右の横振れが10 mm以内になっていることを確認します。10 mmを超える場合は、10 mm以内になるように左右均等にチェックチェンを張ります。

トップリンクの調整

⚠ 警告

! トップリンクの調整は、作業機を接地させてから行ってください。
必ず実行 * トップリンクが抜けて、作業機が落下し、事故・大ケガにつながる恐れがあります。

前後の傾きを確認し、必要に応じてトップリンクを調整してください。

トップリンクの長さは、「トラクタ別装着表」(→ p.79)を参照してください。

リフトロッドの調整

左右の水平を確認し、必要に応じてリフトロッドを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水平になるようにします。
- 2 トラクタの油圧水平スイッチを操作し、リフトロッドを調整します。油圧水平スイッチがない場合は、リフトロッドを回して調整します。

ジョイントの確認

シングルジョイントの場合、トラクタのPTO軸と作業機の入力軸とが平行に近いほど異音が少なくなります。

⚠ 注意



(ジョイント B895SA の場合)
作業機を使用中、スリップクラッチに触れないでください。
* 火傷をする恐れがあります。

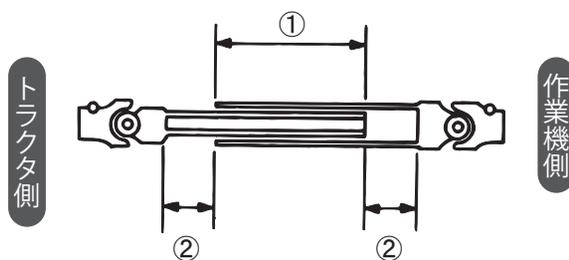


(ジョイント B895SA の場合)
スリップクラッチの周囲には可燃性のものを置かないようにし、長時間スリップしないようにしてください。
* 火災の恐れがあります。

取扱上の注意

- トラクタによっては、作業機を最上位置に上げた状態で回転させると、異音が発生することがあります。ジョイントに無理がかかり、損傷の原因になる恐れがあります。この場合、回転しても振動や音が出ない位置に、トラクタのポジションコントロールレバーのストッパーをセットしてください。

- 1 ゆっくり作業機を上げて、ジョイントが一番縮んだ状態で、軸を突かないことを確認します。
- 2 作業機を上下してカバーの隙間を確認します。



ジョイントの種類		①	②
KG	2 セット	最伸時 86 mm 以上の重なり	最縮時 25 mm 以上の間隔
KVD		最伸時 200 mm 以上の重なり	
B895SA		最伸時 250 mm 以上の重なり	

トラクタからの取外し

作業機のトラクタからの取外しについて記載しています。

⚠ 警告



必ず実行

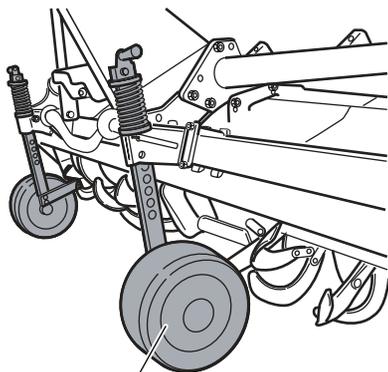
作業機を取外す場合は、平坦で地盤のしっかりした場所で、取外しのためのスペースが十分にとれる場所で行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

1 作業機にホイールゲージまたはコールタを装着します。

(a) ホイールゲージの場合は、ホイールゲージの穴位置を上から2番目～3番目にします。

⇒ 作業機がやや前傾姿勢になります。



ホイールゲージ

(b) コールタの場合は、コールタの支点ボルトを上から4番目、シャーボルトキットを上から6番目の穴位置にします。

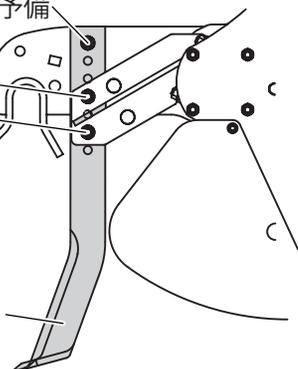
(PJ仕様のみ)

⇒ 作業機がやや前傾姿勢になります。

シャーボルトキットの予備

支点ボルト
シャーボルトキット

コールタ



2 作業機を下げます。

- (1) トラクタ PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) ポジションコントロールレバーを「下げる」にします。
- (3) 作業機を下げ、接地させます。

ジョイントの取外し (トラクタ側)

1 ジョイントを取外します。

⚠ 警告



必ず実行

ジョイントを取外すときは必ずトラクタのエンジンを止め、PTO チェンジレバーがニュートラル (OFF) の位置になっていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- (1) セフティーカバーのチェンを取外します。
- (2) トラクタ PTO 軸側のジョイントのノックピンを押しながら、ジョイントを引き抜きます。
- (3) ジョイントハンガのフックを固定バネから取外して下げ、ジョイントを乗せます。
- (4) ジョイントのスライド部が抜けないように、2本のチェンを連結します。

2 トップリンクを取外します。

- (1) ホイールゲージまたはコールタが接地し、作業機が安定するまでトップリンクの長さを調整します。
- (2) トップリンクに力がかからなくなったところでトップリンクを取外します。

使
い
か
た

ト
ラ
ク
タ
へ
の
装
着
21

3 オートヒッチフックのロックを解除します。

⚠ 注意



注意

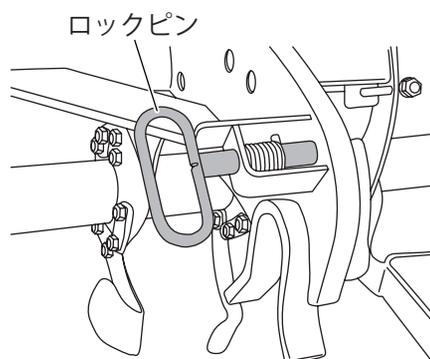
ロックを解除する際は、十分注意してください。

* オートヒッチバーが急に下り外れて、事故・大ケガにつながる恐れがあります。

(1) ロックピンを引っ張ります。

⇒ オートヒッチフックのロックが解除され、フックが開きます。

(2) ロックピンを下図の位置にしておきます。



4 作業機をトラクタから取外します。

(1) ポジションコントロールレバーを「下げる」にします。

(2) 作業機を下げ、トラクタをゆっくり前進させます。

⇒ 作業機は外れます。

取扱上の注意

- ・ 外れない場合は、場所が平坦でないかトラクタがまっすぐ前進していないなどの原因があります。再度動作をやり直してください。

移動・圃場への出入り

移動・圃場への出入りについての注意事項を以下に示します。
よく読み、内容を理解してから作業を行ってください。

注意事項

⚠ 危険

! トラックへの積み込み、坂の上りに、トラクタの前輪が浮き上がる場合は、フロントウエイトをつけて作業機を下げて登ってください。
必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

! 圃場に入るときは、必ず前進で速度を下げて、畦や段差に対して直角に進んでください。
必ず実行 畦畔が高いときは、丈夫で滑り止めのあるアユミ板を使用し、傾斜角が14度以下になるようにしてください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 警告

! 移動の際は、作業機を持ち上げ、油圧ロックをし、作業機の回転を止めてください。
必ず実行 また、チェックチェーンも確実に張れているか確認してください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

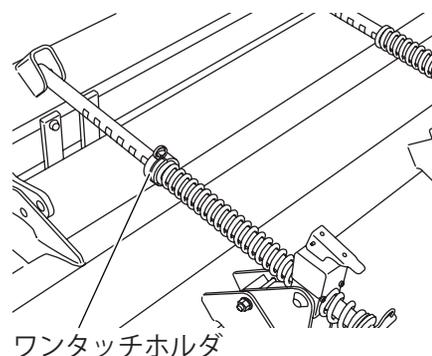
! 前後左右に気をくばり、安全を確認しながら走行してください。
必ず実行 高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回はしないでください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意

! 移動の際は、エクステンションエプロンをたたんでください。
必ず実行 * 事故・ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意

! 作業機の運搬、またはトラクタへ装着しての移動は、エプロンが上下に揺れないようにしてください。
必ず実行 エプロン調整に使用するワンタッチホルダを、揺れない位置まで下げてください。
* エプロンが上下に大きく揺れ、機体が破損する恐れがあります。



使いかた

移動・圃場への出入り

上手な作業のしかた

ここでは作業のしかたについて詳しく記載しています。
作業前によく読み、内容を理解してから作業をしてください。

注意事項

⚠ 危険



禁止

運転中トラクタと作業機の周囲には、補助作業員や他の人を絶対に近づけないでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

次の作業をする場合は、必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエンジンを停止し、PTO 軸への動力が絶たれていることを確認してから作業してください。

- ・ 運転者が運転位置を離れて作業機を調整するとき
- ・ 爪軸などへの草やワラのからみ付きを削除するとき

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

トラクタの急旋回を行わず、安全な速度で行ってください。(特に傾斜地での旋回は、十分注意して行ってください。)

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



必ず実行

(KRZ の場合)

トラクタ PTO 変速設定は 1000rpm に設定してください。

* ケガ・故障につながる恐れがあります。



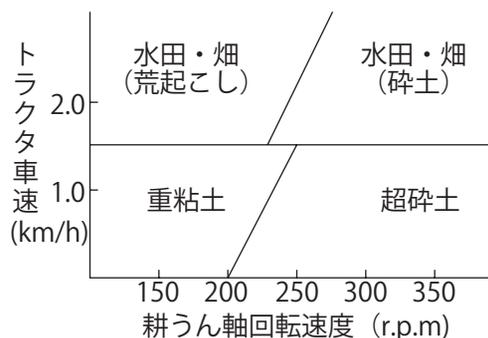
注意

畦際での作業は、作業機を畦に引っかけないように、ゆっくりと注意して行ってください。

* ケガ・故障につながる恐れがあります。

作業速度と耕うん軸回転速度

- (a) 作業目的と土地条件に合わせて、トラクタの車速と耕うん軸回転速度を決めてください。下図は作業の目安として参考にしてください。



- (b) 枕地耕うんは車速を落として耕うんしてください。
- (c) エンジン回転は PTO 変速「1」にて、PTO 軸を回転速度 540 rpm まで上げてください。KRZ の場合は、PTO 変速を 1000rpm に設定してください。エンジン回転を落として使用する場合は、PTO 変速を適宜上げて、車速に合った耕うん軸回転速度を確保してください。

取扱上の注意

- ・ 逆転土寄せ作業はしないでください。
- ・ 土地条件に応じた作業速度、PTO 軸回転速度、深さを選んでください。なお、石の多い圃場では、作業速度は遅くし、PTO 軸回転速度も下げて使用してください。

耕うん軸回転速度

この作業機の耕うん軸回転速度は、チェンジギヤーの交換により標準セットで4段（KRZは2段）の回転速度が選べます。チェンジギヤーケースカバーを外して交換してください。

⚠ 警告

必ず実行 必ずトラクタのエンジンを止め、PTOチェンジレバーがニュートラル（OFF）の位置になっていることを確認してください。
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意

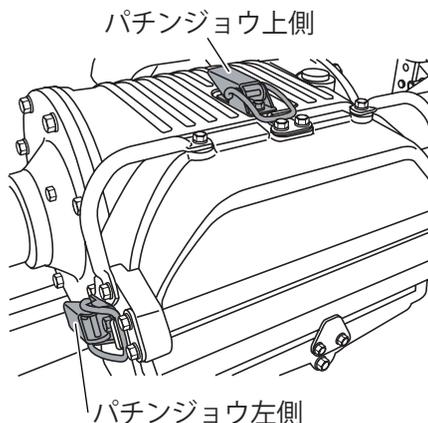
必ず実行 作業後は手で触れないでください。
* オイル温度が80度以上になり、火傷する恐れがあります。

チェンジギヤーケースカバーの開け方

1 パチンジョウの3か所のうち始めに左→右を取外し、その後、上の順に取外します。

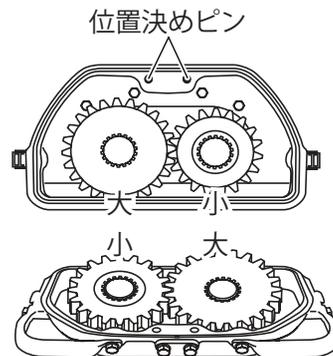
取扱上の注意

- 開ける時は、オイルがあふれないように作業機を前傾にしてください。

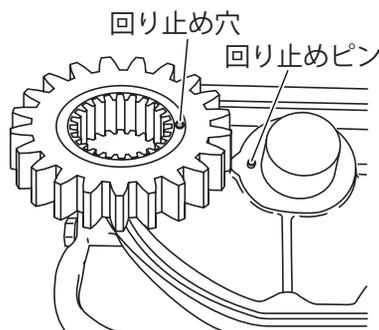


チェンジギヤーの交換方法

1 予備のチェンジギヤーの左右位置は、大きさが組込ギヤーの逆（左が大きい場合は、右に大きいギヤーを入れる）に組みます。



2 左側の予備ギヤーは回り止めのピンと穴を合わせて組みます。ピンと穴が正しく組み込まれた状態でないと、チェンジギヤーカバーの取付けができません。



チェンジギヤーケースカバーの閉め方

1 パチンジョウの3か所のうち始めに上を固定し、その後、左→右の順に固定します。

取扱上の注意

- 交換後は、パッキンが溝からはみださないように注意してください。
- 2か所の位置決めピンに合わせてチェンジギヤーカバーを取付けてください。

使いかた

上手な作業のしかた

耕うん軸回転速度の選択

■ KRV

下記の表にトラクタ PTO 軸回転速度が 540 rpm の場合を示します。

トラクタ PTO 回転速度を上げる場合は、耕うん軸回転速度が 190 ~ 400 rpm の範囲に収まるようにチェンジギヤーを交換してください。

ギヤー組合せ		耕うん軸 回転速度	STD・KW・ S・CV・SV 仕様	A 仕様	H・HJ・ J・PJ 仕様
A	B				
29	20	167rpm	使用不可	使用不可	使用不可
28	21	181rpm	使用不可	使用不可	使用不可
27	22	197rpm	◎	○	○
26	23	214rpm		◎	
25	24	232rpm	○		
24	25	252rpm	○		
23	26	273rpm		○	
22	27	297rpm	○	○	◎
21	28	323rpm			○
20	29	351rpm			

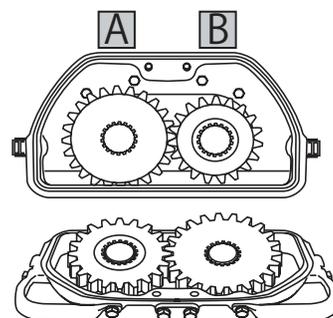
■ KRZ

下記の表にトラクタ PTO 軸回転速度が 1000 rpm の場合を示します。

トラクタ PTO 回転速度を上げる場合は、耕うん軸回転速度が 160 ~ 400 rpm の範囲に収まるようにチェンジギヤーを交換してください。

ギヤー組合せ		耕うん軸 回転速度	STD 仕様	J 仕様
A	B			
36	15	163rpm		
35	16	179rpm		
34	17	195rpm	◎	
33	18	213rpm		
32	19	232rpm		
31	20	252rpm		○
30	21	273rpm		
29	22	296rpm	○	◎
28	23	321rpm		
27	24	347rpm		

- ◎は標準組込み耕うん軸回転速度
- ○は予備組込み耕うん軸回転速度
- 空白はオプション



取扱上の注意

- KRZ の場合、チェンジギヤーは A に大きい方、B に小さい方を組んでください。大小を逆に組むと故障につながる恐れがあります。

作業深さの調整

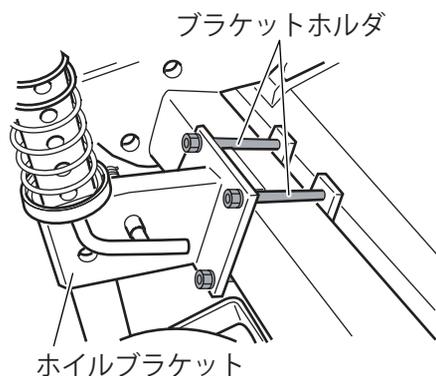
作業深さの調整は、ホイールゲージの上下調整、オートロータリ（オプション）、またはトラクタの油圧ポジションコントロールレバーで行ってください。

ホイールゲージの調整（PJ仕様以外）

耕深を安定させるために、

- ホイールブラケットを左右に動かし、トラクタのタイヤトレッドとホイールゲージ位置を調整してください。
- 左右調整はホイールブラケットを取付けているブラケットホルダのナットを緩めてください。
- 調整後、ブラケットホルダのナットを締めて固定してください。

ホイールゲージ高さを上下に調整して希望の耕深を選びます。調整はホイールピンをブラケットの上下2個の穴に差し替えることにより、1.5 cm 間隔で耕深を調整できます。



取扱上の注意

- 左右のホイールゲージの穴の位置は同じにしてください。
作業機が傾いたり、作業機が損傷したりする恐れがあります。

お知らせ

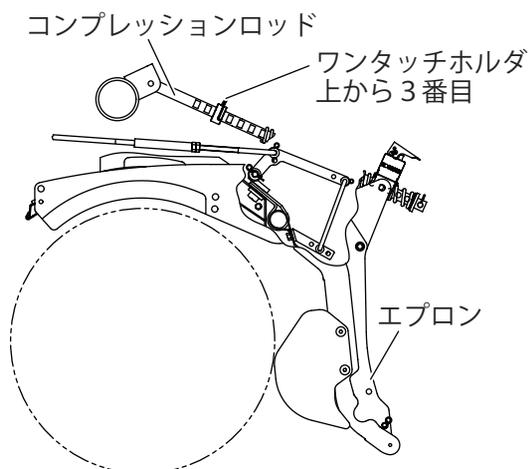
- ホイールゲージの上から6番目の穴にホイールピンを上側の穴から差し込んだ時、耕深（爪底からホイールゲージ底）が130 mm 程度になります。

オートロータリ仕様（オプション）

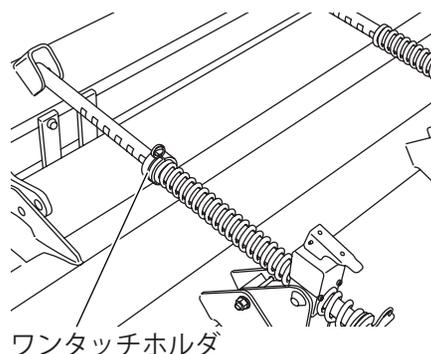
■ オートロータリを取付けた場合の耕深調節

トラクタの取扱説明書とオートロータリ取付け要領書を参照してください。

■ オートロータリ作業時の取扱いについて



- オートロータリを使用して作業を行うときは、上図のようにワンタッチホルダを上から3番目より下の位置にセットしてください。1、2番目の位置で使用されますと、センサ、またはトラクタ本体が破損します。
- エプロンをはね上げる場合は、オートロータリ金具のリンク部分を取外してください。
- オートロータリと作業機破損防止のため、移動・運搬時はワンタッチホルダをエプロンが上下に大きく揺れない位置にセットしてください。



使いかた

上手な作業のしかた

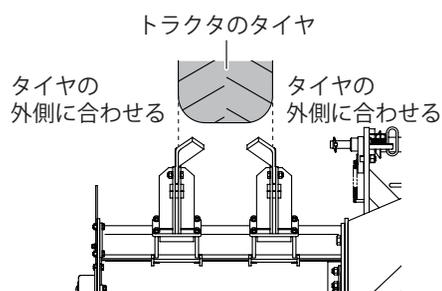
コールトアの調整 (PJ仕様のみ)

梱包状態では、コールトアとコールトアブラケットと取付け部品を本体から取外していますので、組付けてください。

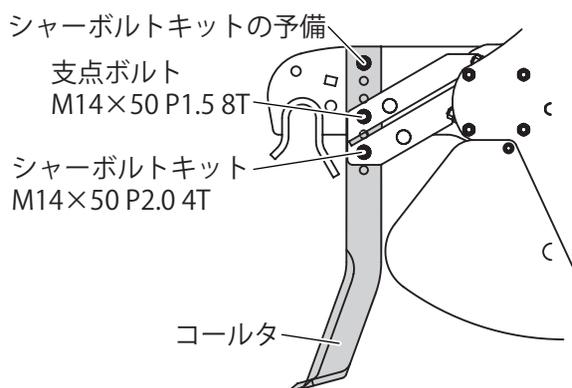
コールトアはトラクタのタイヤ跡を膨軟にし、均一な碎土状態にするためのものです。トラクタのタイヤの外側に合わせ、コールトア先端が地表より5～10 cm 入る程度の深さに調節してください。

1 タイヤの外側に合わせます。

- (1) コールタブラケットを取付けているブラケットホルダのナットを緩めます。
- (2) コールタブラケットを左右に動かし、トラクタのタイヤとコールトアの位置を調整し、ナットを締めます。



2 コールタの深さを調節します。 (下図位置が標準取付位置です)



取扱上の注意

- ・ コールタは標準位置より上げて使用しないでください。
フレームが破損するおそれがあります。

お知らせ

- ・ 深くすると抵抗が大きくなりますので、適正な位置に調整してください。
- ・ シャーボルトが折損した場合は、各コールトアの最も上の穴に取付けてある予備のシャーボルト (計4個) に交換してください。

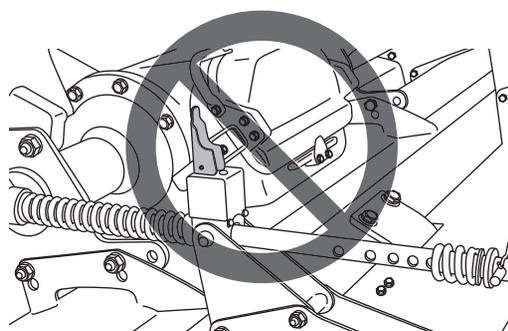
部品名称	品目コード	規格
シャーボルトキット	6030107	M14×50 P2.0 4T

エプロンの調整

エプロンを調整することにより使用目的に応じたロータリの性能 (仕上がり精度、碎土、反転) を発揮することができます。

取扱上の注意

- ・ はね上げロック装置を用いてエプロンをはね上げた状態での耕うん作業、路上走行、トラクタとの脱着作業は行わないでください。

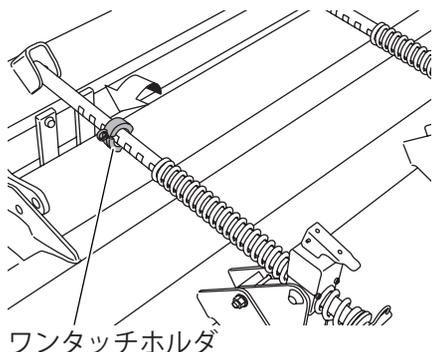


一般耕うんの場合

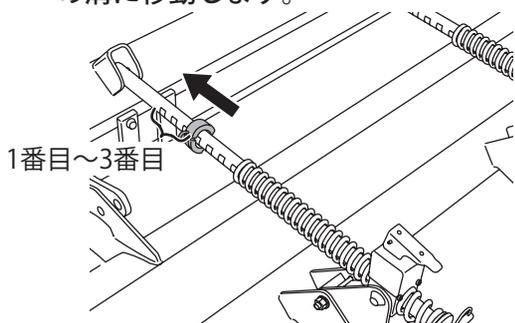
ワンタッチホルダを上から1番目～3番目の溝にセットし、上側のスプリングを弱めにきかせ、エプロンで押さえ過ぎないようにします。

- 1 ワンタッチホルダのコイル部分を横に向け
ます。

⇒ 解除されます

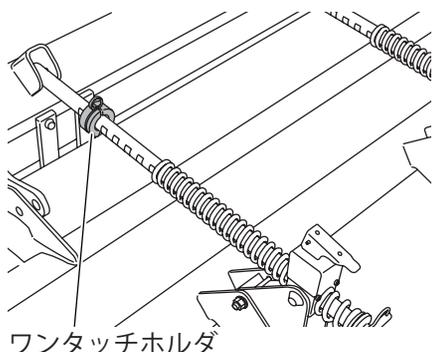


- 2 ワンタッチホルダを上から1番目～3番目の溝に移動します。



- 3 ワンタッチホルダのコイル部分を上に向け
ます。

⇒ ロックされます



取扱上の注意

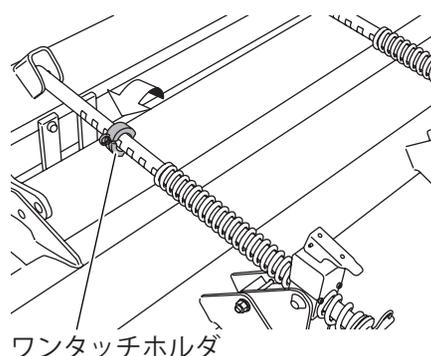
- 全てのワンタッチホルダ位置は同じにしてください。作業機が損傷する恐れがあります。

碎土耕うんの場合

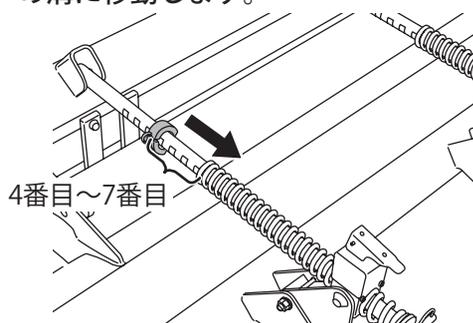
ワンタッチホルダを上から4番目～7番目の溝にセットし、上側のスプリングをきかせ、エプロンの押さえを強くします。

- 1 ワンタッチホルダのコイル部分を横に向け
ます。

⇒ 解除されます

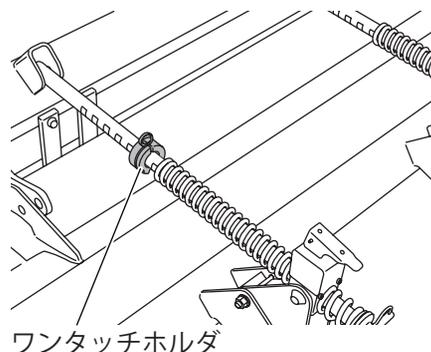


- 2 ワンタッチホルダを上から4番目～7番目の溝に移動します。



- 3 ワンタッチホルダのコイル部分を上に向け
ます。

⇒ ロックされます



取扱上の注意

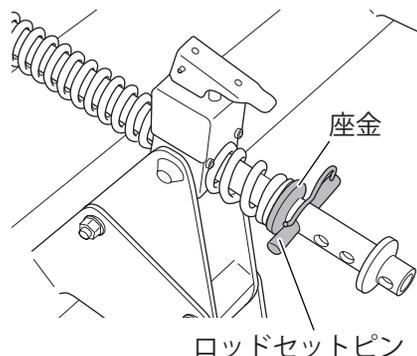
- 全てのワンタッチホルダ位置は同じにしてください。作業機が損傷する恐れがあります。

使
い
か
た

上
手
な
作
業
の
し
か
た

石の多い、湿田、粘土質圃場での耕うん

ワンタッチホルダを最上位置まで上げ、上側のスプリングをフリーにし、ロッドセットピンを下から2番目～6番目の穴に挿し、エプロンを少し上げた状態にすると、土はげがよく所要馬力も少なくなります。



取扱上の注意

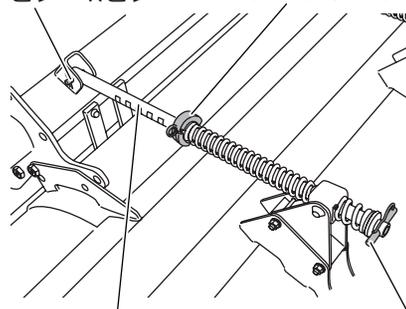
- エプロンをロッドセットピン等で上げた状態では、オートロータリを使用した作業はできません。

さらにエプロンを高い位置にした場合

以下の方法で、エプロンをさらに高い位置まで上げることができます。

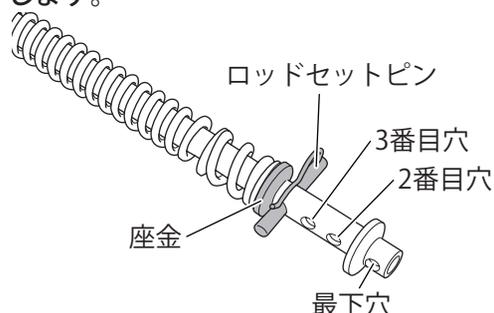
1 テーラピンを取外して、全てのコンプレッションロッドを作業機から取外します。

テーラピン・Rピン ワンタッチホルダ



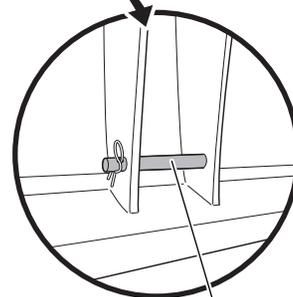
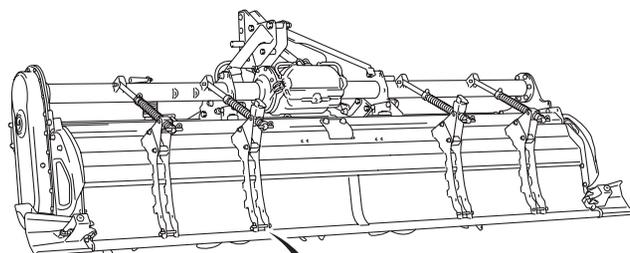
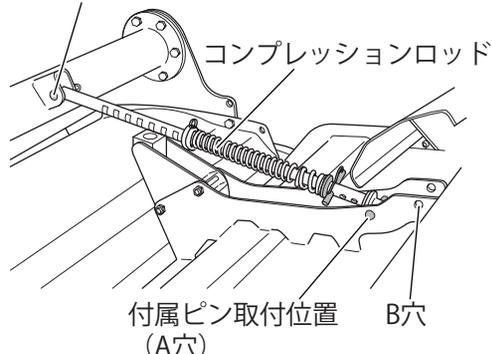
コンプレッションロッド ロッドセットピン

2 ロッドセットピンを、コンプレッションロッド最下穴および2～3番目の穴以外に固定します。



3 コンプレッションロッド最下穴とエプロンA穴を、エプロンB穴の付属ピンを使って取付けます。

テーラピン

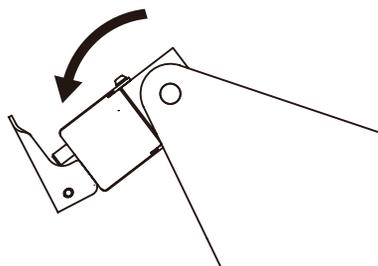


付属ピン保管位置 (B穴)

4 全てのコンプレッションロッドとフレームパイプを、テーラピンを使って取付けます。

お知らせ

- コンプレッションロッドを取付ける前に、中央2か所のはね上げロック装置を必ず前方に倒してください。



エクステンションエプロン

⚠ 注意

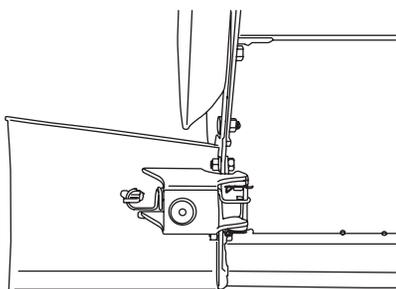


必ず実行

エクステンションエプロンを開くときに、支点まわりで指や手を挟まないようにしてください。

* ケガにつながる恐れがあります。

隣接部に盛る土をならす場合などに開いてください。



圃場の回りかた

⚠ 注意



禁止

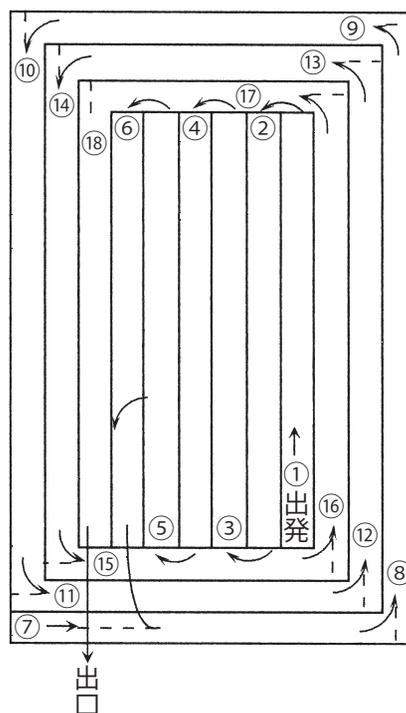
耕うん作業を行いながらの旋回は行わないでください。

旋回を行うときは、作業機を持ち上げてください。

また、旋回時は周囲の障害物と作業機の接触に注意してください。(特に、エプロン両端、エクステンションエプロン、サイドディスク)

* 破損につながる恐れがあります。

一般的に行われている隣接耕うんです。参考にしてください。畦際耕うんにおいては、サポートハウジングが畦際（チェンケース側が内側）になる方向で行ってください。



使いかた

上手な作業のしかた

耕うん爪の取付け

耕うん爪が摩耗すると作業状態が悪くなるため、早めに交換してください。
以下の手順で、耕うん爪を交換してください。

注意事項

⚠ 危険



必ず実行

トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して油圧ロックを行い、台などを作業機の下に置き、作業機が落下しないようにしてから行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意



必ず実行

平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

エプロンをしっかりと固定して、落下しないようにしてから行ってください。

* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

ボルト、ナットを緩めたり、締め付ける場合は、メガネレンチが確実に入った状態で作業してください。

* ケガにつながる恐れがあります。



必ず実行

作業は丈夫な手袋を着用して行ってください。

* ケガにつながる恐れがあります。

取扱上の注意

- 爪の交換は、1本ずつ外して同じ形状、同じ刻印の爪を取付けていってください。
一度に全部外して交換すると、配列を誤る恐れがあります。
爪の配列を誤ると、異常な振動が発生したり、仕上がりが悪くなったりします。
- 爪はしっかりと締め付けてください。
M16 ボルト：156.8~192.0 N・m
(1600~1960 kgf・cm)
M12 ボルト：130.0~150.0 N・m
(1326~1530 kgf・cm)

新しく交換した場合は緩みやすいため、作業開始1時間で増し締めをしてください。

耕うん爪の種類と用途

■ KRV

耕うん爪の種類	用途	仕様
標準爪 (HS2995Z)	一般耕うん碎土用	STD
標準爪 (HS2596Z)	一般耕うん碎土用 (浅)	A
S爪 (SK2412Z)	畑碎土用 (浅)	H・HJ
S爪 (SE3012Z)	畑碎土用 (深)	J・S
畑用爪 (HS2395Z)	軽量畑碎土用	PJ
ホルダタイプ爪 (HS2660Z)	一般耕うん碎土用 (干拓地用)	KW
L爪 (C29130)	礫地用	CV
S爪 (S30130)	畑碎土用	SV

■ KRZ

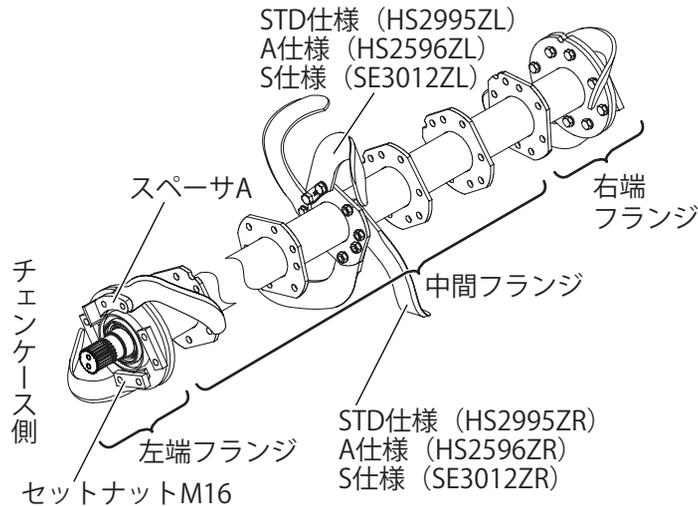
耕うん爪の種類	用途	仕様
標準爪 (HS2995Z)	一般耕うん碎土用	STD
S爪 (SE3012Z)	畑碎土用	J

耕うん爪について

KRV (STD仕様, A仕様, S仕様), KRZ (STD仕様)

■ 爪配列について

爪配列はらせん配列になります。



お知らせ

- ・ 爪の形状は、仕様により異なります。

■ 耕うん爪・取付けボルトについて

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)						
	右 (R)	左 (L)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 45 BT SW	M16 × 55 BT SW	スペーサ A	フィード カッター R	セット ナット M16
KRV200S	20	20	36	72	8	8	1	1	6
KRV220 (STD) KRV220S	22	22	40	80	8	8	1	1	6
KRV240 (STD) KRV240A	24	24	44	88	8	8	1	1	6
KRV260 (STD) KRV260A	26	26	48	96	8	8	1	1	6
KRV280 (STD) KRV280A	28	28	52	104	8	8	1	1	6

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)								
	右 (R)	左 (L)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 45 BT SW	M16 × 50 BT SW	M16 × 55 BT SW	M16 × 60 BT SW	スペーサ A	フィード カッター R	セット ナット M16
KRZ240 (STD)	24	24	44	88	4	4	4	4	1	1	6
KRZ260 (STD)	26	26	48	96	4	4	4	4	1	1	6
KRZ280 (STD)	28	28	52	104	4	4	4	4	1	1	6
KRZ300 (STD)	30	30	56	112	4	4	4	4	1	1	6

使
い
か
た

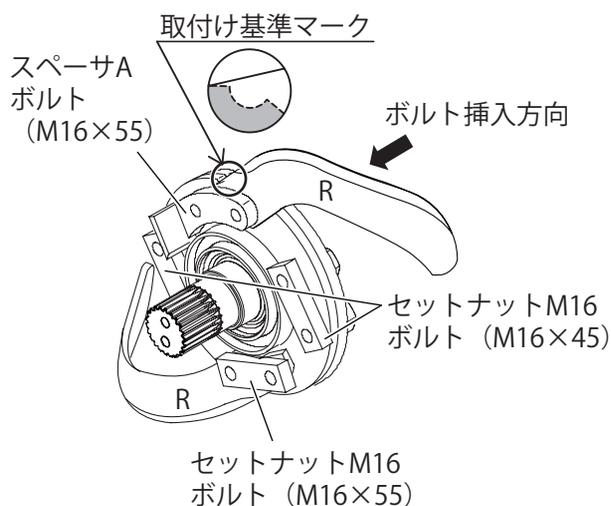
耕
う
ん
爪
の
取
付
け

■ 左端フランジへの取付け

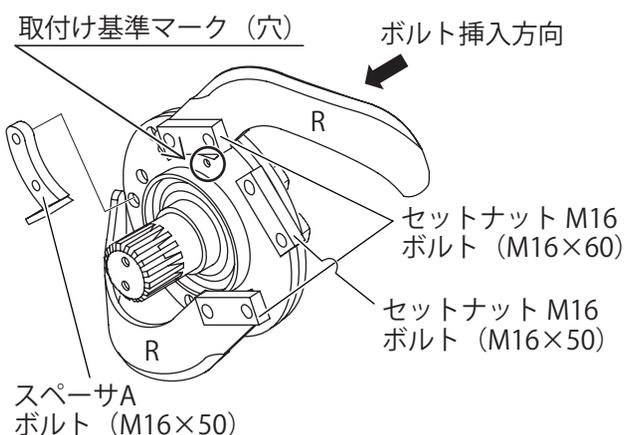
R爪2本をフランジの外側に内向きに取付けてください。

この場合、フランジ側からボルトとSワッシャを入れ、爪をはさんで（1本はスペーサA、もう1本はセットナットM16（KRZは2本ともセットナットM16））で固定します。

(KRVの場合)



(KRZの場合)

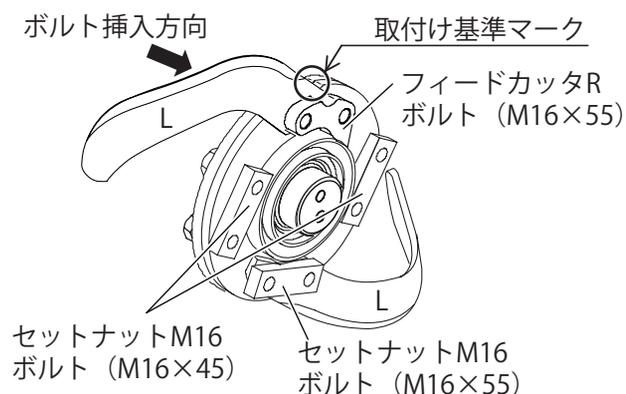


■ 右端フランジへの取付け

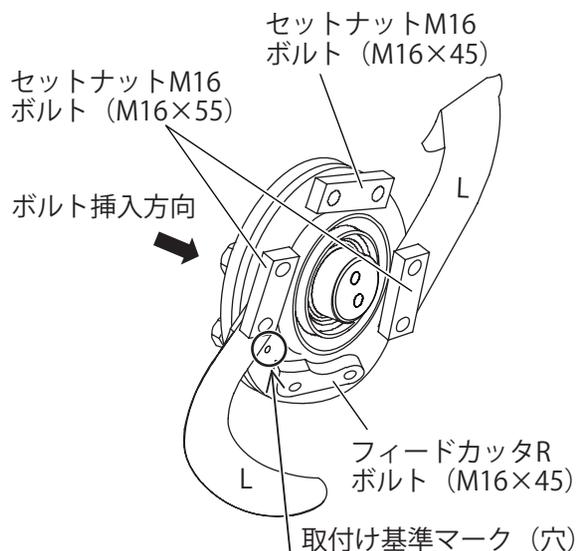
L爪2本をフランジの外側に内向きに取付けてください。

この場合、フランジ側からボルトとSワッシャを入れ、爪をはさんで（1本はフィードカッターR、もう1本はセットナットM16（KRZは2本ともセットナットM16））で固定します。

(KRVの場合)



(KRZの場合)



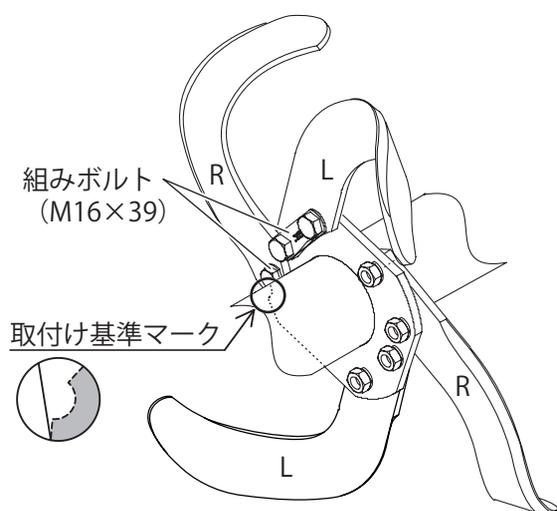
■ 中間フランジへの取付け

各フランジにL・R各2本の耕うん爪を取付けてください。

取扱上の注意

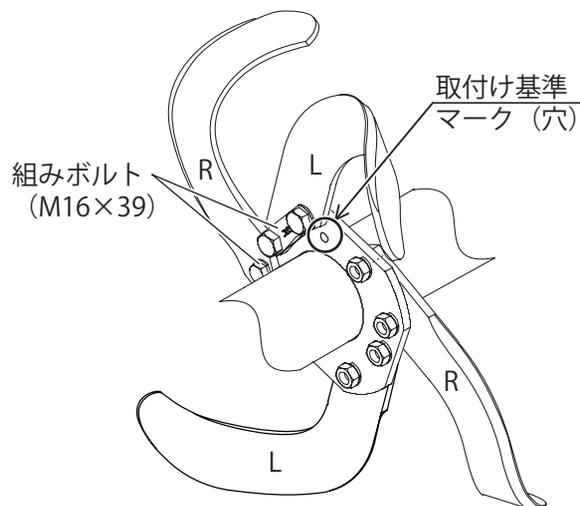
- 爪を取付けるときは、フランジへの取付け面に注意してください。
R爪、L爪各1本を1組とし、1組はフランジの左側面に、もう1組は右側面に取付けてください。

(KRVの場合)



取付け基準マークのところにR爪をフランジの左側に取付けます。その他の爪は、R-L、R-Lの順番になるように取付けます。

(KRZの場合)

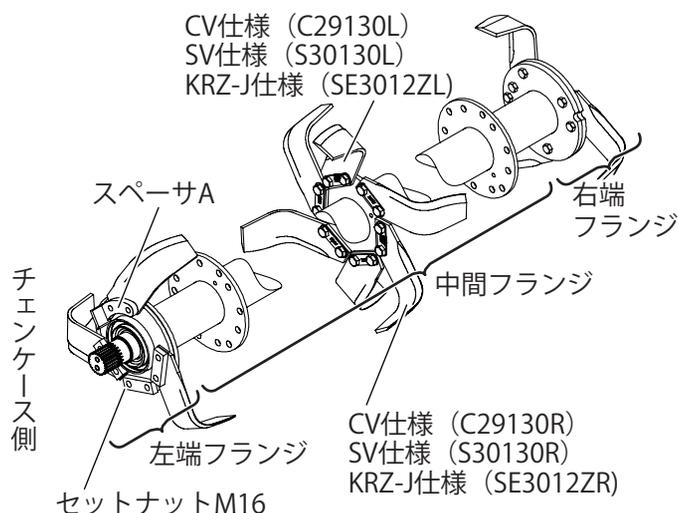


取付け基準マーク (穴) のところにL爪をフランジの左側に取付けます。その他の爪は、R-L、R-Lの順番になるように取付けます。

KRV (CV仕様, SV仕様), KRZ (J仕様)

■ 爪配列について

爪配列はらせん配列になります。



お知らせ

- ・ 爪の形状は、仕様により異なります。
- ・ スペーサ A とセットナットの端フランジへの取付け位置は、KRV と KRZ で異なります。

■ 耕うん爪・取付けボルトについて

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)						
	右 (R)	左 (L)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 45 BT SW	M16 × 55 BT SW	スペーサ A	フィード カッタ R	セット ナット M16
KRV200CV KRV200SV	24	24	42	84	4	12	1	1	6
KRV220CV KRV220SV	27	27	48	96	4	12	1	1	6

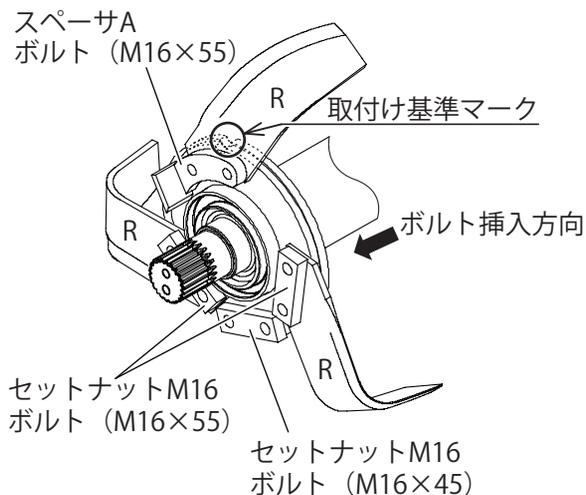
型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)								
	右 (R)	左 (L)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 45 BT SW	M16 × 50 BT SW	M16 × 55 BT SW	M16 × 60 BT SW	スペーサ A	フィード カッタ R	セット ナット M16
KRZ280J	45	45	84	168	2	2	6	6	1	1	6
KRZ300J	48	48	90	180	2	2	6	6	1	1	6
KRZ350J	54	54	102	204	2	2	6	6	1	1	6

■ 左端フランジへの取付け

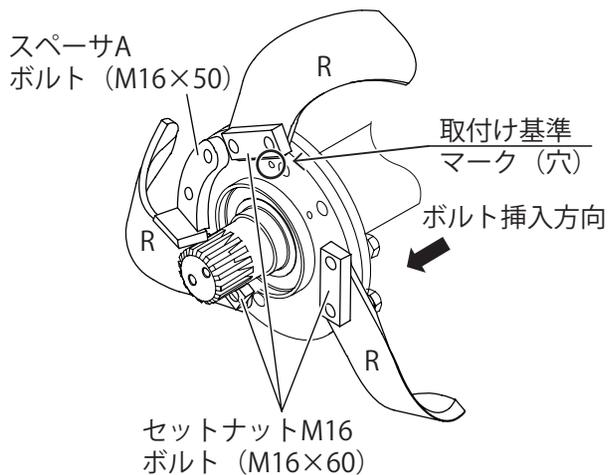
R爪3本をフランジの外側に内向きに取付けてください。

この場合、フランジ側からボルトとSワッシャを入れ、爪をはさんで（1本はスペーサA、もう2本はセットナットM16（KRZは3本ともセットナットM16））で固定します。

(KRVの場合)



(KRZの場合)

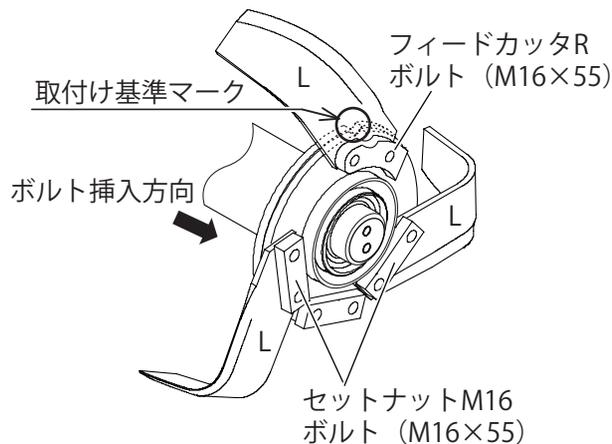


■ 右端フランジへの取付け

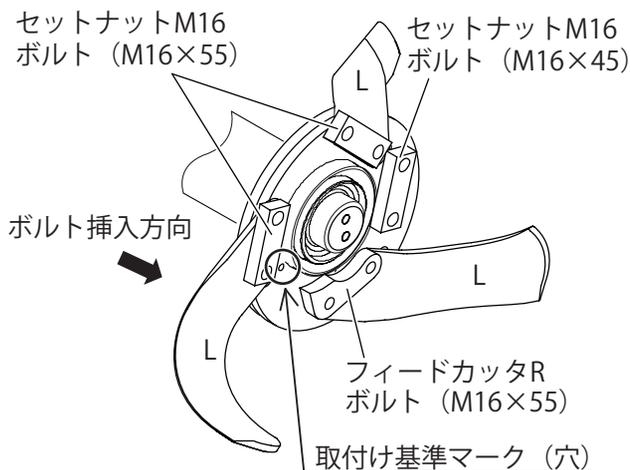
L爪3本をフランジの外側に内向きに取付けてください。

この場合、フランジ側からボルトとSワッシャを入れ、爪をはさんで（1本はフィードカッタR、もう2本はセットナットM16（KRZは3本ともセットナットM16））で固定します。

(KRVの場合)



(KRZの場合)



■ 中間フランジへの取付け

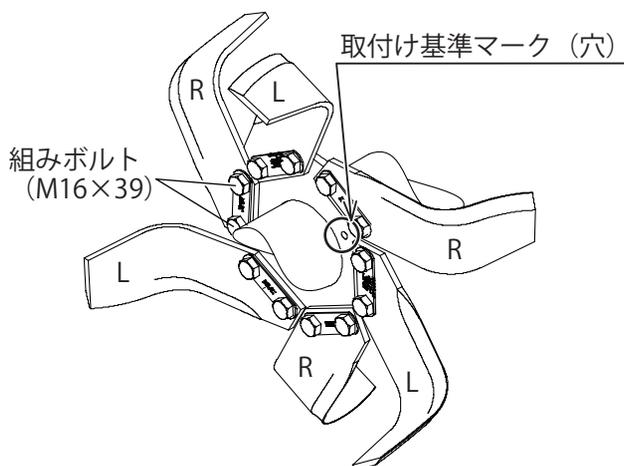
フランジの左側に L・R 各 3 本の耕うん爪を取付けてください。

取付け基準マークのところに R 爪を取付けます。その他の爪は、フランジの左側に R-L、R-L の順番になるように取付けます。

取扱上の注意

- 爪を取付けるときは、フランジへの取付け面に注意してください。

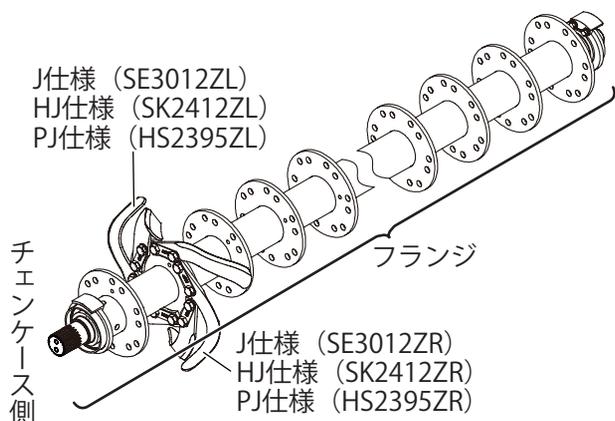
(KRV、KRZ 共通)



KRV (J 仕様, HJ 仕様, PJ 仕様)

■ 爪配列について

爪配列はらせん配列になります。



お知らせ

- 爪の形状は、仕様により異なります。

■ 耕うん爪・取付けボルトについて

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)		フィード カッタ	コガタ ボルト 2P M10×20 P1.5
	右 (R)	左 (L)	M16×39 組み BT	M16 NT SW		
KRV240J	39	39	78	156	2	4
KRV260J KRV260HJ	42	42	84	168	2	4
KRV280J KRV280HJ KRV280PJ	45	45	90	180	2	4
KRV300HJ KRV300PJ	48	48	96	192	2	4

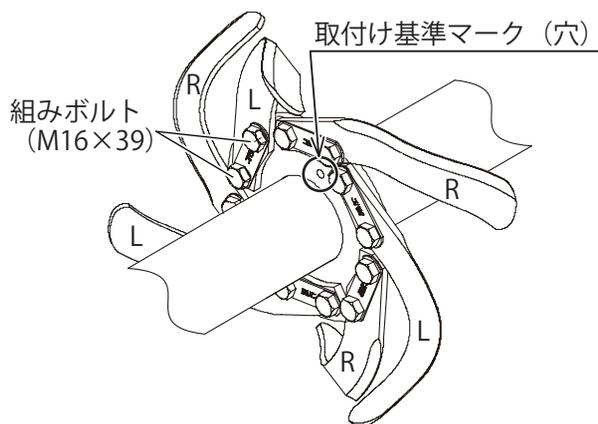
■ フランジへの取付け

フランジの左側に L・R 各 3 本の耕うん爪を取付けてください。

取付け基準マークのところに R 爪を取付けます。その他の爪は、フランジの左側に R、L の順番に取付けます。

取扱上の注意

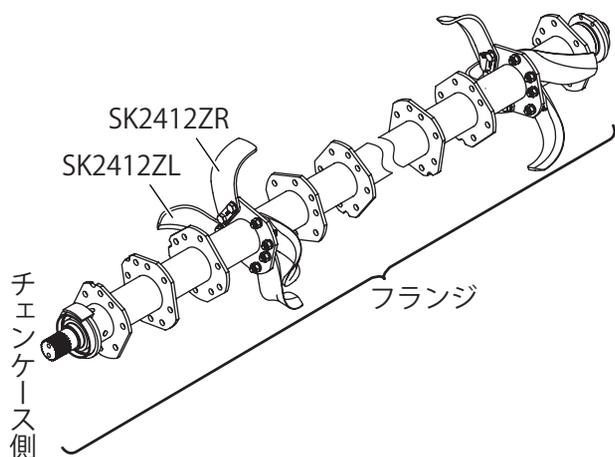
- 爪を取付けるときは、フランジへの取付け面に注意してください。



KRV (H仕様)

■ 爪配列について

爪配列は山形配列になります。



■ 耕うん爪・取付けボルトについて

型式	耕うん爪		取付けボルト (P1.5 8T)		フィード カッタ	コガタ ボルト 2P M10×20 P1.5
	右 (R)	左 (L)	M16×39 組み BT	M16 NT SW		
KRV260H	28	28	56	112	2	4
KRV280H	30	30	60	120	2	4
KRV300H	32	32	64	128	2	4

■ 爪の取付け

左半分と右半分で爪の取付け方法が変わります。下表により、フランジに爪を取付けてください。

型式	爪	
	取付け方法 1 (左半分)	取付け方法 2 (右半分)
KRV260H	①～⑧	⑨～⑭
KRV280H	①～⑧	⑨～⑮
KRV300H	①～⑨	⑩～⑰

※丸数字は左側からのフランジ番号になっています。

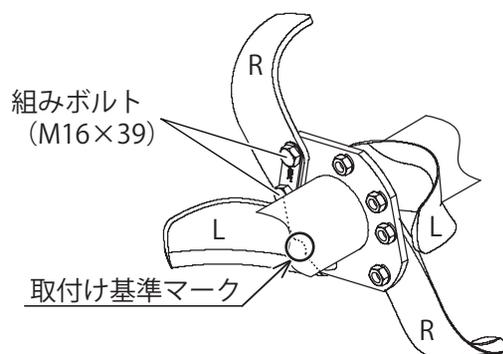
[取付け方法 1 (左半分)]

各フランジにL・R各2本の耕うん爪を取付けてください。

取付け基準マークのところにL爪をフランジの左側に取付けます。その他の爪は、L-R、L-Rの順番になるように取付けます。

取扱上の注意

- 爪を取付けるときは、フランジの左右に注意してください。
- R爪、L爪各1本を1組とし、1組はフランジの左側面に、もう1組は右側面に取付けてください。



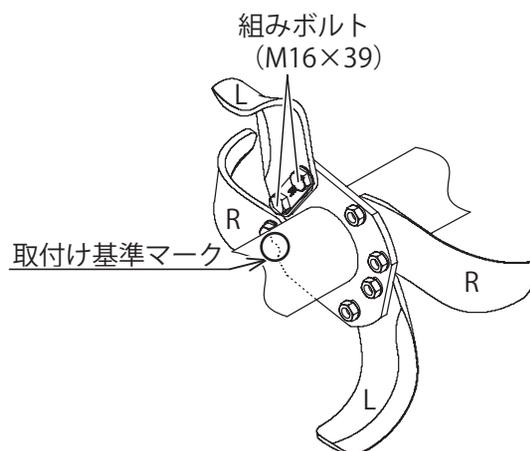
[取付け方法 2 (右半分)]

各フランジにL・R各2本の耕うん爪を取付けてください。

取付け基準マークのところにR爪をフランジの左側に取付けます。その他の爪は、R-L、R-Lの順番になるように取付けます。

取扱上の注意

- 爪を取付けるときは、フランジの左右に注意してください。
- R爪、L爪各1本を1組とし、1組はフランジの左側面に、もう1組は右側面に取付けてください。



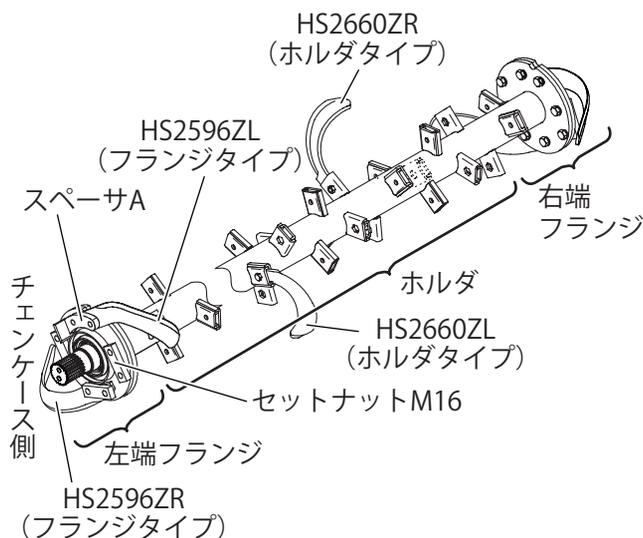
使
い
か
た

耕
う
ん
爪
の
取
付
け

KW仕様

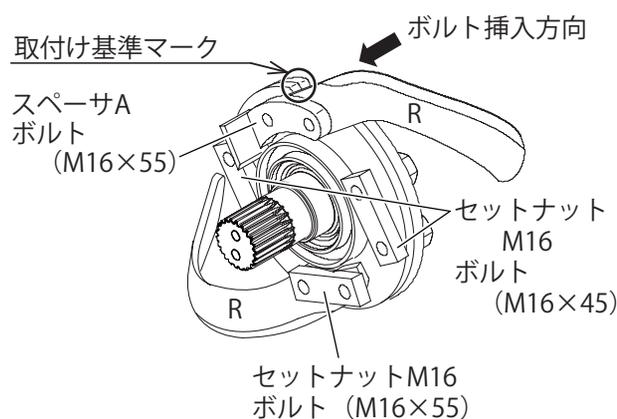
■ 爪配列について

爪配列は山形配列になります。
両端はフランジタイプ爪、中間はホルダタイプ爪を取付けます。



■ 左端フランジへの取付け

R爪2本をフランジの外側に内向きを取付けてください。
この場合、フランジ側からボルトとSワッシャを入れ、爪をはさんで1本はスペーサA、もう1本はセットナットM16で固定します。



■ 耕うん爪・取付けボルトについて

(左端、右端フランジ部)

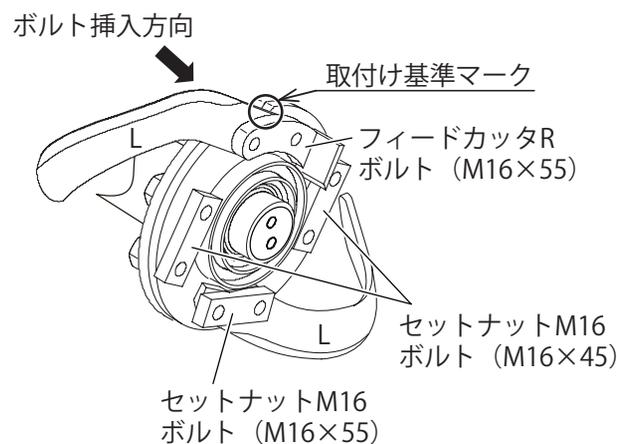
型式	耕うん爪 HS2596Z		取付けボルト (P1.5 8T)				
	右 (R)	左 (L)	M16×45 BT SW	M16×55 BT SW	スペーサ A	フィード カッタR	セット ナット M16
KRV240KW KRV260KW KRV300KW KRV350KW	2	2	8	8	1	1	6

(ホルダ部)

型式	耕うん爪 HS2660Z		取付けボルト (P1.25 11T)	
	右 (R)	左 (L)	M12×30 (B=21) BT NT (6T) SW	
KRV240KW	23	23	46	
KRV260KW	25	25	50	
KRV300KW	29	29	58	
KRV350KW	34	34	68	

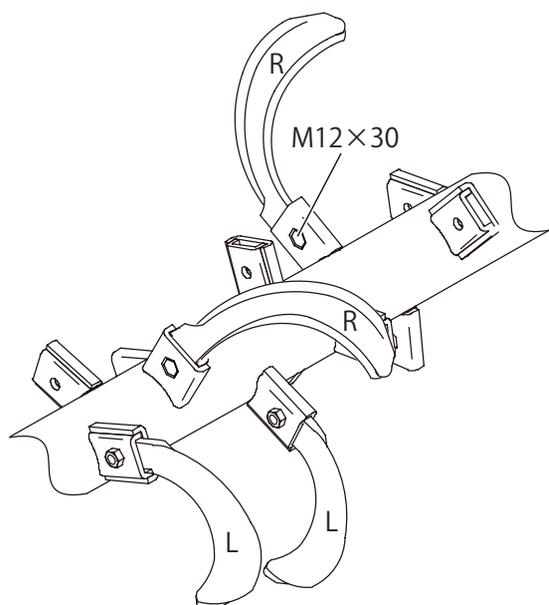
■ 右端フランジへの取付け

L爪2本をフランジの外側に内向きを取付けてください。
この場合、フランジ側からボルトとSワッシャを入れ、爪をはさんで1本はフィードカッタR、もう1本はセットナットM16で固定します。



■ ホルダへの取付け

ローター後方より見て、左側に六角穴があるホルダに R 爪、右側に六角穴があるホルダに L 爪を差し込みます。このとき、ボルトを六角穴側から入れて取付けてください。



保守・点検

作業機本来の性能を、十分にまた長期間にわたって発揮させるためには、定期的な保守・点検が必要です。また、故障を未然に防ぐため、作業機の状態を常に知っておくことも大切です。

注意事項

⚠ 危険

! 作業機をトラクタに装着して点検を行う場合は、トラクタのエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてから行ってください。

必ず実行

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

! 作業機を地面に降ろしてから行ってください。

必ず実行

作業機を持ち上げた状態で点検する必要がある場合は、トラクタの駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止して油圧ロックを行い、台などを耕うん軸の下に置き、作業機が落下しないようにしてから行ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注意

! 平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行

* ケガにつながる恐れがあります。

保守・点検の準備

トラクタに装着しての場合

- 1 トラクタを平坦な広い場所に置きます。
- 2 エンジンを止め、駐車ブレーキをかけます。
- 3 作業機を地面に下ろしてから行います。作業機を持ち上げた状態で点検する必要がある場合は、油圧ロックを締めます。
- 4 台などを耕うん軸の下に置き、作業機が落下しないようにします。

作業機単体での場合

- 1 作業機を平坦な広い場所に置きます。
- 2 ホイルゲージまたはコールタを接地させ、作業機を転倒させないようにしてください。

保守・点検一覧表

No.	作業項目	周期								参照ページ	
		新品の場合			作業前	作業後	1か月ごと	50時間ごと	150時間ごと または シーズン終了後		随時
		使い始め	1時間 使用後	50時間 使用後							
1	オイル量・オイル漏れの点検 (ギヤーケース、チェンケース、サポータハウジング)	○			○						p.54
	オイル交換 (ギヤーケース、チェンケース、サポータハウジング)			○					○		p.55
	オイルシール・パッキンの点検 (ギヤーケース、チェンケース、サポータハウジング)								○		p.54
2	グリスアップ・塗布										
	① ジョイント										
	(1) グリスニップル				○						p.57
	(2) スプライン				○						p.57
	(3) ノックピン					○					p.57
	(4) シャフト					○					p.57
	② エプロンハネアゲロックレバー				○						p.58
	③ 入力軸					○					p.58
	④ オートヒッチアームのレバー、フック					○					p.58
	⑤ 可動部への注油					○					
⑥ ホイルゲージ・グリスニップル (KRZのみ)							○			p.58	
3	各ボルト、ナットの点検		○		○	○					p.65
4	ジョイントのノックピンの点検				○						p.65
5	空転による動作確認				○						p.65
6	作業機の水洗い					○					p.59
7	耕うん爪、爪ホルダの点検					○					p.59
8	無塗装部へのサビ止め								○		p.59
9	警告表示ラベルの点検								○		p.59
10	消耗部品の早期交換								○		p.59
11	フローティングシールの組替え (KRVのみ)									○	p.59
12	オイルシールの組替え									○	p.63
13	フローティングシールの保守 (KRVのみ)						○				p.63
14	エプロンのはね上げ									○	p.64

使
い
か
た

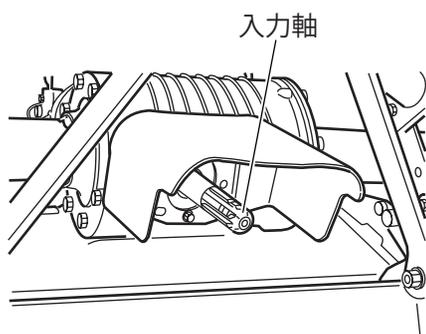
保
守
・
点
検

作業内容

オイル量・オイル漏れの点検

■ 準備

- 1 入力軸を水平にします。



■ ギヤケース

- 1 オイルゲージを抜いてから先端をきれいに拭き、再び差し込みます。

お知らせ

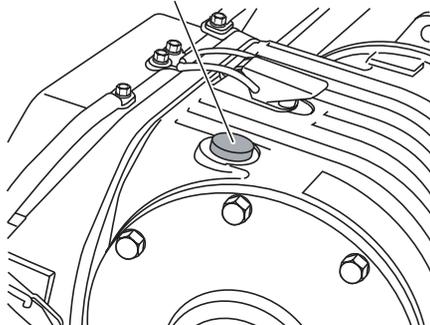
- ・ 再び差し込むときは、ゲージは差し込むのみでネジ込まないでください。

- 2 ゲージの切り込み線までオイルがあるか確認します。少ない場合は補給します。(ギヤオイル #90、KRZ-J仕様 #140)

お知らせ

- ・ 確認後は、ゲージをしっかりとネジ込んでください。

オイルゲージ (給油口)



- 3 周囲からオイル漏れがないか確認します。(オイルシール、パッキンなど)

⚠ 注意

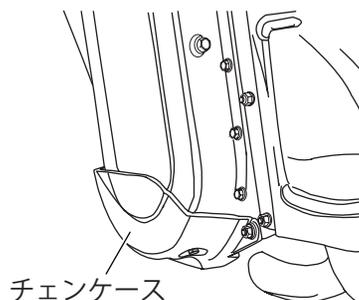


作業後は手で触れないでください。

* オイル温度が 80 度以上になり、火傷する恐れがあります。

■ チェンケース

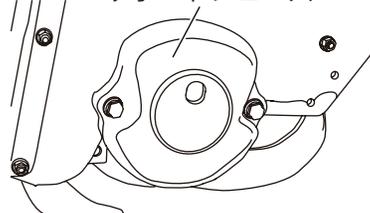
- 1 チェンケースからオイル漏れがないか確認します。(オイルシール、パッキンなど)



■ サポートハウジング

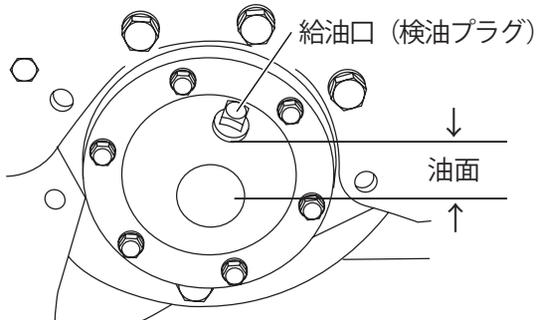
- 1 サポートシューズを外します。

サポートシューズ



- 2 給油口のプラグを外します。

- 3** 油面が軸心から給油口までの範囲であるか確認します。少ない場合は補給します。
(ギヤーオイル #90)



- 4** プラグのネジ部にシールテープを巻きつけ、プラグを検油口に再取付けします。
- 5** 給油が終わったらサポートシューズを取付けます。
- 6** 周囲からオイル漏れがないか確認します。
(オイルシール、パッキンなど)

オイルの交換

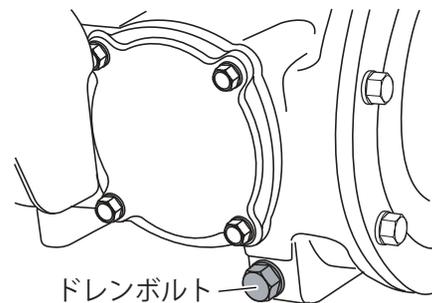
取扱上の注意

- オイルを交換するときは、必ず容器に受けてから行ってください。地面へのたれ流しや川への廃棄は行わないでください。
環境汚染につながります。

■ ギヤーケース

型式	使用オイル	オイル量
KRV	ギヤーオイル #90	3.5L
KRZ	(STD)	ギヤーオイル #90
	(J)	ギヤーオイル #140

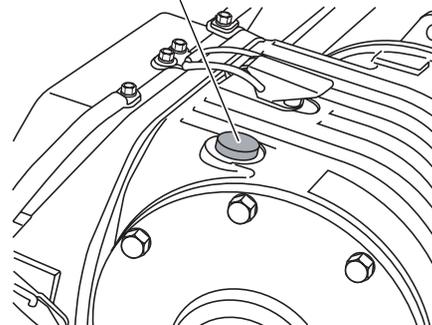
- 1** ドレンボルトを外して古くなったオイルを抜きます。
- 2** 古くなったオイルを抜いたら、ドレンボルトを取付けます。



ドレンボルト
KRZ には前後にドレンボルトがあります。

- 3** ギヤーオイルを給油口から規定量入れます。

オイルゲージ (給油口)



- 4** 周囲からオイル漏れがないか確認します。
(オイルシール、パッキンなど)

■ チェンケース

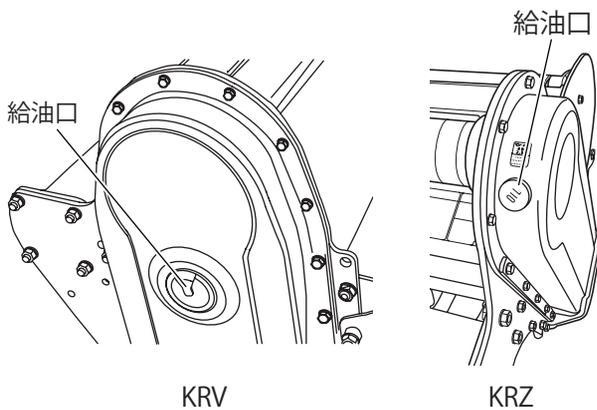
型式	使用オイル	オイル量
KRV	ギヤーオイル #90	4.0L
KRZ	(STD)	ギヤーオイル #90
	(J)	ギヤーオイル #140

- 1 チェンケースシューズを外し、ドレンボルトを外してオイルを抜きます。



- 2 オイルを抜いたら、ドレンボルトとチェンケースシューズを取付けます。

- 3 ギヤーオイルを給油口から規定量入れます。

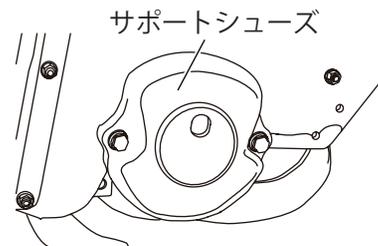


- 4 周囲からオイル漏れがないか確認します。(オイルシール、パッキンなど)

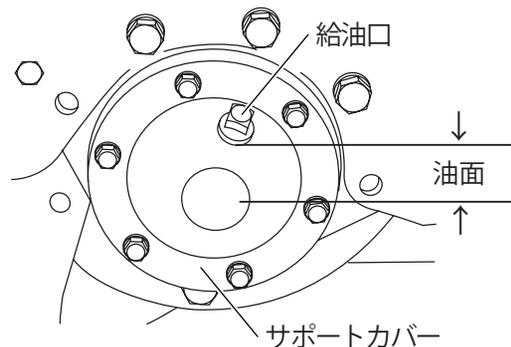
■ サポートハウジング

型式	使用オイル	オイル量
KRV、KRZ	ギヤーオイル #90	0.1L

- 1 サポートシューズを外し、サポートカバーを外してオイルを抜きます。



- 2 オイルを抜いたら、サポートカバーを取付け、ギヤーオイルを給油口から規定量入れます。



- 3 プラグのネジ部にシールテープを巻きつけ、プラグを検油口に再取付けします。

- 4 給油が終わったらサポートシューズを取付けます。

- 5 周囲からオイル漏れがないか確認します。(オイルシール、パッキンなど)

グリスアップ・塗布

取扱上の注意

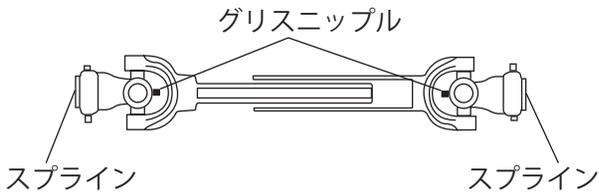
- グリスは、エピノックグリス AP(N)2 (JX 日鉱日石エネルギー(株) または同等品 (リチウムグリス) を使用してください。

■ ジョイント

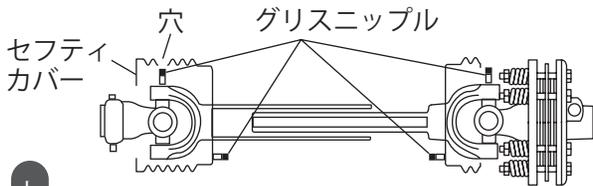
< 毎作業前 >

- 1 ジョイントの各部 (グリスニップル、スプライン) にグリスアップします。

2L用(CV・SV仕様以外)



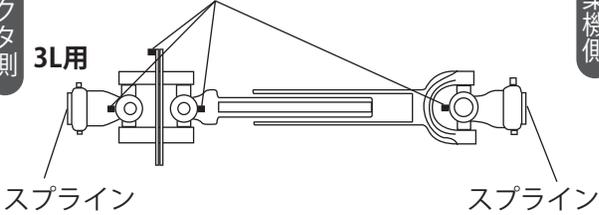
2L用(CV・SV仕様のみ)



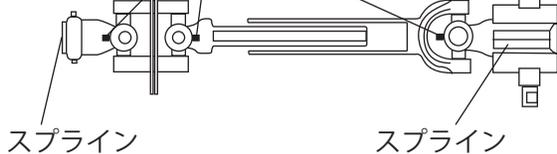
トラクタ側

作業機側

3L用



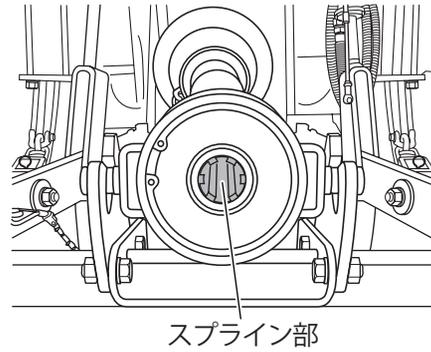
4L用



- 2 4セットジョイントの場合、スプライン部を掃除しグリスを塗布します。

取扱上の注意

- スプライン部がサビたり傷ついたりすると、装着できなくなります。ゴミがかからないようにしてください。



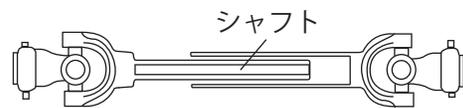
< 毎作業後 >

- 1 ノックピンへ注油します。



- 2 ジョイントのシャフト摺動部にグリスを塗布します。

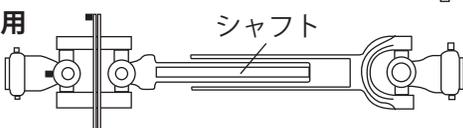
2L用(CV・SV仕様以外)



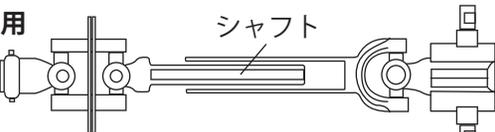
2L用(CV・SV仕様のみ)



3L用



4L用



トラクタ側

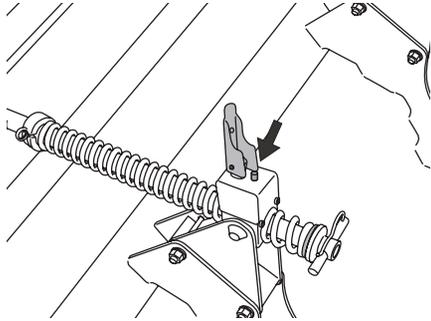
作業機側

使いかた

保守・点検

■ エプロンハネアゲロックレバー

- 1 エプロンハネアゲロックレバーへグリスを塗布します。

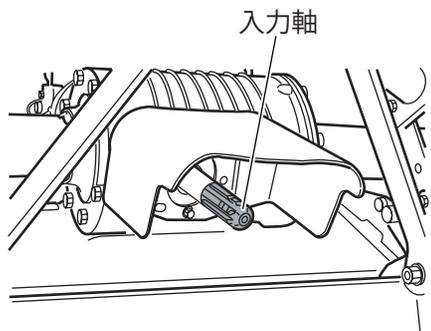


■ 入力軸

- 1 トラクタのPTO 軸と作業機の入力軸にグリスを塗布します。

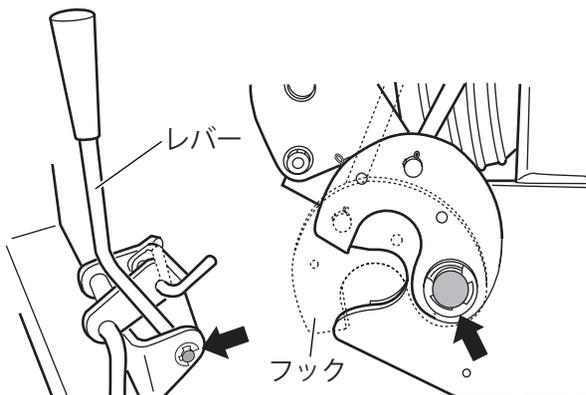
取扱上の注意

- ・ 格納する場合は、保護カバーをかぶせてサビないようにしてください。
次回トラクタに装着の際は、保護カバーを取外してから使用してください。



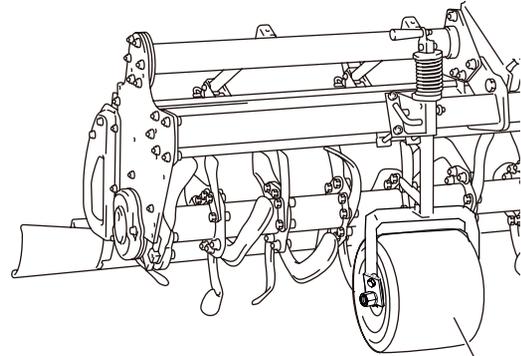
■ オートヒッチアームのレバー、フック

- 1 オートヒッチアームのレバーとフックの支点部分にオイルを適量塗布します。



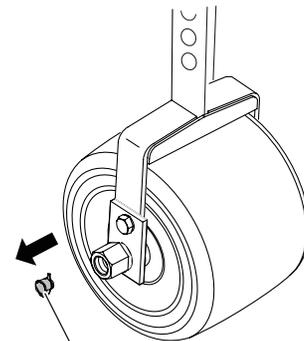
■ ホイルゲージ (KRZ の場合)

ホイルゲージのグリスニップル (ホイル1個あたり左右2か所) からグリスアップをします。



ホイルゲージ

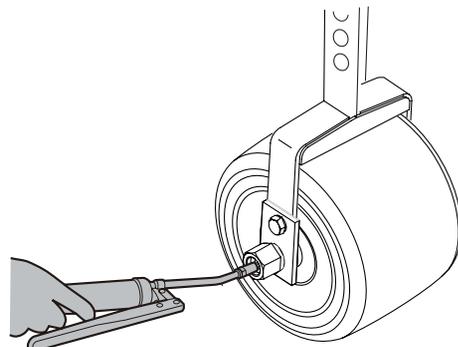
- 1 グリスニップルキャップを取外します。



グリスニップルキャップ

- 2 グリスニップルに付着している土を取り除きます。

- 3 新しいグリスが出てくるまで、グリスニップルからグリスを注入します。



作業機の水洗い

作業後には、作業機を水洗いし、ゴミや汚れを取除きます。水洗いが終了後、水分を拭き取ってください。高圧洗車機を使って水洗いする場合は、十分注意してください。

高圧洗車機の使用方法を誤ると、人をケガさせたり、作業機を破損・損傷・故障させたりすることがあります。高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って、正しく使用してください。

⚠ 注意



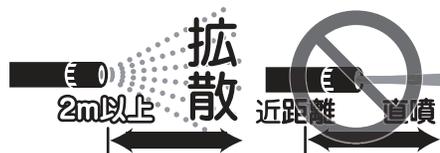
必ず実行

高圧洗車機で水洗いする場合

作業機を損傷させないように洗車ノズルは拡散にし、2m以上離して洗車してください。

(例：シール・ラベルの剥がれ、樹脂類（カバーなど）の破損、塗装・メッキ皮膜の剥がれ)

* 直射や不適切に近距離から洗車すると作業機の破損・損傷・故障や事故つながる恐れがあります。



耕うん爪、爪ホルダの点検

「耕うん爪の取付け」(→ p.42)に従って、以下のことを確認してください。

- ・ 耕うん爪が摩耗していないか。
- ・ 爪ホルダが摩耗、折損していないか。

異常が見つかった場合、新しいものと交換してください。

無塗装部へのサビ止め

無塗装部へのサビ止めを行ってください。

警告表示ラベルの点検

「警告表示ラベルの種類と位置」(→ p.10)に従って、警告表示ラベルを点検してください。

- ・ 警告表示ラベルが損傷したり破損していないか。
- ・ 警告表示ラベルが汚れていないか。
- ・ 警告表示ラベルが剥がれていないか。

異常が見つかった場合、新しいものと交換してください。

消耗品の早期交換

「消耗品一覧表」(→ p.66)に記載の消耗品を点検してください。

必要に応じて、新しいものと交換してください。早期の交換をお勧めします。

フローティングシールの組替え KRV (STD, KW, S, CV, SV, A 仕様のみ)

フローティングシールの組替えは、必ず別売のメンテナンスキット(部品コード:D020007)を用いて行ってください。

フローティングシールは、一對の対称形状のシールリング(鋳鉄製)とパッキン(ゴム製)から構成されています。

左右は全く同じ形状であり、どちらに使用しても問題ありません。

お知らせ

- ・ シールリングとパッキン、各2個で1セットです。

使
い
か
た

保
守
・
点
検

■ 組込み前の点検

⚠ 注意	
 禁止	取扱中に誤ってシールリングに打痕が付いた可能性のあるフローティングシールは使用しないでください。 * オイル漏れが発生する恐れがあります。 
 必ず実行	フローティングシールの点検は、組立て作業の直前に行ってください。 * オイル漏れが発生する恐れがあります。
 必ず実行	フローティングシールを取扱うときは軍手などを使用せず、きれいに洗った乾いた素手または薄いゴム手袋で行ってください。 * オイル漏れが発生する恐れがあります。
 必ず実行	保守などでフローティングシールを分解した場合は、必ず新品に交換してください。 * オイル漏れが発生する恐れがあります。

1 シール組込工具の点検を行います。

- シール組込工具に鉄粉、土砂、塗料などの異物が付着していないことを確認します。異物が付着している場合は、圧縮空気でするか、きれいなウエスで拭き取ってください。

2 シール組込溝（チェンケースプレート、耕うんフランジシャフトL）の点検を行います。

- シール組込溝にバリやカエリ、ゴミがないことを確認してください。バリやカエリがある場合は、シールを破損させる原因になります。サンドペーパーなどで軽くこすって除去してください。

3 フローティングシールの点検を行います。

- フローティングシールに傷や欠けがないことを確認してください。万一、傷や欠けがある場合は、使用しないでください。
- 摺動面にサビが発生していないことを確認してください。サビが発生しているフローティングシールは使用しないでください。

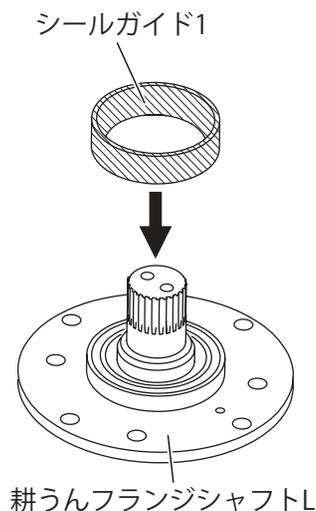
■ 耕うんフランジシャフトLへの組込み

⚠ 注意	
 必ず実行	潤滑剤はギヤオイル #90 を使用してください。（グリース不可） * オイル漏れが発生する恐れがあります。
 注意	潤滑剤塗布後は異物が付着しないように注意してください。 * オイル漏れが発生する恐れがあります。

お知らせ

- シールガイド1・2、押込み金具は、別売のメンテナンスキット（部品コード：D020007）の同梱品です。

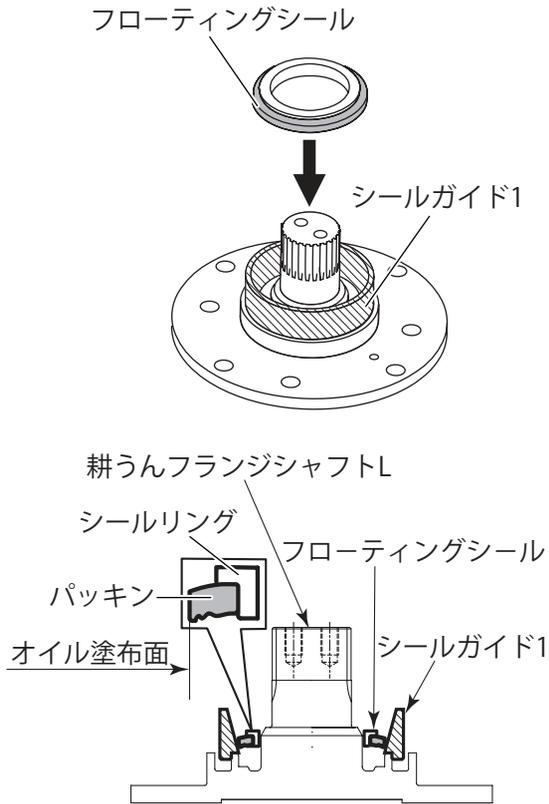
1 耕うんフランジシャフトLにシールガイド1をセットします。



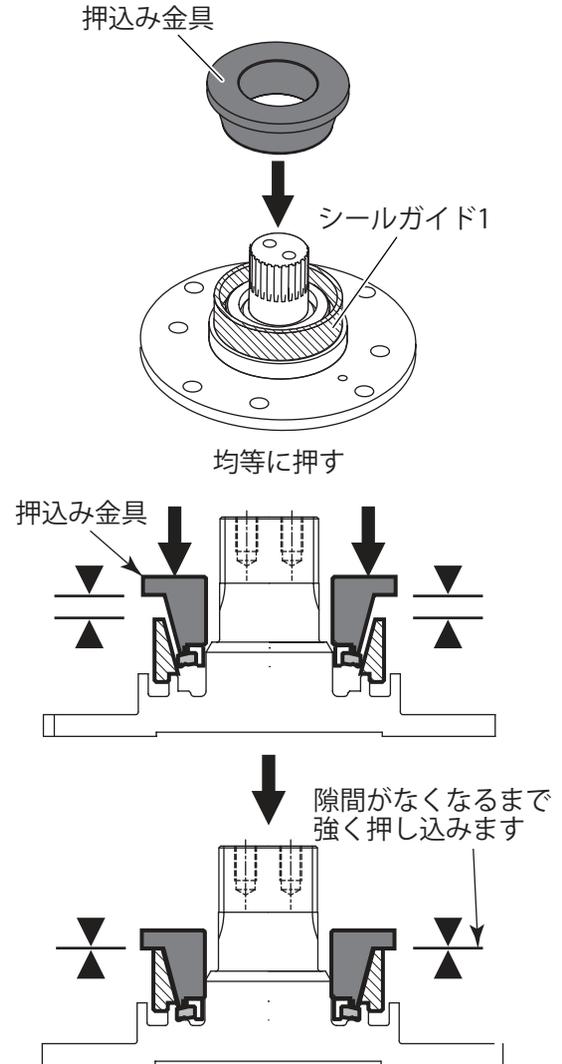
- 2** 挿入性を高めるため、フローティングシールの外周面に薄くオイル (#90) を塗布し、シールガイド 1 にセットします。

取扱上の注意

- このときフローティングシールに大きな傾きがないように注意してください。



- 3** 押込み金具をシールに当て、そのままシールガイド 1 に当たるまで手で強く押し込みます。



- 4** 押込み金具とシールガイド 1 を取外し、フローティングシールに捻れや浮き上がりがないことを確認します。

■ チェンケースプレートへの組み込み

⚠ 注意



潤滑剤はギヤードイル #90 を使用してください。(グリース不可)

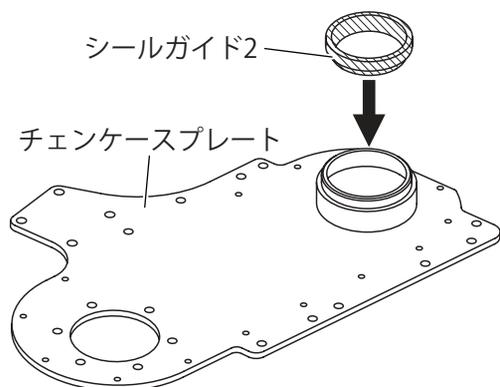
必ず実行 * オイル漏れが発生する恐れがあります。



潤滑剤塗布後は異物が付着しないように注意してください。

注意 * オイル漏れが発生する恐れがあります。

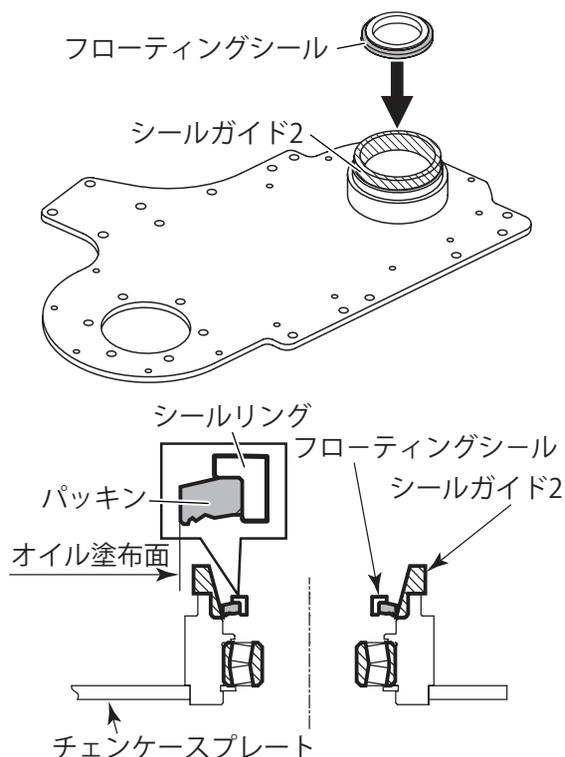
- 1 チェンケースプレートにシールドガイド2をセットします。



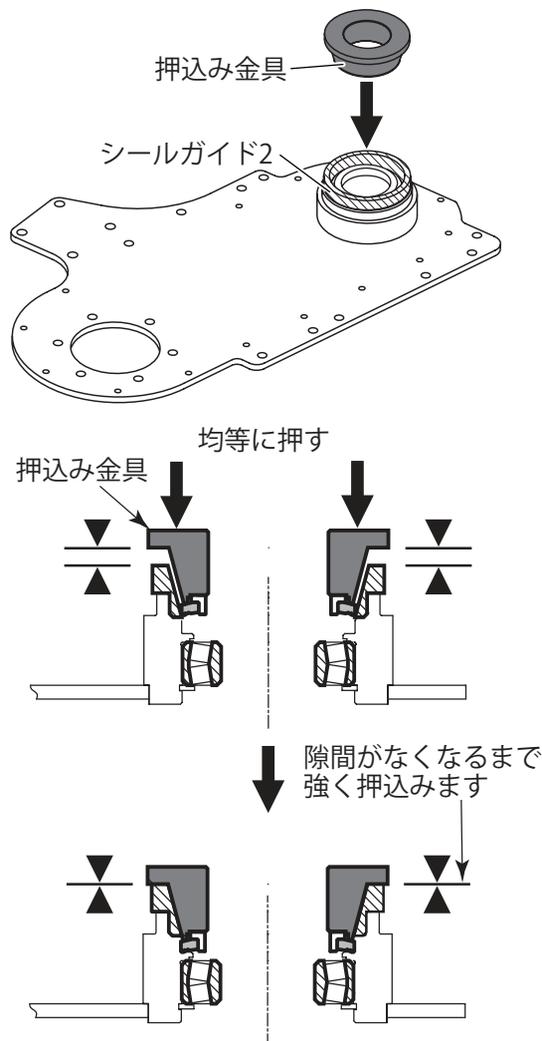
- 2 挿入性を高めるため、フローティングシールの外周面に薄くオイル (#90) を塗布し、シールドガイド2にセットします。

取扱上の注意

- このときフローティングシールに大きな傾きがないように注意してください。



- 3 押し込み金具をシールに当て、そのままシールドガイド2に当たるまで手で強く押し込みます。



- 4 押し込み金具とシールドガイド2を取外し、フローティングシールに捻れや浮き上がりがないことを確認します。摺動面にサビが発生していないか確認を行ってください。

取扱上の注意

- サビが発生しているフローティングシールは使用しないでください。

■ 耕うんフランジシャフトLとチェーンケースプレートの組込み

- 1 チェーンケースプレートと、耕うんフランジシャフトLに組込んだフローティング摺動面とシャフトに、ギヤオイル（#90）を薄く塗布します。

取扱上の注意

- ・フローティングシールに細かいゴミが付着しないように注意してください。

- 2 チェーンケースプレートを下にして平坦な台に置きます。
- 3 フローティングシール同士が向き合うように上から耕うんフランジシャフトLをハンドプレスなどで組付けます。（下図）

⚠ 注意



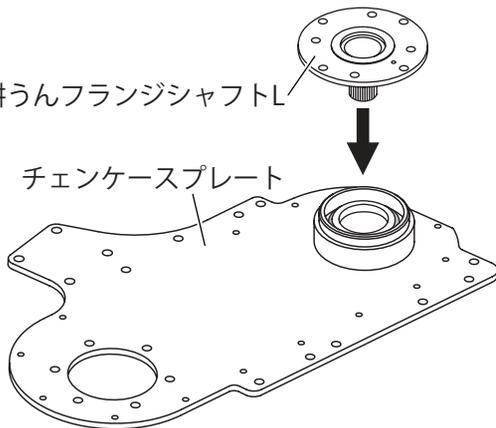
ハンマーなどで叩き込まないでください。

* フローティングシールが損傷し、オイル漏れが発生する恐れがあります。



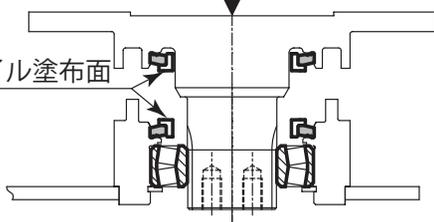
耕うんフランジシャフトL

チェーンケースプレート



ハンドプレスで均等に押し込んでください

オイル塗布面



■ 交換後の注意事項

以下のことを行ってください。

- ・チェーンケースにオイルを入れた後、耕うん軸を数回手回しさせてください。
（手回しすることで、フローティングシールにオイルが行き渡り、潤滑を助ける効果があります）
- ・このときトルクが異常に高くなっていないことを確認してください。

オイルシールの組替え

整備などの目的でチェーンケースなどを分解する場合は、必ず新しいオイルシール、パッキン、液状ガスケットと交換してください。

新しいオイルシール、パッキン、液状ガスケットに交換しないと、オイル漏れの原因になります。

液状ガスケットは、スリーボンド 1208 相当品を使用してください。

フローティングシールの保守

フローティングシールの固着を防ぐため、使用しない時期でも1か月に1回程度の割合で、耕うん軸を手でゆっくり回して、シール面にオイルを馴染ませてください。

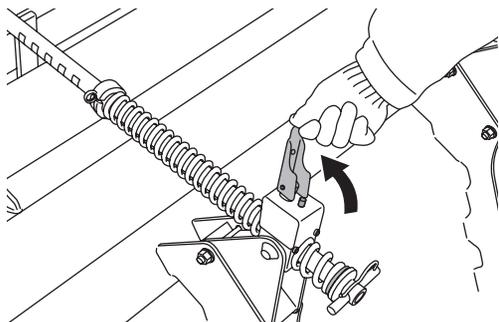
使いかた

保守・点検

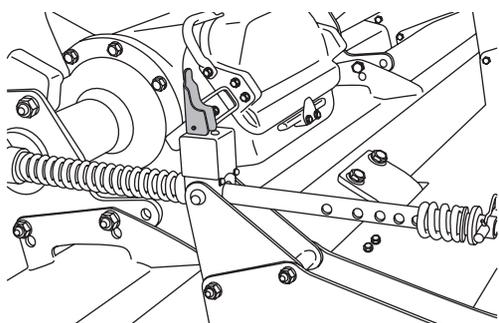
エプロンのはね上げ

爪交換など保守・点検作業のときに、エプロンをはね上げ自動ロックすることができます。

- 1 ワンタッチホルダを最上位置まで上げ、4か所のエプロンハネアゲロックレバーを起こします。



- 2 エプロンを持ち上げます。
⇒ ハネアゲロックピンで自動ロックされます。



取扱上の注意

- ・ オート金具が装着されている場合は、リンクされている部品を取外してください。

- 3 エプロンを下ろすときは、2か所のエプロンハネアゲロックレバーを倒します。

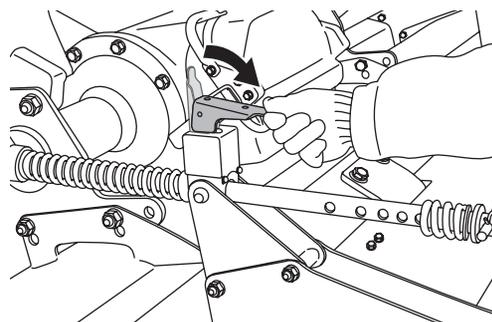
⚠ 注意



必ず実行

エプロンハネアゲロックレバーの操作は、図のようにレバーを持って指を挟まないようにしてください。

* ケガにつながる恐れがあります。



- 4 エプロンをしっかり支えながら、「カチッ」と音がするまでエプロンを持ち上げ、ゆっくりと下ろします。

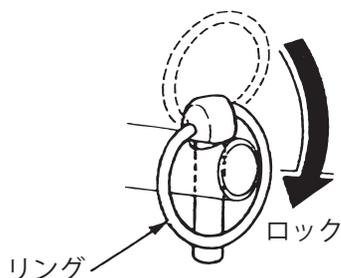
取扱上の注意

- ・ はね上げロック装置を用いて、エプロンをはね上げた状態で、耕うん作業、路上走行を行わないでください。
作業機が破損する恐れがあります。

各部のボルト・ナットの点検

以下のことを確認してください。

- 各部のボルト・ナット類に緩みはないか。増し締めしながら点検してください。(特に、耕うん爪取付けボルト、マスト取付けボルトは緩みやすいため、点検が必要です。)
- ピン類が全てそろっているか。
- リンチピンのリングが確実にロックされているか。



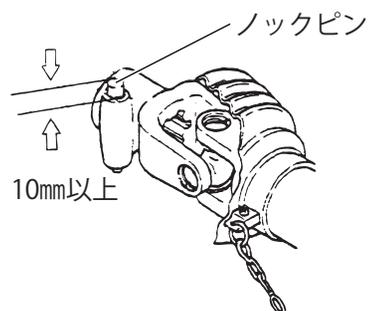
空転による動作確認

空転させ、各部から異音、異常振動など異常が発生していないことを確認してください。

ジョイントのノックピンの点検

トラクタ側と作業機側のノックピンについて、以下のことを確認してください。

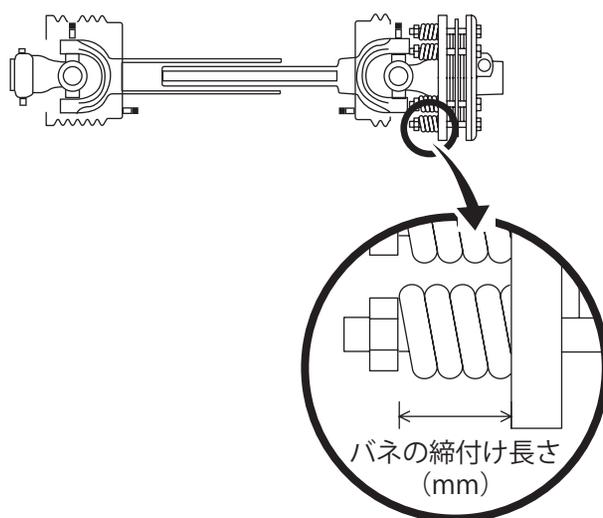
- ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ピンの頭が **10mm 以上** 出ているか。



■ スリップクラッチ付ジョイント (B895SA) の調整

出荷時は 2200N・m でセットしています。使用中にクラッチ板の摩耗で設定トルクが下がるので、バネの締付け長さを確認し、調整してください。また、出荷時とバネの締付け長さを変えらることによって伝達トルクの設定を変更することができます。

バネの締付け長さ (mm)	30.0	29.7	29.5
伝達トルク (N・m)	1800	2200	2400



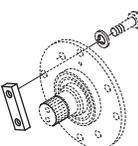
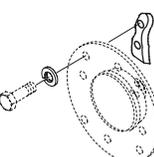
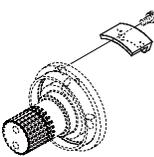
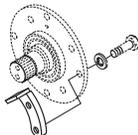
使いかた

保守・点検

消耗品一覽

消耗部品は早めの交換をお勧めします。

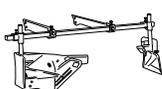
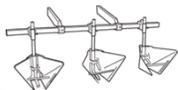
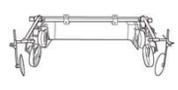
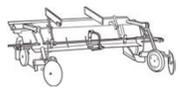
当社では、お客様にご迷惑が掛からないよう消耗部品を用意しておりますが、シーズンによっては特定の部品が品薄になる場合がございます。シーズン到来前の準備として、消耗部品の事前確認をしていただき、早めの交換をお勧めします。1台分の個数の記入のないものは「耕うん爪の取付け」(→ p.42 ~ 51) を参照してください。

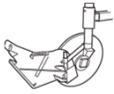
	部品名	チェーンケースシューズキット B	部品コード	5630650	1台分個数	1
	備考	各型式共通 チェーンケースシューズと取付けボルトのセット				
	部品名	サポートシューズキット	部品コード	5630651	1台分個数	1
	備考	各型式共通 サポートシューズと取付けボルトのセット				
	部品名	クミボルト ASSY M16 × 39	セットコード	0050057		
	備考	耕うん軸中央部の耕うん爪取付け用				
	部品名	ツメボルト	セットコード	M16 × 45	0050046	
				M16 × 50	0050042	
				M16 × 55	6570092	
				M16 × 60	0050050	
	備考	フィードカッタ R、スペーサ A、セットナット M16 は端爪取付け用				
	部品名	セットナット M16	部品コード	6560064		
	備考	耕うん軸端爪、コーウンフランジシャフト取付け用				
	部品名	フィードカッタ R	部品コード	5610404 (KRV 用)		
				5630666 (KRZ 用)		
備考	耕うん軸右端フランジに取付け用 (草ワラ巻付き防止)					
	部品名	フィードカッタ	部品コード	6160060		
	備考	耕うん軸フランジに取付け用 (草ワラ巻付き防止)				
	部品名	スペーサ A	部品コード	2450020		
	備考	耕うん軸左端フランジに取付け用 (草ワラ巻付き防止)				

	部品名	ハイパーゼットツメ HS2995ZR				単品コード	50591		
		ハイパーゼットツメ HS2995ZL					50592		
	耕幅	220	240	260	280	300			
	1台分個数	RL各22	RL各24	RL各26	RL各28	RL各30			
	爪セットコード	7688S	7689S	7690S	7691S	7692S			
備考	STD仕様								
	部品名	ハイパーゼットツメ HS2596ZR				単品コード	50931		
		ハイパーゼットツメ HS2596ZL					50932		
	耕幅	240A	260A	280A					
	1台分個数	RL各24	RL各26	RL各28					
	爪セットコード	7662S	4223S	4005S					
備考	A仕様								
	部品名	Sゼットツメ SE3012ZR				単品コード	68251		
		Sゼットツメ SE3012ZL					68252		
	耕幅	200S	220S						
	1台分個数	RL各20	RL各22						
	爪セットコード	4262S	4264S						
備考	S仕様								
	部品名	Lツメ C29130R				単品コード	47161		
		Lツメ C29130L					47162		
	耕幅	200CV	220CV						
	1台分個数	RL各24	RL各27						
	爪セットコード	5486S	7802S						
備考	CV仕様								
	部品名	Sツメ S30130R				単品コード	47171		
		Sツメ S30130L					47172		
	耕幅	200SV	220SV						
	1台分個数	RL各24	RL各27						
	爪セットコード	5616S	7774S						
備考	SV仕様								
	部品名	Sゼットツメ SE3012ZR				単品コード	68251		
		Sゼットツメ SE3012ZL					68252		
	耕幅	240J	260J	280J	300J	350J			
	1台分個数	RL各39	RL各42	RL各45	RL各48	RL各54			
	爪セットコード	4273S	4274S	4232S	4233S	4234S			
備考	J仕様								
	部品名	Sカイツェットツメ SK2412ZR				単品コード	67841		
		Sカイツェットツメ SK2412ZL					67842		
	耕幅	260HJ	280HJ	300HJ	260H	280H	300H		
	1台分個数	RL各42	RL各45	RL各48	RL各28	RL各30	RL各32		
	爪セットコード	4163S	4164S	4165S	4157S	4158S	4159S		
備考	HJ仕様, H仕様								
	部品名	ハイパーゼットツメ HS2395ZR				単品コード	50871		
		ハイパーゼットツメ HS2395ZL					50872		
	耕幅	280PJ	300PJ						
	1台分個数	RL各45	RL各48						
	爪セットコード	7684S	7685S						
備考	PJ仕様								
	部品名	ハイパーゼットツメ HS2660ZR				単品コード	67791		
		ハイパーゼットツメ HS2660ZL					67792		
	耕幅	240KW	260KW	300KW	350KW				
	1台分個数	RL各23	RL各25	RL各29	RL各34				
	備考	KW仕様 (ホルダタイプ) 中央爪							
	部品名	ハイパーゼットツメ HS2596ZR				単品コード	50931		
		ハイパーゼットツメ HS2596ZL					50932		
	耕幅	240KW	260KW	300KW	350KW				
	1台分個数	RL各2	RL各2	RL各2	RL各2				
	爪セットコード (2660と2596)	7557S	7558S	7560S	7562S				
備考	KW仕様 (フランジタイプ) 端爪								

アタッチメント一覧

アタッチメントを下記に示します。

用途	品名	コード No.	型式	規格 (単位)	適応耕幅
うね立て	うね立器 	4071472	R60D	1 畦	KRV, KRZ
	【仕様】	底幅 18 × 表幅 60 × 深さ 30 cm リヤーヒッチ RH-KR2 が必要 (別売)			
	片培土器 	4073037	KR20-C-1	左右セット	KRV200
	【仕様】	適応作業幅 (200 cm に限る) 注) 2L にはボルト M16 × 70 (9011969) 2 本、U ナット M16 (9290078) 2 個必要			
		4073038	KR24-C-1	左右セット	KRV220, 240, KRZ240
	【仕様】	注) 2L にはボルト M16 × 70 (9011969) 2 本、U ナット M16 (9290078) 2 個必要			
		4073045	KR-CR-1	右側	KRV200, 220, 240, KRZ240
【仕様】	底幅 12 × 表幅 30 × 深さ 25 cm 注) 2L にはボルト M16 × 70 (9011969) 2 本、U ナット M16 (9290078) 2 個必要				
3 連リッジャ 	4073039	R4-C3-1	3 畦	KRV200, 220, 240, KRZ240	
	【仕様】	底幅 12 × 表幅 42 × 深さ 25 cm 注) 2L にはボルト M16 × 70 (9011969) 2 本、U ナット M16 (9290078) 2 個必要			
取付けヒッチ 	リヤーヒッチ	4073034	RH-KR2	60 角 × 207	KRV, KRZ
	【仕様】	ハンドル式高さ調整リヤーヒッチ 注 1) KRZ は取付ける際に、エンジョウプレートキット RH-EP (4073054) が必要 注 2) 2L にはボルト M16 × 70 (9011969) 6 本、U ナット M16 (9290078) 6 個必要			
マルチ 	平畦マルチ	4072849	RML18X		KRV200, 220, 240, KRZ240
	【仕様】	畦幅 70 ~ 150 cm / 畦高さ 5 ~ 10 cm リヤーヒッチ RH-KR2 が必要 (別売)			
		4071242	RML18C		KRV200, 220, 240, KRZ240
	【仕様】	畦幅 70 ~ 150 cm / 畦高さ 5 ~ 10 cm 専用取付け金具付 (リヤーヒッチ不要) 注) 2L には取付け不可			
	平高マルチ 	4071168	PHMV19C		KRV, KRZ
	【仕様】	畦幅 70 ~ 175 cm / 畦高さ 25 cm エプロン跳ね上げ状態で作業します。 注) 2L には取付け不可			
	4071169	PHMV22C		KRV220, 240, 260, 280, KRZ240, 260, 280	
【仕様】	畦幅 70 ~ 205 cm / 畦高さ 25 cm エプロン跳ね上げ状態で作業します。 注) 2L には取付け不可				
あぜ際処理 	サイドディスク	4072943	SDK40KRV-L	左側	KRV
		4072944	SDK40KRV-R	右側	KRV
		4073056	SDK40KRZ-L	左側	KRZ
		4073057	SDK40KRZ-R	右側	KRZ

用途	品名	コード No.	型式	規格 (単位)	適応耕幅
あぜ 際 処 理	 サイドディスク S	4072942	SDK40S-KRV	右側	KRV
		4073062	SDK40S-KRZ	右側	KRZ
		【仕様】	サイドディスク S は整形器付		
カ ゴ ロ ー ラ 【注】 2L の み	ローラキット センター支持タイプ	4072950	CKR-RE25	ローラ幅 246 cm	KRV220
		4072951	CKR-RE27	ローラ幅 266 cm	KRV240
		4072952	CKR-RE29	ローラ幅 286 cm	KRV260
		4072953	CKR-RE31	ローラ幅 306 cm	KRV280, KRZ280
		4072954	CKR-RE33	ローラ幅 326 cm	KRV300, KRZ300
	シリンダキット	4072955	CKR-C3		KRV, KRZ
		【仕様】	油圧上下調整式／トラクタ外部油圧（複動） ※オスカプラ 1/2 を標準装備		
	ネジキット	4072571	CKR-N1		KRV, KRZ
	 トリツケカナグ キット	4072948	CKR-TK2		KRV, KRZ
		注・トリツケカナグキット（共通） ・ローラキット（幅の選択） ・シリンダキットまたはネジキット（油圧または手動の選択） 計3点のキットが必要です。ご用命の際は、3品ともご注文ください。			
	両端アームタイプ	4072956	DKR310RE	ローラ幅 306 cm	KRV280 (2L のみ)
4072957		DKR330RE	ローラ幅 326 cm	KRV300	
 油圧シリンダ 2本タイプ	4072961	EKR330RE	ローラ幅 326 cm	KRV300, KRZ300	
	4072962	EKR380RE	ローラ幅 376 cm	KRZ350	
	【仕様】	油圧上下調整式／トラクタ外部油圧（複動） 注）油圧接続カプラは付属していません。			
踏 圧 防 止	コールタ ASSY.L	D030049	PJV-L		KRV
		D040038	DJZ-L		KRZ
	コールタ ASSY.R	D030052	PJV-R		KRV
		D040039	DJZ-R		KRZ
	【仕様】	左右2本ずつのコールタをトラクタのタイヤ幅に合わせて取付け、タイヤ跡を膨軟にし、踏圧を防止します。 注）カゴローラとセットで使用します。			

注) アタッチメントは取付け金具などの関係上、ローター型式を指定の上ご注文ください。
油圧揚力3t未満のトラクタには装着できません。

使
い
か
た

ア
タ
ッ
チ
メ
ン
ト
一
覧

保管・格納

保管・格納するときは、作業機をきれいに清掃し、塗装できない箇所はサビ止めのためにグリスを塗ってください。
保管・格納場所は、雨や風があたらない、平らで硬い所を選んでください。

保管・格納の際は、以下のことを守ってください。

⚠ 注意

! ジョイントは、必ずチューブのオス側とメス側をいっぱいまで差し込んだ状態で保管してください。

必ず実行

* サビついて故障につながる恐れがあります。

! 格納後は、みだりに子供などが触れないような処置をしてください。

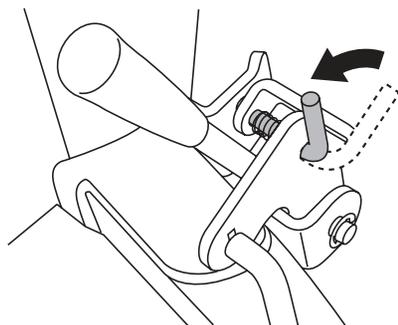
必ず実行

* ケガにつながる恐れがあります。

! オートヒッチを作業機に取付けて保管する場合は、レバーについているロックピンをオートヒッチアームのロックプレートの穴に挿入し、確実にロックしてください。

必ず実行

* 落下し、ケガにつながる恐れがあります。



主要諸元

ここでは各型式の主要諸元を紹介します。

型式		KRV220T (0L, 3L, 4L)	KRV240T (0L, 3L, 4L)	KRV260T (0L, 3L, 4L)	KRV280T (0L, 3L, 4L)	
機体寸法	全長 (mm)	1285, 1345, 1345				
	全幅 (mm)	2430	2630	2830	3030	
	全高 (mm)	1170, 1420, 1420				
機体質量 (kg)		651, 707, 714	687, 743, 750	716, 772, 779	745, 801, 808	
使用ジョイント		KGC80 (3L) , KGC79M (4L)				
適応トラクタ	(KW)	44.2 ~ 83.2	51.5 ~ 83.2	58.9 ~ 83.2	66.2 ~ 83.2	
	(PS)	60 ~ 113	70 ~ 113	80 ~ 113	90 ~ 113	
標準耕幅 (cm)		220	240	260	280	
標準耕深 (cm)		12 ~ 15				
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)		10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	
耕うん爪	本数	HS2995ZL	22	24	26	28
		HS2995ZR	22	24	26	28
	回転外径 (cm)	55				
取付け方法		フランジタイプ				
駆動方法		サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)		540				
装着方法		標準 3 点リンクオートヒッチ (JIS 規格 L) JIS II 型				
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)				

型式		KRV240KWT (0L, 3L, 4L)	KRV260KWT (0L, 3L, 4L)	KRV300KWT (0L, 3L, 4L)	KRV350KWT (0L, 3L, 4L)	
機体寸法	全長 (mm)	1285, 1345, 1345				
	全幅 (mm)	2630	2830	3230	3730	
	全高 (mm)	1155, 1405, 1405				
機体質量 (kg)		643, 699, 706	668, 724, 731	724, 780, 787	780, 836, 843	
使用ジョイント		KGC80 (3L) , KGC79M (4L)				
適応トラクタ	(KW)	51.5 ~ 84.6	58.9 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6	
	(PS)	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115	90 ~ 115	
標準耕幅 (cm)		240	260	300	350	
標準耕深 (cm)		12 ~ 15				
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)		9 ~ 17	8 ~ 16	7 ~ 14	6 ~ 12	
耕うん爪	本数 (左・右)	HS2660Z	23・23	25・25	29・29	34・34
		HS2596Z	2・2	2・2	2・2	2・2
	回転外径 (cm)	52				
取付け方法		ホルダタイプ				
駆動方法		サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)		540				
装着方法		標準 3 点リンクオートヒッチ (JIS 規格 L) JIS II 型				
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)				

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

使いかた／必要に応じて

保管・格納／主要諸元

型式		KRV240AT (0L, 3L, 4L)	KRV260AT (0L, 3L, 4L)	KRV280AT (0L, 3L, 4L)
機体寸法	全長 (mm)	1285, 1345, 1345		
	全幅 (mm)	2630	2830	3030
	全高 (mm)	1150, 1400, 1400		
機体質量 (kg)		673, 729, 736	701, 757, 764	729, 785, 792
使用ジョイント		KGC80 (3L) , KGC79M (4L)		
適応トラクタ	(KW)	51.5 ~ 83.2	58.9 ~ 83.2	66.2 ~ 83.2
	(PS)	70 ~ 113	80 ~ 113	90 ~ 113
標準耕幅 (cm)		240	260	280
標準耕深 (cm)		11 ~ 14		
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 5.0		
耕うん作業能率 (分/10a)		7 ~ 17	7 ~ 16	6 ~ 15
耕うん爪	本数	HS2596ZL	24	28
		HS2596ZR	24	28
	回転外径 (cm)	51		
	取付け方法	フランジタイプ		
駆動方法		サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)		540		
装着方法		標準 3 点リンクオートヒッチ (JIS 規格 L) JIS II 型		
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)		

型式		KRV240A (2L)	KRV260A (2L)	KRV280A (2L)
機体寸法	全長 (mm)	1330		
	全幅 (mm)	2630	2830	3030
	全高 (mm)	1250		
機体質量 (kg)		745	772	801
使用ジョイント		KG87		
適応トラクタ	(KW)	51.5 ~ 83.2	58.9 ~ 83.2	66.2 ~ 83.2
	(PS)	70 ~ 113	80 ~ 113	90 ~ 113
標準耕幅 (cm)		240	260	280
標準耕深 (cm)		10 ~ 13		
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 5.0		
耕うん作業能率 (分/10a)		7 ~ 17	7 ~ 16	6 ~ 15
耕うん爪	本数	HS2596ZL	24	28
		HS2596ZR	24	28
	回転外径 (cm)	51		
	取付け方法	フランジタイプ		
駆動方法		サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)		540		
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型		
耕深調節		前ゲージ輪		

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

型式		KRV220 (2L)	KRV240 (2L)	KRV260 (2L)	KRV280 (2L)	
機体寸法	全長 (mm)	1330				
	全幅 (mm)	2430	2630	2830	3030	
	全高 (mm)	1270				
機体質量 (kg)		723	759	788	817	
使用ジョイント		KG87				
適応トラクタ	(KW)	44.2 ~ 83.2	51.5 ~ 83.2	58.9 ~ 83.2	66.2 ~ 83.2	
	(PS)	60 ~ 113	70 ~ 113	80 ~ 113	90 ~ 113	
標準耕幅 (cm)		220	240	260	280	
標準耕深 (cm)		12 ~ 15				
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0				
耕うん作業能率 (分/10a)		10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	
耕うん爪	本数	HS2995ZL	22	24	26	28
		HS2995ZR	22	24	26	28
	回転外径 (cm)	55				
	取付け方法	フランジタイプ				
駆動方法		サイドドライブ				
入力軸回転速度 (rpm)		540				
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型				
耕深調節		前ゲージ輪				

型式		KRV260H (2L)	KRV280H (2L)	KRV300H (2L)	
機体寸法	全長 (mm)	1335			
	全幅 (mm)	2830	3030	3230	
	全高 (mm)	1240			
機体質量 (kg)		788	816	851	
使用ジョイント		KG87			
適応トラクタ	(KW)	51.5 ~ 88.3	58.9 ~ 88.3	66.2 ~ 88.3	
	(PS)	70 ~ 120	80 ~ 120	90 ~ 120	
標準耕幅 (cm)		260	280	300	
標準耕深 (cm)		10 ~ 13			
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 5.0			
耕うん作業能率 (分/10a)		7 ~ 16	6 ~ 15	6 ~ 14	
耕うん爪	本数	SK2412ZL	28	30	32
		SK2412ZR	28	30	32
	回転外径 (cm)	49			
	取付け方法	フランジタイプ			
駆動方法		サイドドライブ			
入力軸回転速度 (rpm)		540			
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型			
耕深調節		前ゲージ輪			

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

必要に応じて

主要諸元

型式		KRV260HJ (2L)	KRV280HJ (2L)	KRV300HJ (2L)
機体寸法	全長 (mm)	1335		
	全幅 (mm)	2830	3030	3230
	全高 (mm)	1250		
機体質量 (kg)		839	870	909
使用ジョイント		KG87		
適応トラクタ	(KW)	51.5 ~ 88.3	58.9 ~ 88.3	66.2 ~ 88.3
	(PS)	70 ~ 120	80 ~ 120	90 ~ 120
標準耕幅 (cm)		260	280	300
標準耕深 (cm)		11 ~ 14		
標準作業速度 (km/h)		3.0 ~ 5.0		
耕うん作業能率 (分/10a)		7 ~ 11	6 ~ 10	6 ~ 9
耕うん爪	本数	SK2412ZL	42	48
		SK2412ZR	42	48
	回転外径 (cm)	51		
	取付け方法	フランジタイプ		
駆動方法		サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)		540		
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型		
耕深調節		前ゲージ輪		

型式		KRV240J (2L)	KRV260J (2L)	KRV280J (2L)
機体寸法	全長 (mm)	1335		
	全幅 (mm)	2630	2830	3030
	全高 (mm)	1265		
機体質量 (kg)		818	851	883
使用ジョイント		KG87		
適応トラクタ	(KW)	51.5 ~ 88.3	51.5 ~ 88.3	58.9 ~ 88.3
	(PS)	70 ~ 120	70 ~ 120	80 ~ 120
標準耕幅 (cm)		240	260	280
標準耕深 (cm)		12 ~ 15		
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 5.0		
耕うん作業能率 (分/10a)		7 ~ 17	7 ~ 16	6 ~ 15
耕うん爪	本数	SE3012ZL	39	45
		SE3012ZR	39	45
	回転外径 (cm)	54		
	取付け方法	フランジタイプ		
駆動方法		サイドドライブ		
入力軸回転速度 (rpm)		540		
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型		
耕深調節		前ゲージ輪		

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

型式		KRV280PJ (2L)	KRV300PJ (2L)
機体寸法	全長 (mm)	1335	
	全幅 (mm)	3030	3230
	全高 (mm)	1225	
機体質量 (kg)		845	882
使用ジョイント		KG87	
適応トラクタ	(KW)	58.9 ~ 88.3	66.2 ~ 88.3
	(PS)	80 ~ 120	90 ~ 120
標準耕幅 (cm)		280	300
標準耕深 (cm)		9 ~ 12	
標準作業速度 (km/h)		5.0 ~ 10.0	
耕うん作業能率 (分/10a)		3 ~ 6	5 ~ 14
耕うん爪	本数	HS2395ZL	45
		HS2395ZR	45
	回転外径 (cm)	46	
	取付け方法	フランジタイプ	
駆動方法		サイドドライブ	
入力軸回転速度 (rpm)		540	
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型	
耕深調節		後方転圧輪 (オプション)	

型式		KRV200S (2L)	KRV220S (2L)
機体寸法	全長 (mm)	1330	
	全幅 (mm)	2230	2430
	全高 (mm)	1255	
機体質量 (kg)		691	718
使用ジョイント		KG87	
適応トラクタ	(KW)	44.2 ~ 73.6	51.5 ~ 73.6
	(PS)	60 ~ 100	70 ~ 100
標準耕幅 (cm)		200	220
標準耕深 (cm)		12 ~ 15	
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 3.0	
耕うん作業能率 (分/10a)		14 ~ 20	13 ~ 19
耕うん爪	本数	SE3012ZL	20
		SE3012ZR	20
	回転外径 (cm)	52	
	取付け方法	フランジタイプ	
駆動方法		サイドドライブ	
入力軸回転速度 (rpm)		540	
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型	
耕深調節		前ゲージ輪	

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

必要に応じて

主要諸元

型式		KRV200CV (2L)	KRV220CV (2L)
機体寸法	全長 (mm)	1330	
	全幅 (mm)	2230	2430
	全高 (mm)	1280	
機体質量 (kg)		714	748
使用ジョイント		B895SA	
適応トラクタ	(KW)	44.2 ~ 81.0	51.5 ~ 81.0
	(PS)	60 ~ 110	70 ~ 110
標準耕幅 (cm)		200	220
標準耕深 (cm)		12 ~ 16	
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 3.0	
耕うん作業能率 (分/10a)		14 ~ 20	13 ~ 19
耕うん爪	本数	C29130L	24
		C29130R	24
	回転外径 (cm)	57	
	取付け方法	フランジタイプ	
駆動方法		サイドドライブ	
入力軸回転速度 (rpm)		540	
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型	
耕深調節		前ゲージ輪	

型式		KRV200SV (2L)	KRV220SV (2L)
機体寸法	全長 (mm)	1330	
	全幅 (mm)	2230	2430
	全高 (mm)	1270	
機体質量 (kg)		706	739
使用ジョイント		B895SA	
適応トラクタ	(KW)	44.2 ~ 81.0	51.5 ~ 81.0
	(PS)	60 ~ 110	70 ~ 110
標準耕幅 (cm)		200	220
標準耕深 (cm)		12 ~ 16	
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 3.0	
耕うん作業能率 (分/10a)		14 ~ 20	13 ~ 19
耕うん爪	本数	S30130L	24
		S30130R	24
	回転外径 (cm)	56	
	取付け方法	フランジタイプ	
駆動方法		サイドドライブ	
入力軸回転速度 (rpm)		540	
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型	
耕深調節		前ゲージ輪	

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

型式		KRZ240T (0L, 3L, 4L)	KRZ260T (0L, 3L, 4L)	KRZ280T (0L, 3L, 4L)	
機体寸法	全長 (mm)	1280, 1325, 1325			
	全幅 (mm)	2630	2830	3030	
	全高 (mm)	1215, 1455, 1455			
機体質量 (kg)		763, 819, 826	798, 854, 861	833, 889, 896	
使用ジョイント		-, KGC80, KGC79M			
適応トラクタ	(KW)	66.2 ~ 99.3		69.9 ~ 99.3	
	(PS)	90 ~ 135		95 ~ 135	
標準耕幅 (cm)		240	260	280	
標準耕深 (cm)		12 ~ 15			
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0			
耕うん作業能率 (分/10a)		9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	
耕うん爪	本数	HS2995ZL	24	26	28
		HS2995ZR	24	26	28
	回転外径 (cm)	58			
	取付け方法	フランジタイプ			
駆動方法		サイドドライブ			
入力軸回転速度 (rpm)		1000			
装着方法		標準 3 点リンクオートヒッチ (日農工規格 L) JIS II 型			
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)			

型式		KRZ300 (2L)	
機体寸法	全長 (mm)	1310	
	全幅 (mm)	3230	
	全高 (mm)	1310	
機体質量 (kg)		968	
使用ジョイント		KG87	
適応トラクタ	(KW)	73.5 ~ 103.0	
	(PS)	100 ~ 140	
標準耕幅 (cm)		300	
標準耕深 (cm)		12 ~ 15	
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 4.0	
耕うん作業能率 (分/10a)		7 ~ 14	
耕うん爪	本数	HS2995ZL	30
		HS2995ZR	30
	回転外径 (cm)	58	
	取付け方法	フランジタイプ	
駆動方法		サイドドライブ	
入力軸回転速度 (rpm)		1000	
装着方法		標準 3 点リンク 2 点オートヒッチ JIS II 型	
耕深調節		前ゲージ輪	

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

必要に応じて

主要諸元

型式		KRZ280J (2L)	KRZ300J (2L)	KRZ350J (2L)	
機 体 寸 法	全長 (mm)	1310			
	全幅 (mm)	3030	3230	3730	
	全高 (mm)	1310			
機体質量 (kg)		1032	1064	1151	
使用ジョイント		KG87		KVD91	
適 応 ト ラ ク タ	(KW)	69.9 ~ 103.0	73.5 ~ 117.7		
	(PS)	95 ~ 140	100 ~ 160		
標準耕幅 (cm)		280	300	350	
標準耕深 (cm)		15 ~ 18			
標準作業速度 (km/h)		2.0 ~ 5.0			
耕うん作業能率 (分/10a)		6 ~ 15	6 ~ 14	5 ~ 12	
耕 う ん 爪	本数	SE3012ZL	45	48	54
		SE3012ZR	45	48	54
	回転外径 (cm)	57			
	取付け方法	フランジタイプ			
駆動方法		サイドドライブ			
入力軸回転速度 (rpm)		1000			
装着方法		標準3点リンクオートヒッチ (日農工規格L) JIS II型			
耕深調節		前ゲージ輪・オートロータリ (オプション)			

※ この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

トラクタ別装着表

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で使用してください。また、本作業機トラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が載っていない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意



必ず実行

装着表記載の寸法からトップリンク長など変更される場合は、作業機を上下させてジョイントの抜け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

* ケガ・破損につながる恐れがあります。



必ず実行

ジョイントの抜け・突きがある場合は、ジョイントの切断・交換などして作業してください。

* ケガ・破損につながる恐れがあります。



必ず実行

(T-3L・4L 仕様の場合)

トラクタの3点リンク規格が JIS I 形の場合、オートヒッチのロアリンクピンを JIS I 形のものに変更してください。

* ケガ・破損につながる恐れがあります。



必ず実行

(2L 仕様の場合)

トラクタの3点リンク規格が JIS I 形の場合、オートヒッチバーを JIS I 形、トップリンクを JIS II 形のものに変更してください。

* ケガ・破損につながる恐れがあります。



必ず実行

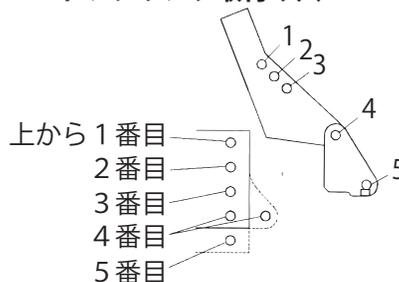
(2L 仕様の場合)

作業機持ち上げ時にジョイントガラ音(不等速音)が発生する場合は、PTOを切ってください。

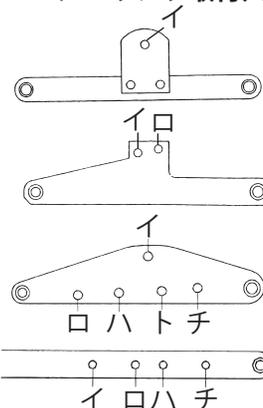
* ケガ・破損につながる恐れがあります。

T-3L・4L 仕様

トップリンク取付け穴

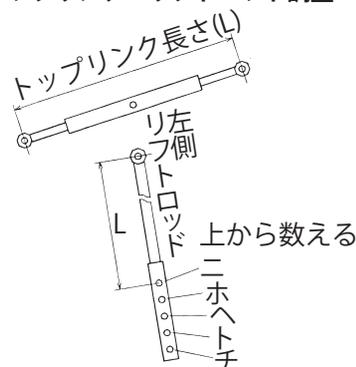


ロアリンク取付け穴

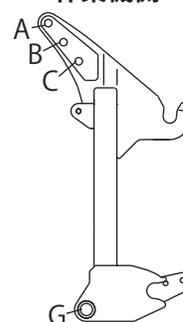


トラクタ側から数える

トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロアー リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
MZ605・655・705・755 MZ60・65・70・75	4	イ	へ	570	B	G		30	ロアピン内向き
MZ655PC・755PC MZ65PC・75PC	4	イ	へ	570	B	G		30	ロアピン内向き
MR77・87・97 SMZ805・875・955 SMZ76・85・95	4	イ	へ L=617	610	B	G			
MR77PC・87PC・97PC SMZ805PC・875PC・955PC SMZ76PC・85PC・95PC	4	イ	へ L=617	610	B	G			
M100G・110G・115G・ 125G・135G	3	□	ホ L=710	675	A	G	KGC84M に交換		
M110G-PC・125G-PC・ 135G-PC	3	□	ホ L=710	675	A	G	KGC84M に交換		
M90A・100A・110A・115A・ 125A・135A M85D・95D・105D・115D・ 125D M90・100・115・125 MD77・87・97・107・117 M1-85・100・115	2	□	L=615	695	A	G	KGC84M に交換		
M110A-PC・125A-PC・ 135A-PC M105D-PC・125D-PC M90-PC・100-PC・125-PC MD77-PC・87-PC・97-PC	2	□	L=615	695	A	G	KGC84M に交換		
M108W	3	□	L=575	660	A	G			
M72W	3	イ	L=480	630	A	G		30	
GM60・64・73	4	イ	へ	600	A	G		30	ロアピン内向き
GM64PC・73PC	4	イ	へ	575	A	G	20	30	ロアピン内向き
GM75D・82D・90D GM75・82・90	5	□	ニ	630	A	G			
GM90PC	5	□	ニ	630	A	G			
M6830	4	イ	L=540	600	A	G	30	30	
M8230・9030	3	□	L=600	610	A	G			
M6970・7970 M6950・7950	2	イ	L=600	650	A	G	KGC84M に交換		
M9570 M9550	2	イ	L=600	650	A	G	KGC84M に交換		
M10570	2	イ	L=630	730	A	G	KGC84M に交換		
M7530・8030	3	イ	L=610	650	A	G			
M ₁ -60S・65	3	イ	L=540	610	A	G		30	
M ₁ -75	3	□	L=615	670	A	G			
KG1000・1200	2	イ	ニ	660	B	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM GCR100・120

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切寸法 (mm)		備 考
	トップリンク 取付け穴	ローリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
KG65・75	3	イ	ホ	610	C	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM MKM65・75
KG85・100	3	イ	ニ	680	B	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM MKM85・100
KG120	3	イ	ニ	680	B	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM MKM120
MK60SK KM70	2	□	ニ L=725	600	C	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK60S
MK80SK・100SK KM90D・100D	2	□	ニ L=725	620	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK80S・100S
MK120SK KM120D	2	イ	ホ L=725	670	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK120S
MK60K	2	□	ホ L=725	600	C	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK60(96)
MK70K・80K・90K	2	□	ホ L=725	620	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK70(96)・80(96)・ 90(96)
MK100K(96)・110K・120K(96)	2	イ	ホ L=725	670	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM K100(96)・120(96)
MK100K・120K	2	□	ニ L=675	680	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK100(94)・120(94)
EG660 EF660 US601 JD1620	5	イ	へ	600	C	G			
EG65 EG665 EF665 JD1630	5	イ	へ	630	C	G			
EG65C	5	イ	ホ	550	C	G			
EG76・83 EG765・775・782	4	□	へ	610	A	G			
EG97・105 EF880・890・895 AF865・875・880・890	3	イ	ニ	630	A	G			
EG97C・105C	3	イ	ニ	630	A	G			
CT652 CT651	4	□	へ	540	A	G			
CT1010 CT801・1001	3	□	ホ	590	A	G			
AF660	4	イ	へ	560	A	G	50	50	ジョイント異音時 PTO切
AF660A	4	イ	へ	570	A	G			青森仕様
AF665	4	イ	へ	590	A	G			
AF620・720	2	イ	L=570	590	A	G			
PF82・92	3	□	へ	600	A	G	40	50	

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備 考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
F605	4	イ	へ	715	A	G			キャビン仕様は 要上昇規制
F705・805・905	2	□	へ L=690	600	A	G	40	40	芝浦 OEM V70・80・90
F60・70	2	□	L=530	620	A	G	40	50	ジョイント異音時 PTO 切
F80・97	2	□	L=600	655	A	G			
CT600	5	□	へ	600	C	G			トップリンク ブラケット付 キャビン仕様は 要上昇規制
CT650・750	3	□	ホ	590	A	G			
CT850・950・1050 CT800・900・1000	3	□	ホ	590	A	G			
CT65・75	3	イ	二 L=640	560	B	G			
CT80(A)・85・95(A)	3	イ	二 L=640	595	A	G			
CT120	3	イ	二 L=703	590	A	G	20	30	
CT65H・75H	3	イ	ホ	520	A	G			井関農機 OEM TJ65C・75C
CT85H	3	イ	ホ	540	A	G			井関農機 OEM TJ85C
TJV623・703・783 TJV63・68・75	3	□	ホ	550	A	G			TJV783/TJV75 は ZWX 仕様のみ
TJV623C・703C・783C TJV68C・75C	3	□	へ	550	A	G			
TJV783・883・983(ZLWX)	3	□	ホ	590	A	G			
TJV75・85・95(ZLWX)	3	□	ホ	600	A	G			
TJV783・883・983(GLWX)	4	□	へ	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	クイックヒッチ タイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御付
TJV75・85・95(GLWX)	4	□	へ	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	クイックヒッチ タイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御付
TJV883・983(GLWD)	4	□	L=570	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	クイックヒッチ タイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJV85・95(GLWD)	4	□	L=570	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	クイックヒッチ タイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
TJV883C・983C(ZLWX) TJV85C・95C(ZLWX)	3	□	へ	590	A	G			
TJV883C・983C(GLWX) TJV85C・95C(GLWX)	4	□	へ	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	クイックヒッチ タイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御付
TJV983C(GLWD)	4	□	L=570	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	クイックヒッチ タイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJX77・87・97(WX)	3	□	ホ	590	A	G			
TJX77・87・97(WX 以外)	4	□	L=570	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	クイックヒッチ タイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJW108・120 TJW107・117	3	□	ホ L=565	650	A	G			
TJW108C・120C TJW107C・117C	3	□	ホ L=565	660	A	G			
TJW95・105	3	□	ニ	650	A	G			
TJW95C・105C	3	□	ニ	660	A	G			
TJ65・75	3	イ	ホ	520	A	G			
TJ65C・75C	3	イ	ホ	520	A	G			
TJ85	3	イ	ホ	540	A	G			
TJ85C	3	イ	ホ	540	A	G			
TR633(メカ) TR63(メカ)	4	イ	ニ	590	A	G	30	50	
TR633(C)(マイコン) TR63(C)(マイコン)	2	イ	ニ	600	A	G	30	50	
T8115・8125 T7085・7095・7105	4	イ	L=690	640	A	G		30	MASSEY FERGUSON OEM MF6445・6455・6460
T8130D T7110・7125・7135	4	イ	L=720	680	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6465・6475・6480
T8130V T7110V・7125V・7135V	3	イ	L=690	680	A	G	KGC84M に交換		MASSEY FERGUSON OEM MF7465・7475・7480
T6125・6130 T5085・5095・5110	4	イ	L=690	620	A	G	20	30	MASSEY FERGUSON OEM MF5445・5455・5465
T750・850・950 T751・851・951	3	イ	L=745	760	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	MASSEY FERGUSON OEM MF4235・4245・4255
T1101 T1100	3	イ	L=750	790	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	MASSEY FERGUSON OEM MF4270
T855	4	イ	L=700	640	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6245

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ローリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
T1055・1155	4	イ	L=720	660	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6260・6270
T1255・1355	4	イ	L=720	70	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	MASSEY FERGUSON OEM MF6280・6290
T883	3	□	L=680	680	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6130
T953・1053・1153	3	□	L=720	680	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6150・6160・ 6170
T1253	3	□	L=720	740	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6180
T88	3	イ	L=640	690	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF3065 新
T105・115	3	イ	L=670	690	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF3085・3095
T125	3	イ	L=710	740	A	G	KGC84M に交換		MASSEY FERGUSON OEM MF3125
T70	3	イ	L=620	680	A	G	KGC84M に交換		MASSEY FERGUSON OEM MF362
T80・98	3	ハ	L=710	730	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	MASSEY FERGUSON OEM MF396
T6020 T6010	2	□	ニ L=615	630	C	G			
T72・82 T7020 T7010	2	□	ニ L=715	630	B	G			
T7020A	2	□	ニ L=635	625	B	G			
T82-10・82-21	2	□	ニ L=760	670	A	G			
T885WX・985WX	4	□	ホ	685	A	G			
T1085WX	4	□	ホ	730	A	G			
T625・725・825H	2	□	ニ L=675	630	A	G			キャビン仕様は 要上昇規制 ジョイント異音時 PTO切
T825G・885・985 T8020・9520 T8010・9510	2	□	ホ L=795	650	A	G			
T1085 T10520 T10510	2	□	ホ L=795	710	A	G			
TA-C657 TA-C655	4	□	ヘ	540	A	G			ヤンマー OEM CT652 CT651

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ローア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
TA-C1350	2	イ	ニ	710	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM GCR1350
TA-C805・1005	3	ロ	ホ	590	A	G			ヤンマー OEM CT801・1001
TA-C653・753	3	イ	ニ	640	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM GCR65・75
TA-C853・1003・1203	2	イ	ニ	660	B	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM GCR85・100・120
TA-C65・75	3	イ	ホ	610	C	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM MKM65・75
TA-C85・100	3	イ	ニ	680	B	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM MKM85・100
TA-C120	3	イ	ニ	680	B	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱農機 OEM MKM120
GV605・655・705・755 GV600・650・700・750	4	イ	へ	570	B	G		30	ロアピン内向き クボタ OEM MZ605・655・705・755 MZ60・65・70・75
GVK655・755 GVK650・750	4	イ	へ	570	B	G		30	ロアピン内向き クボタ OEM MZ655PC・755PC MZ65PC・75PC
GV77・87・97 GV805・875・955 GV760・850・950	4	イ	へ L=617	610	B	G			クボタ OEM MR77・87・97 SMZ805・875・955 SMZ76・85・95
GVK77・87・97 GVK805・875・955 GVK760・850・950	4	イ	へ L=617	610	B	G			クボタ OEM MR77PC・87PC ・97PC SMZ805PC・875PC ・955PC SMZ76PC・85PC ・95PC
GR100G・110G・115G・ 125G・135G	3	ロ	ホ L=710	675	A	G	KGC84M に交換		クボタ OEM M100G・110G・115G・ 125G・135G
GR90A・100A・110A・115A・ 125A・135A GR850・950・1050・1150・ 1250 GR90・100・115・125	2	ロ	L=615	695	A	G	KGC84M に交換		クボタ OEM M90A・100A・110A・ 115A・125A・135A M85D・95D・105D・ 115D・125 M90・100・115・125
GV60・64・73	4	イ	へ	600	A	G		30	ロアピン内向き クボタ OEM GM60・64・73
GV75・82・90	5	ロ	ニ	630	A	G			クボタ OEM GM75・82・90
MT601	4	イ	へ	560	A	G	50	50	ジョイント異音時 PTO 切 ヤンマー OEM AF660
MT651・751・801・901	3	イ	ニ	630	A	G			ヤンマー OEM AF865・875・880・890

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ローア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
MT620・720	2	イ	L=570	590	A	G			ヤンマー OEM AF620・720
MT820・920	3	□	へ	600	A	G	40	50	ヤンマー OEM PF82・92
MT70・80・90	2	□	へ L=690	600	A	G	40	40	芝浦 OEM V70・80・90
GCR651 GCR650	4	□	へ	540	A	G			ヤンマー OEM CT652 CT651
GCR1010 GCR800・1000	3	□	ホ	590	A	G			ヤンマー OEM CT1010 CT801・1001
GCR1350	2	イ	ニ	710	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
GCR65・75	3	イ	ニ	640	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
GCR85・100・120	2	イ	ニ	660	B	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MKM65・75	3	イ	ホ	610	C	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
MKM85・100	3	イ	ニ	680	B	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MKM120	3	イ	ニ	680	B	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MKM750X・1150X	2	□	ニ L=725	620	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK805・1005
MKM750	2	□	ホ L=725	620	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK70(96)
MKM1150	2	イ	ホ L=725	670	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK100(96)
MKM70(94)	2	□	ニ L=675	670	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK70(94)
MKM100(94)・115(94)	2	□	ニ L=675	680	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK100(94)・ 120(94)
MKM70	2	イ	ホ L=725	690	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK70
MKM100・115	2	□	ニ L=675	680	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	諸岡 OEM MK100・120
V70・80・90 S480	2	□	へ L=690	600	A	G	40	40	
GX640・730	4	イ	へ	600	A	G		30	ロアピン内向き クボタ OEM GM64・73
MK60S	2	□	ニ L=725	600	C	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MK80S・100S	2	□	ニ L=725	620	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ローア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
MK120S	2	イ	ホ L=725	670	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MK60(96)	2	□	ホ L=725	600	C	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MK70(96)・80(96)・90(96)	2	□	ホ L=725	620	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MK100(96)・120(96)	2	イ	ホ L=725	670	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MK70(94)・80(94)・90(94)	2	□	ニ L=675	670	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MK100(94)・120(94)	2	□	ニ L=675	680	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MK70・80・90	2	イ	ホ L=725	690	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MK100・120	2	□	ニ L=675	680	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MF1720・1723	3	□	ホ	550	A	G			井関農機 OEM TJV68・75(TJV75 は ZWX 仕様のみ) MF1723 は ZWX 仕様のみ
MF1723・1724・1726(ZLWX)	3	□	ホ	600	A	G			井関農機 OEM TJV75・85・95(ZLWX)
MF1723(GLWX)	4	□	へ	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	井関農機 OEM TJV75(GLWX) クイックヒッチ タイプの トップリンク・ ローリンク 水平制御付
MF1724・1726(GLWD)	4	□	L=570	640	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	井関農機 OEM TJV85・95(GLWX) クイックヒッチ タイプの トップリンク・ ローリンク 水平制御なし
MF1728・1730	3	□	ホ L=565	650	A	G			井関農機 OEM TJW107・117
MF281・292 MF481・492	3	ハ	L=800	800	A	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MF362・365・265	3	イ	L=620	680	A	G	KGC84M に交換		
MF382・396 MF375・390・390T MF275・285・290	3	ハ	L=710	730	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
MF399	3	□	L=465	720	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
MF374H・394H MF294 新	2	イ	L=540	540	A	G			

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ローア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
MF394F	2	イ	L=490	570	A	G			
MF394F 旧	2	イ	L=420	570	A	G			
MF675・690・698	3	ハ	L=710	730	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
MF699	3	口	L=465	720	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
MF2220・2230	2	イ	ニ	600	A	G	30	50	Landini 井関農機 TR63 (マイコン)
MF2430・2435・2440	3	イ	L=515	640	A	G	KGC84M に交換		
MF3050 旧・3060 旧・ 3065 旧 MF3070・3080・3090	3	イ	L=700	670	A	G			540rpm 仕様のみ
MF3050 新・3060 新・ 3065 新	3	イ	L=640	690	A	G			
MF3075・3085・3095	3	イ	L=670	690	A	G			
MF3115・3125	3	イ	L=710	740	A	G	KGC84M に交換		
MF3610	3	口	L=770	740	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	540rpm 仕様のみ
MF3625・3635(78馬力)・ 3645(91馬力)	3	イ	L=530	585	A	G	30	30	馬力要確認
MF4225・4235・4245・4255	3	イ	L=745	760	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
MF4270	3	イ	L=750	790	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
MF4445・4455	4	口	L=650	670	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
MF5435・5445・5455・ 5460・5465	4	イ	L=690	620	A	G	20	30	
MF5470・5475・5480	4	イ	L=650	660	A	G			
MF6110・6120・6130・6140	3	口	L=680	680	A	G			
MF6150・6160・6170	3	口	L=720	680	A	G			
MF6180・6190	3	口	L=720	705	A	G			
MF6245	4	イ	L=700	640	A	G			
MF6255・6260・6265・6270	4	イ	L=720	660	A	G			
MF6280・6290	4	イ	L=720	705	A	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
MF6445・6455・6460・6470	4	イ	L=690	640	A	G		30	
MF6465・6475・6480	4	イ	L=720	680	A	G			
MF7465・7475・7480	3	イ	L=690	680	A	G	KGC84M に交換		
T4030・4040	2	口	L=670	600	A	G		40	

トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
T5050・5060・5070	2	イ	L=595	635	B	G		40	
T6010Delta・6015Delta・ 6030Delta	2	□	L=750	710	A	G	KGC84M に交換		
T6020Elite・6030Plus・ T6060Elite	2	□	L=810	720	A	G	KGC84M に交換		
TM120・130・140 TM115・125・135	2	□	L=740	740	A	G	KGC84M に交換		
F8160・8260・8360	2	□	L=740	740	A	G	KGC84M に交換		
TS100A・110A・115A・ 125A・135A	2	□	L=790	695	A	G			
F4630・5030 F4610 F4600	1	□	L=770	625	A	G	40	50	ジョイント異音時 PTO切
F5110・5610・6410・6610・ 6710	3	□	L=805	735	A	G			
F6810・7610・7710・7810・ 8210 F7600	2	□	L=805	685	A	G			
TL90A・100A TL70・80・90 F4635・4835・5635・6635・ 7635 F681・682・683・684 L65・75・85	2	イ	L=600	660	A	G			ジョイント異音時 PTO切
TN70S-A・75S-A・85S-A TN65・75	2	イ	L=600	600	A	G			
TS90・100・110・115 F5640・6640・7740・7840・ 8240・8340	1	□	L=810	640	A	G			ジョイント異音時 PTO切 トップリンク 取付け穴 1個
TS90・100・110・115 F5640・6640・7740・7840・ 8240・8340	2	□	L=820	610	A	G			トップリンク 取付け穴 2個
T2500MZ F2500MZ	4	イ	へ	570	B	G		30	ロアピン内向き クボタ OEM MZ655 MZ65
JD5100R	3	イ	L=740	600	A	G		30	
JD6105R・6115R	3	□	L=890	670	A	G			
JD6230・6330・6430・6630 JD6120・6220・6320・6420・ 6520・6620 JD6110・6210・6310・6410・ 6510・6610 JD6100・6200・6300・6400・ 6600	3	イ	L=770	580	A	G			

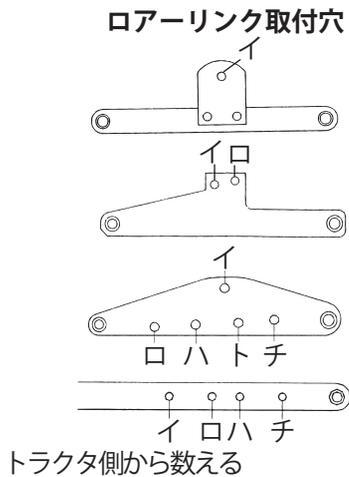
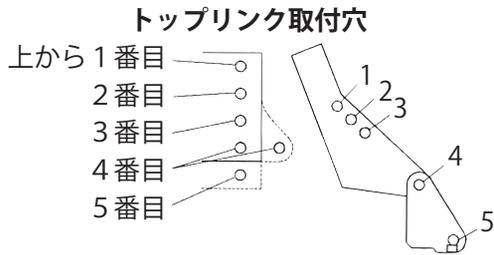
必要に応じて

トラクタ別装着表

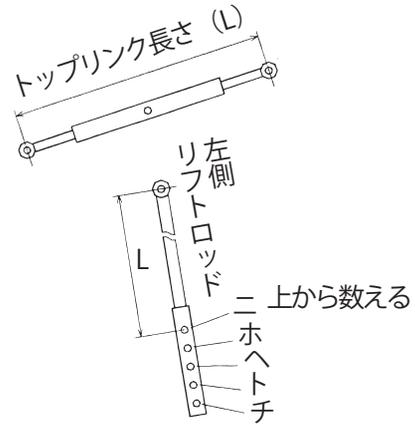
トラクタ別装着表 KRV・KRZ (T-3L・4L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法(mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	4L	3L	
							KGC79M	KGC80	
JD6830 JD6820 JD6810・JD6910 JD6800・6900	3	イ	L=900	620	A	G			ジョイント異音時 PTO切
JD5325・5425・5525 JD5320・5420 JD5310・5410 JD5400	3	イ	L=530	600	C	G		30	
JD3050・3350 JD3040・3140 JD3130	1	イ	L=850	710	A	G			
JD2250・2650・2850 JD1640・2040・2140 JD1630・2030・2130	1	イ	L=645	640	A	G			トップリンク 取付け穴 1個
JD2250・2650・2850 JD1140・1640・2040・2140 JD1630・2030・2130	3	イ	L=645	670	A	G			トップリンク 取付け穴 3個
JD2650・2850	3	イ	L=645	670	A	G			トップリンク ロアーリンクが クイックタイプ
MXU100・110・115・125・ 135	2	□	L=790	695	A	G			CNH TS100A・110A・115A・ 125A・135A
MXM120・130・140	2	□	L=740	740	A	G	KGC84M に交換		CNH TM120・130・140
In595・695・795・895	2	□	L=700	660	A	G	KGC84M に交換		
In5120・5130・5140	2	イ	L=630	850	A	G			
CX75・85・95・105 CX60・70・80・90・100	2	イ	L=720	620	A	G			ジョイント異音時 PTO切
MC95・105・115・120 MC90・100 MXC80・90・100 MX100 MX110	2	イ	L=620	680	A	G	KGC84M に交換		
MXC80・90(2008年～)	2	□	L=670	600	A	G		40	CNH T4030・4040
MXC100(2008年～)	2	イ	L=595	635	B	G		40	CNH T5050・5060・5070
MAXXUM110(2008年～)	2	□	L=810	720	A	G	KGC84M に交換		CNH T6020Elite
FENDT309・310・311・312	3	イ	L=730	690	A	G			
DK902C	3	□	L=600	670	A	G			ジョイント異音時 PTO切

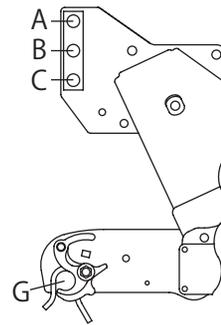
2L仕様 (KRV)



トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク取付け穴	ローリンク取付け穴	リフトロッド取付け穴	トップリンク長さ (mm)	トップリンク取付け穴	ヒッチピン取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B8955A	
MZ605・655・705・755 MZ60・65・70・75	1	イ	へ	560	C	G		50	ローリンクチェックチェンと後輪が干渉しそうな場合、I・II形2Lオートヒッチバーに変更してください。(内ピン取付け)
MZ655PC・755PC MZ65PC・75PC	1	イ	へ	560	C	G		50	ローリンクチェックチェンと後輪が干渉しそうな場合、I・II形2Lオートヒッチバーに変更してください。(内ピン取付け)
MR77・87・97 SMZ805・875・955 SMZ76・85・95	2	イ	へ L=617	650	C	G			

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ローリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B895SA	
MR77PC・87PC・97PC SMZ805PC・875PC・955PC SMZ76PC・85PC・95PC	2	イ	∧ L=617	650	C	G			
M100G・110G・115G	1	□	ホ L=710	750	B	G			
M110G-PC	1	□	ホ L=710	750	B	G			
M90A・100A・110A・115A M85D・95D・105D・115D M90・100・115 MD77・87・97・107・117 M ₁ -85・100・115	1	□	L=615	760	C	G			
M110A-PC M105D-PC M90-PC・100-PC・115-PC MD 77-PC・87-PC・97-PC	1	□	L=615	760	C	G			
M108W	1	□	L=575	730	C	G			
M72W	1	イ	L=480	680	C	G		50	
GM60・64・73	1	イ	ホ	600	C	G		50	ローリンクチェックチェーンと後輪が干渉しそうな場合、I・II形 2L オートヒッチバーに変更してください。(内ピン取付け)
GM64PC・73PC	1	イ	ホ	600	C	G		50	ローリンクチェックチェーンと後輪が干渉しそうな場合、I・II形 2L オートヒッチバーに変更してください。(内ピン取付け)
GM75D・82D・90D GM75・82・90	1	□	ニ L=540	660	C	G			
GM75PC・90PC	1	□	ニ L=540	660	C	G			
M6830	1	イ	L=520	600	C	G		50	
M8230・9030	1	イ	L=550	680	C	G			
M6970・7970 M6950・7950	1	イ	L=600	690	B	G			
M9570 M9550	1	イ	L=600	690	C	G			
M10570	1	イ	L=650	750	B	G			
M7530・8030	1	イ	L=600	720	B	G			
M ₁ -60S・65	1	イ	L=500	660	C	G		50	
M ₁ -75	1	□	L=580	720	C	G			
KG1000・1200	1	イ	ニ	720	A	G	KG97 に変更	適応不可	三菱農機 OEM GCR100・120

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフトロッド 取付け穴	トップリンク 長さ (mm)	トップリンク 取付け穴	ヒッチピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B895SA	
KG65・75	1	イ	ニ	620	C	G		適応不可	三菱農機 OEM MKM65・75
KG85・100	1	イ	ニ	710	B	G	KG97 に変更	適応不可	三菱農機 OEM MKM85・100
KG120	1	イ	ニ	720	B	G		適応不可	三菱農機 OEM MKM120
MK60SK KM70	1	ロ	ニ L=725	630	C	G		適応不可	長いトップリンクへ 要交換 諸岡 OEM MK60S
MK80SK・100SK KM90D・100D	1	ロ	ニ L=725	650	C	G		適応不可	長いトップリンクへ 要交換 諸岡 OEM MK80S・100S
MK120SK KM120D	1	イ	ニ L=725	720	C	G	KG97 に変更	適応不可	諸岡 OEM MK120S
MK60K	1	ロ	ホ L=725	630	C	G		適応不可	諸岡 OEM MK60(96)
MK70K・80K・90K	1	ロ	ホ L=725	650	C	G		適応不可	諸岡 OEM MK60(96)・ 80(96)・90(96)
MK100K(96)・110K(96)・ 120K(96)	1	イ	ホ L=725	720	C	G	KG97 に変更	適応不可	諸岡 OEM MK100(96)・ 120(96)
MK100K・120K	1	ロ	ニ L=675	720	C	G	KG97 に変更	適応不可	諸岡 OEM MK100(94)・ 120(94)
EG660 EF660 US601 JD1620	1	ロ	へ	680	B	G		50	
EG65 EG665 EF665 JD1630	1	ロ	へ	700	C	G		50	
EG65C	1	ロ	ホ	700	C	G		50	
EG76・83 EG765・775・782	1	イ	ホ	700	C	G		50	
EG97・105 EF880・890・895 AF865・875・880・890	1	イ	ニ	670	C	G		50	
EG97C・105C	1	イ	ニ	670	C	G		50	
CT652 CT651	1	イ	ホ	690	C	G		50	
CT1010 CT801・1001	1	イ	ニ	680	C	G		50	

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロアー リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B8955A	
AF660	3	イ	ホ	650	C	G		50	
AF660A	3	イ	へ	700	C	G		50	青森仕様
AF665	1	イ	ホ	750	B	G		30	
AF620・720	1	イ	L=570	630	C	G			
PF82・92	1	ロ	ホ	650	C	G		50	
F605	1	イ	へ	660	B	G			
F705・805・905	1	ロ	ホ	610	C	G		50	芝浦 OEM V70・80・90
F60・70	1	ロ	ニ L=530	640	C	G		70	
F80・97	1	ロ	ニ L=570	680	C	G		50	
CT600	3	イ	へ	690	C	G		50	
CT650・750	1	イ	ニ	680	C	G		50	
CT850・950・1050 CT800・900・1000	1	イ	ニ	680	C	G		50	
CT65・75	1	イ	ニ L=640	620	C	G		50	
CT80(A)・85・95(A)	1	イ	ニ L=640	620	C	G		50	
CT120	1	イ	ニ L=703	620	B	G		50	
CT65H・75H	2	イ	ホ	530	C	G		50	井関農機 OEM TJ65C・75C
CT85H	2	イ	ホ	570	C	G			井関農機 OEM TJ85C
TJV623・703・783	2	イ	ホ	590	C	G		50	TJV783 は ZWX 仕様のみ
TJV63・68・75	2	イ	ホ	600	C	G		50	TJV75 は ZWX 仕様のみ
TJV623C・703C・783C TJV68C・75C	2	イ	へ	590	C	G		50	
TJV783・883・983(ZLWX)	1	イ	ホ	670	C	G			
TJV75・85・95(ZLWX)	1	イ	ホ	680	C	G			
TJV783・883・983(GLWX)	1	イ	ホ	750	C	G			クイックヒッチタイプ のトップリンク・ ロアーリンク 水平制御付
TJV75・85・95(GLWX)	1	イ	ホ	760	C	G			クイックヒッチタイプ のトップリンク・ ロアーリンク 水平制御付

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切斷寸法 (mm)		備 考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B895SA	
TJV883・983(GLWX)	1	イ	L=530	750	C	G			クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJV85・95(GLWD)	1	イ	L=530	760	C	G			クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJV883C・983C(ZLWX) TJV85C・95C(ZLWX)	1	イ	ホ	670	C	G			
TJV883C・983(GLWX) TJV85C・95C(GLWX)	1	イ	へ	750	C	G			クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御付
TJV983C(GLWD)	1	イ	L=570	750	C	G			クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJX77・87・97(WX)	1	イ	ホ	670	C	G			
TJX77・87・97(WX 以外)	1	イ	L=530	750	C	G			クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJW108・120 TJW107・117	1	イ	ホ L=565	720	C	G			
TJW108C・120C TJW107C・117C	1	イ	へ L=610	710	B	G			
TJ65・75	2	イ	ホ	530	C	G		50	
TJ65C・75C	2	イ	ホ	530	C	G		50	
TJ85	2	イ	ホ	570	C	G			
TJ85C	2	イ	ホ	570	C	G			
TJW95・105	1	イ	ニ L=565	720	C	G			
TJW95C・105C	1	イ	ホ L=610	710	B	G			
TR633(メカ) TR63(メカ)	1	イ	ニ L=510	630	C	G		50	
TR633(C)(マイコン) TR63(C)(マイコン)	1	イ	ニ L=510	660	C	G		50	
T8115 T7085・7095・7105	1	イ	L=670	670	A	G		50	MASSEY FERGUSON OEM MF6445・6455・6460
T7110	1	イ	L=720	730	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6465
T7110V	1	イ	L=690	810	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF7465
T5085・5095・5110	2	イ	L=650	660	C	G		50	MASSEY FERGUSON OEM MF5445・5455・5465

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフトロッド 取付け穴	トップリンク 長さ (mm)	トップリンク 取付け穴	ヒッチピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B895SA	
T750・850・950 T751・851・951	1	イ	L=705	850	C	G	KG97 に変更	適応不可	MASSEY FERGUSON OEM MF4235・4245・4255
T855	1	イ	L=630	680	C	G		50	MASSEY FERGUSON OEM MF6245
T1101 T1100	1	イ	L=750	890	C	G	KG97 に変更	適応不可	MASSEY FERGUSON OEM MF4270
T1055・1155	2	イ	L=650	670	B	G		50	MASSEY FERGUSON OEM MF6260・6270
T883	1	ロ	L=650	680	C	G		50	MASSEY FERGUSON OEM F6130
T953・1053・1153	1	ロ	L=720	680	C	G		50	MASSEY FERGUSON OEM MF6150・6160・6170
T88	1	イ	L=620	680	C	G		50	MASSEY FERGUSON OEM MF3065
T105・115	1	イ	L=670	670	B	G		50	MASSEY FERGUSON OEM MF3085・3095
T70	1	イ	L=620	760	C	G			MASSEY FERGUSON OEM MF362
T80・98	1	ハ	L=680	810	C	G		適応不可	MASSEY FERGUSON OEM MF382・396
T6020 T6010	1	ロ	L=615	680	C	G		30	
T72・82 T7020・7010	1	ロ	L=700	680	C	G		30	
T7020A	1	ロ	L=635	670	C	G		30	
T82-10・82-21	1	ロ	L=760	740	C	G			
T885WX・985WX	1	ロ	ニ L=680	750	B	G		50	
T1085WX	1	ロ	ホ L=715	790	B	G			
T625・725・825H	1	ロ	ニ L=675	660	C	G			
T825G・885・985 T8020・9520 T8010・9510	1	ロ	ニ L=760	740	C	G		50	
T1085 T10520 T10510	1	ロ	ホ L=795	790	C	G			
TA-C657 TA-C655	1	イ	ホ	690	C	G		50	ヤンマー OEM CT652 CT651
TA-C805・1005	1	イ	ニ	680	C	G		50	ヤンマー OEM CT801・1001
TA-C653・753	2	ロ	ニ	730	A	G	KG97 に変更	適応不可	三菱農機 OEM GCR65・75

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク取付け穴	ロアーリンク取付け穴	リフトロッド取付け穴	トップリンク長さ (mm)	トップリンク取付け穴	ヒッチピン取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B895SA	
TA-C853・1003・1203	1	イ	ニ	720	A	G	KG97に変更	適応不可	三菱農機 OEM CR85・100・120
TA-C65・75	1	イ	ニ	620	C	G		適応不可	三菱農機 OEM MKM65・75
TA-C85・100	1	イ	ニ	710	B	G	KG97に変更	適応不可	三菱農機 OEM MKM85・100
TA-C120	1	イ	ニ	720	B	G		適応不可	三菱農機 OEM MKM120
GV605・655・705・755 GV600・650・700・750	1	イ	へ	560	C	G		50	ロアーリンクチェック チェンと後輪が干渉し そうな場合、I・II形 2Lオートヒッチバーに 変更してください。 (内ピン取付け) クボタ OEM MZ605・655・705・755 MZ60・65・70・75
GVK655・755 GVK650・750	1	イ	へ	560	C	G		50	ロアーリンクチェック チェンと後輪が干渉し そうな場合、I・II形 2Lオートヒッチバーに 変更してください。 (内ピン取付け) クボタ OEM MZ655PC・755PC MZ65PC・75PC
GV77・87・97 GV805・875・955 GV760・850・950	2	イ	へ L=617	650	C	G			クボタ OEM MRZ77・87・97 SMZ805・875・955 SMZ76・85・95
GVK77・87・97 GVK805・875・955 GVK760・850・950	2	イ	へ L=617	650	C	G			クボタ OEM MRZ77PC・87PC・97PC SMZ805PC・875PC・955PC SMZ76PC・85PC・95PC
GR100G・110G・115G	1	口	ホ L=710	750	B	G			クボタ OEM M100G・110G・115G
GR90A・100A・110A・115A GR850・950・1050・1150 GR90・100・115	1	口	L=615	760	C	G			クボタ OEM M90A・100A・110A・115A M85D・95D・105D・115D M90・100・115
GV60・64・73	1	イ	ホ	600	C	G		50	ロアーリンクチェック チェンと後輪が干渉し そうな場合、I・II形 2Lオートヒッチバーに 変更してください。 (内ピン取付け) クボタ OEM GM60・64・73
GV75・82・90	1	口	ニ L=540	660	C	G			クボタ OEM GM75・82・90
MT601	3	イ	ホ	650	C	G		50	ヤンマー OEM AF660
MT651・751・801・901	1	イ	ニ	670	C	G		50	ヤンマー OEM AF865・875・880・890

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフトロッド 取付け穴	トップリンク 長さ (mm)	トップリンク 取付け穴	ヒッチピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B895SA	
MT620・720	1	イ	L=570	630	C	G			ヤンマー OEM AF620・720
MT820・920	1	ロ	ホ	650	C	G		50	ヤンマー OEM PF82・92
MT70・80・90	1	ロ	ホ	610	C	G		50	芝浦 OEM V70・80・90
GCR651 GCR650	1	イ	ホ	690	C	G		50	ヤンマー OEM CT652 CT651
GCR1010 GCR800・1000	1	イ	ニ	680	C	G		50	ヤンマー OEM CT1010 CT801・1001
GCR65・75	2	ロ	ニ	730	A	G	KG97 に変更	適応不可	
GCR85・100・120	1	イ	ニ	720	A	G	KG97 に変更	適応不可	
MKM65・75	1	イ	ニ	620	C	G		適応不可	
MKM85・100	1	イ	ニ	710	B	G	KG97 に変更	適応不可	
MKM120	1	イ	ニ	720	B	G		適応不可	
MKM750X・1150X	1	ロ	ニ L=725	650	C	G		適応不可	長いトップリンクへ 要交換 諸岡 OEM MK80S・100S
MKM750	1	ロ	ホ L=725	650	C	G		適応不可	諸岡 OEM MK70(96)
MKM1150	1	イ	ホ L=725	720	C	G	KG97 に変更	適応不可	諸岡 OEM MK100(96)
MKM70(94)	1	イ	ニ	720	C	G	KG97 に変更	適応不可	諸岡 OEM MK70(94)
MKM100(94)・115(94)	1	イ	ニ	720	C	G		適応不可	諸岡 OEM MK100(94)・120(94)
MKM70	1	ロ	ニ L=675	740	C	G	KG97 に変更	適応不可	諸岡 OEM MK70
MKM100・115	1	ロ	ニ L=675	720	C	G		適応不可	諸岡 OEM MK100・120
V70・80・90 S480	1	ロ	ホ	610	C	G		50	
GX640・730	1	イ	ホ	600	C	G		50	ロアリンクチェック チェンと後輪が干渉 しそうな場合、I・ II形 2L オートヒッ チバーに変更してく ださい。(内ピン取付) クボタ OEM GM64・73
MK60S	1	ロ	ニ L=725	630	C	G		適応不可	長いトップリンク へ要交換
MK80S・100S	1	ロ	ニ L=725	650	C	G		適応不可	長いトップリンク へ要交換

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B895SA	
MK120S	1	イ	ニ L=725	720	C	G	KG97 に変更	適応不可	
MK60(96)	1	ロ	ホ L=725	630	C	G		適応不可	
MK70(96)・80(96)・ 90(96)	1	ロ	ホ L=725	650	C	G		適応不可	
MK100(96)・120(96)	1	イ	ホ L=725	720	C	G	KG97 に変更	適応不可	
MK70(94)・80(94)・ 90(94)	1	ロ	ニ L=675	660	C	G		適応不可	
MK100(94)・120(94)	1	ロ	ニ L=675	720	C	G	KG97 に変更	適応不可	
MK70・80・90	1	ロ	ニ L=675	740	C	G	KG97 に変更	適応不可	
MK100・120	1	ロ	ニ L=675	720	C	G		適応不可	
MF1720・1723	2	イ	ホ	600	C	G		50	井関農機 OEM TJV68・75(TJV75 は ZWX 仕様のみ) MF1723 は ZWX 仕様のみ
MF1723・1724・ 1726(ZLWX)	1	イ	ホ	680	C	G			井関農機 OEM TJV75・85・95(ZLWX)
MF1723(GLWX)	1	イ	ホ	760	C	G			井関農機 OEM TJV75(GLWX) クイックヒッチタイプ のトップリンク・ ロアーリンク 水平制御付
MF1724・1726(GLWD)	1	イ	L=530	760	C	G			井関農機 OEM TJV85・95(GLWD) クイックヒッチタイプ のトップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
MF1728・1730	1	イ	ホ L=565	720	C	G			井関農機 OEM TJW107・117
MF281・292 MF481・492	1	ハ	L=800	880	C	G	KG97 に変更	適応不可	長いトップリンク へ要交換
MF362・365・265	1	イ	L=620	760	C	G			
MF382・396 MF375・390・390T MF275・285・290	1	ハ	L=680	810	C	G		適応不可	
MF399	1	ロ	L=465	800	C	G			
MF374H・394H MF294 新	1	イ	L=500	580	C	G		50	
MF394F	1	イ	L=450	580	C	G		50	
MF394F 旧	1	イ	L=380	580	C	G		50	

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフトロッド 取付け穴	トップリンク 長さ (mm)	トップリンク 取付け穴	ヒッチピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B895SA	
MF675・690・698	1	ハ	L=680	810	C	G		適応不可	
MF699	1	口	L=465	800	C	G			
MF2220・2230	1	イ	L=510	650	C	G			Landini 井関農機 TR63 (マイコン)
MF2430・2435・2440	1	イ	L=510	700	C	G			
MF3050旧・3060旧・ 3065旧・3070・3080・ 3090	1	イ	L=700	680	C	G		50	540rpm 仕様のみ
MF3050新・3060新・ 3065新	1	イ	L=620	680	C	G		50	
MF3075・3085・3095	1	イ	L=670	670	B	G		50	
MF3115	1	イ	L=710	730	B	G			
MF3610	1	イ	L=800	780	A	G			540rpm 仕様のみ トップリンク長注意
MF3625・3635(78馬力)・ 3645(91馬力)	1	イ	L=530	630	B	G		50	馬力要確認
MF4225・4235・4245・ 4255	1	イ	L=705	850	C	G	KG97 に変更	適応不可	
MF4270	1	イ	L=750	890	C	G	KG97 に変更	適応不可	
MF4445・4455	1	イ	L=650	760	B	G			
MF5435・5445・5455・ 5465	2	イ	L=650	660	C	G		50	
MF6110・6120・6130・ 6140	1	口	L=650	680	C	G		50	
MF6150・6160・6170	1	口	L=720	680	C	G		50	
MF6245	1	イ	L=630	680	C	G		50	
MF6255・6260・6265・ 6270	2	イ	L=650	670	B	G		50	
MF6445・6455・6460・ 6470	1	イ	L=670	670	A	G		50	
MF6465	1	イ	L=720	730	A	G			
MF7465	1	イ	L=690	810	A	G			
T4030・4040	1	イ	L=620	710	B	G		50	
T5050・5060・5070	1	イ	L=595	700	B	G		50	
T6010Delta・6015Delta・ 6030Delta	1	口	L=760	790	B	G			
T6020Elite・6030Plus	1	口	L=790	800	B	G			
TM120・130 TM115・125	1	イ	L=760	790	B	G			
F8160・8260	1	イ	L=700	780	B	G			
TS100A・110A・115A・ 125A	1	口	L=830	810	B	G			

トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B8955A	
F4630・5030 F4610 F4600	1	□	L=750	730	C	G		50	
F5110・5610・6410・ 6610・6710	1	□	L=790	750	C	G		50	トップリンク長注意
F6810・7610・7710・ 7810・8210 F7600	1	□	L=790	710	C	G		50	
TL90A・100A TL70・80・90 F4835・5635・6635・ 7635 F682・683・684 L65・75・85	1	イ	L=580	730	C	G			
TN70S-A・75S-A・85S-A TN65・75	2	イ	L=580	700	B	G		50	
TS90・100・110・115 F5640・6640・7740・ 7840・8240・8340	1	□	L=800	680	C	G		50	トップリンク 取付け穴 1個
TS90・100・110・115 F5640・6640・7740・ 7840・8240・8340	1	□	L=800	590	B	G		50	トップリンク 取付け穴 2個
T2500MZ F2500MZ	1	イ	へ	560	C	G		50	ロアーリンクチェック チェンと後輪が干渉し そうな場合、I・II形 2Lオートヒッチバーに 変更してください。 (内ピン取付け) クボタ OEM MZ655 MZ65
JD5100R	1	イ	L=740	700	B	G		50	
JD6105R・6115R	1	イ	L=890	740	B	G			
JD6230・6330・6430 JD6120・6220・6320・ 6420・6520 JD6110・6210・6310・ 6410・6510・6610 JD6100・6200・6300・ 6400・6600	1	イ	L=730	670	C	G		50	
JD6800	1	イ	L=900	700	B	G		50	
JD5325・5425・5525 JD5320・5420 JD5310・5410 JD5400	1	イ	L=530	610	C	G		50	
JD3050・3350 JD3040・3140 JD3130	1	イ	L=850	730	C	G		50	
JD3650	1	イ	L=750	760	C	G			CAT III仕様

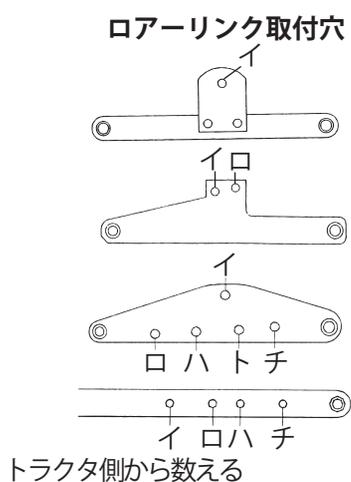
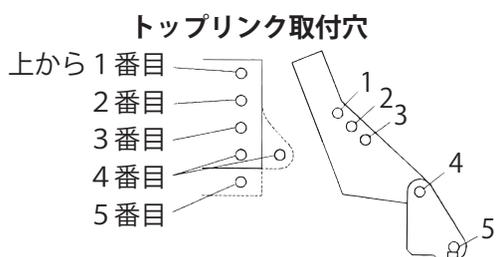
必要に応じて

トラクタ別装着表

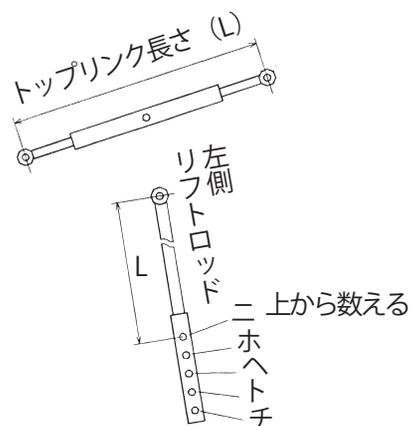
トラクタ別装着表 KRV (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	CV・SV-2L	
							KG87	B8955A	
JD2250・2650・2850 JD1640・2040・2140 JD1630・2030・2130	1	イ	L=625	690	C	G		50	トップリンク 取付け穴 1 個
JD2250・2650・2850 JD1140・1640・2040・ 2140 JD1630・2030・2130	2	イ	L=625	690	C	G		50	トップリンク 取付け穴 3 個
JD2650・2850	1	イ	L=645	710	C	G			トップリンク ロアリンクが クイックタイプ
MXU100・110・115・125	1	ロ	L=830	810	B	G			CNH TS100A・110A・115A・125A
MXM120・130	1	イ	L=760	790	B	G			CNH TM120・130
In595・695・795・895	1	ロ	L=700	770	C	G			トップリンク長注意
In5120・5130・5140	1	イ	L=630	890	C	G			長いトップリンク へ要交換
CX-L65・75・85	1	イ	L=545	700	B	G			
CX75・85・95・105 CX60・70・80・90・100	2	イ	L=720	690	C	G		50	
MC95・105・115・120 MC90・100 MTX120 MXC80・90・100 MX100・120 MX110	1	イ	L=610	820	B	G			
MXC80・90(2008年～)	1	イ	L=620	710	B	G		50	CNH T4030・4040
MXC100(2008年～)	1	イ	L=595	700	B	G		50	CNH T5050・5060・5070
MAXXUM 110(2008年～)	1	ロ	L=790	800	B	G			CNH T6020Elite
FENDT 309・310・311・ 312	1	イ	L=670	810	B	G			
FENDT 412	1	イ	L=650	780	B	G			
DK902C	1	ロ	L=600	770	B	G			

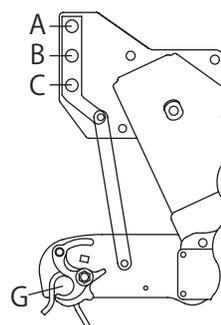
2L仕様 (KRZ)



トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



トラクタ別装着表 KRZ (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク取付け穴	ローリンク取付け穴	リフトロッド取付け穴	トップリンク長さ (mm)	トップリンク取付け穴	ヒッチピン取付け穴	2L	KRZ350J-2L	
							KG87	KDV91A	
MR97 SMZ955 SMZ95	2	イ	∧ L=617	650	C	G			
MR97PC SMZ955PC SMZ95PC	2	イ	∧ L=617	650	C	G			
M100G・110G・115G・ 125G・135G	1	ロ	ホ L=710	750	B	G			
M110G-PC・125G-PC・ 135G-PC	1	ロ	ホ L=710	750	B	G			

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRZ (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切斷寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフトロッド 取付け穴	トップリンク 長さ (mm)	トップリンク 取付け穴	ヒッチピン 取付け穴	2L	KRZ350J-2L	
							KG87	KDV91A	
M90A・100A・110A・ 115A・125A・135A M95D・105D・115D・ 125D M90・100・115・125 MD97・107・117 M ₁ -100・115	1	□	L=615	760	C	G			
M110A-PC・125A-PC・ 135A-PC M105D-PC・125D-PC M90-PC・100-PC・ 115-PC・125-PC MD97-PC	1	□	L=615	760	C	G			
M108W	1	□	L=575	730	C	G			
GM90D GM90	1	□	ニ L=540	660	C	G			
GM90PC	1	□	ニ L=540	660	C	G			
M9030	1	イ	L=550	680	C	G			
M9570 M9550	1	イ	L=600	690	C	G			
M10570	1	イ	L=650	750	B	G			
KG1000・1200	1	イ	ニ	720	A	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	三菱農機 OEM GCR100・120
KG100	1	イ	ニ	710	B	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	三菱農機 OEM MKM100
KG120	1	イ	ニ	720	B	G		KDV96A に変更	三菱農機 OEM MKM120
MK100SK KM90D・100D	1	□	ニ L=725	650	C	G		KDV96A に変更	長いトップリンクへ 要交換 諸岡 OEM MK80S・100S
MK120SK・140SK・160SK KM120D	1	イ	ニ L=725	720	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	諸岡 OEM MK120S・ 140S・160S
MK90K	1	□	ホ L=725	650	C	G		KDV96A に変更	諸岡 OEM MK90(96)
MK100K(96)・110K(96)・ 120K(96)・140K(96)・ 160K(96)	1	イ	ホ L=725	720	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	諸岡 OEM MK100(96)・ 120(96)・ 140(96)・160(96)
MK100K・120K・140K・ 160K	1	□	ニ L=675	720	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	諸岡 OEM MK100(94)・ 120(94)・ 140(94)・160(94)
EG97・105 EF880・890・895	1	イ	ニ	670	C	G			

トラクタ別装着表 KRZ (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切寸法 (mm)		備考
	トップリンク取付け穴	ロアーリンク取付け穴	リフトロッド取付け穴	トップリンク長さ (mm)	トップリンク取付け穴	ヒッチピン取付け穴	2L	KRZ350J-2L	
							KG87	KDV91A	
EG97C・105C	1	イ	ニ	670	C	G			
CT1010 CT1001	1	イ	ニ	680	C	G			
CT1350	1	イ	ニ	750	B	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	三菱農機 OEM GCR1350
PF92	1	ロ	ホ	650	C	G		30	
F905	1	ロ	ホ	610	C	G		30	芝浦 OEM V90
F97	1	ロ	ニ L=570	680	C	G			
CT950・1050 CT900・1000	1	イ	ニ	680	C	G			
CT1400・1600	1	イ	ニ	800	B	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	三菱農機 OEM GCR140・160
CT95(A)	1	イ	ニ L=640	620	C	G			
CT120	1	イ	ニ L=703	620	B	G			
TJV983(ZLWX)	1	イ	ホ	670	C	G			
TJV95(ZLWX)	1	イ	ホ	680	C	G			
TJV983(GLWX)	1	イ	ホ	750	C	G		KG96A に変更	クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御付
TJV95(GLWX)	1	イ	ホ	760	C	G		KG96A に変更	クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御付
TJV983(GLWD)	1	イ	L=530	750	C	G		KG96A に変更	クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJV95(GLWD)	1	イ	L=530	760	C	G		KG96A に変更	クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJV983C(ZLWX) TJV95C(ZLWX)	1	イ	ホ	670	C	G			
TJV983C(GLWX) TJV95C(GLWX)	1	イ	へ	750	C	G		KG96A に変更	クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御付
TJV983C(GLWD)	1	イ	L=570	750	C	G		KG96A に変更	クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJX97(WX)	1	イ	ホ	670	C	G			

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRZ (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備考
	トップ リンク 取付け穴	ロアー リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	KRZ350J-2L	
							KG87	KDV91A	
TJX97(WX 以外)	1	イ	L=530	750	C	G		KG96A に変更	クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし
TJW108・120 TJW107・117	1	イ	ホ L=565	720	C	G			
TJW108C・120C TJW107C・117C	1	イ	ハ L=610	710	B	G			
TJW95・105	1	イ	ニ L=565	720	C	G			
TJW95C・105C	1	イ	ホ L=610	710	B	G			
T8115・8125・8140 T7085・7095・7105	1	イ	L=670	670	A	G		30	MASSEY FERGUSON OEM MF6445・6455・6470
T8130D・8160D T7110・7125・7135	1	イ	L=720	730	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6465・6475・6480
T7145・7160	2	イ	L=900	800	C	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6485・6490
T8130V・8160V T7110V・7125V・7105V	1	イ	L=690	810	A	G			MASSEY FERGUSON OEM MF7465・7475・7480
T7145V・7160V	1	イ	L=700	860	A	G		KDV96A に変更	MASSEY FERGUSON OEM MF7485・7490
T6125・6130 T5085・5095・5110	2	イ	L=650	660	C	G		30	MASSEY FERGUSON OEM MF5445・5455・5465
T6145・6150	1	イ	L=605	690	C	G			MASSEY FERGUSON OEM MF5470・5475・5480
T950 T951	1	イ	L=705	850	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	MASSEY FERGUSON OEM MF4255
T1101 T1100	1	イ	L=750	890	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	MASSEY FERGUSON OEM MF4270
T1055・1155	2	イ	L=650	670	B	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6260・6270
T1255・1355	1	ロ	L=700	740	B	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6280・6290
T953・1053・1153	1	ロ	L=720	680	C	G		30	MASSEY FERGUSON OEM MF6150・6160・6170
T1253	1	ロ	L=770	740	B	G			MASSEY FERGUSON OEM MF6180

トラクタ別装着表 KRZ (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切斷寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフトロッド 取付け穴	トップリンク 長さ (mm)	トップリンク 取付け穴	ヒッチピン 取付け穴	2L	KRZ350J-2L	
							KG87	KDV91A	
T105・115	1	イ	L=670	670	B	G		30	MASSEY FERGUSON OEM MF3085・3095
T125	1	イ	L=710	730	B	G			MASSEY FERGUSON OEM MF3125
T98	1	ハ	L=680	810	C	G		KDV96A に変更	MASSEY FERGUSON OEM MF396
T985WX	1	□	ニ L=680	750	B	G		30	
T1085WX	1	□	ホ L=715	790	B	G			
T985 T9520 T9510	1	□	ニ L=760	740	C	G			
T1085 T10520 T10510	1	□	ホ L=795	790	C	G			
TA-C1350	1	イ	ホ	750	B	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	三菱農機 OEM GCR1350
TA-C1005	1	イ	ニ	680	C	G			ヤンマー OEM CT1001
TA-C1003・1203	1	イ	ニ	720	A	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	三菱農機 OEM CR100・120
TA-C140・160	1	イ	ニ	800	B	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	三菱農機 OEM MKM140・160
TA-C100	1	イ	ニ	710	B	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	三菱農機 OEM MKM100
TA-C120	1	イ	ニ	720	B	G		KDV96A に変更	三菱農機 OEM MKM120
GV97 GV955 GV950	2	イ	ハ L=617	650	C	G			クボタ OEM MRZ97 SMZ955 SMZ95
GVK97 GVK955 GVK950	2	イ	ハ L=617	650	C	G			クボタ OEM MRZ97PC SMZ955PC SMZ95PC
GR100G・110G・115G・ 125G・135G	1	□	ホ L=710	750	B	G			クボタ OEM M100G・110G・ 115G・125G・ 135G
GR90A・100A・110A・ 115A・125A・135A GR950・1050・1150・ 1250 GR90・100・115・125	1	□	L=615	760	C	G			クボタ OEM M90A・100A・ 110A・115A・ 125A・135A M95D・105D・ 115D・125DM90・ 100・115・125

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRZ (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ロアー リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	KRZ350J-2L	
							KG87	KDV91A	
GV90	1	□	ニ L=540	660	C	G			クボタ OEM GM90
MT901	1	イ	ニ	670	C	G			ヤンマー OEM AF890
MT920	1	□	ホ	650	C	G		30	ヤンマー OEM PF92
MT90	1	□	ホ	610	C	G		30	芝浦 OEM V90
GCR1010 GCR1000	1	イ	ニ	680	C	G			ヤンマー OEM CT1010 CT1001
GCR1350	1	イ	ニ	750	B	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	
GCR100・120	1	イ	ニ	720	A	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	
GCR140・160	1	イ	ニ	800	B	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	
MKM100	1	イ	ニ	710	B	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	
MKM120	1	イ	ニ	720	B	G		KDV96A に変更	
MKM1150X	1	□	ニ L=725	650	C	G		KDV96A に変更	長いトップリンクへ 要交換 諸岡 OEM MK100S
MKM1450X	1	イ	ニ L=725	720	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	諸岡 OEM MK140S
MKM1150・1450	1	イ	ホ L=725	720	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	諸岡 OEM MK100(96)・140(96)
MKM100(94)・115(94)・ 140(94)・160(94)	1	□	ニ L=675	720	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	諸岡 OEM MK100(94)・ 120(94)・140(94) ・160(94)
MKM100・115・140	1	□	ニ L=675	720	C	G		KDV96A に変更	諸岡 OEM MK100・120・140
V90	1	□	ホ	610	C	G		30	
MK100S	1	□	ニ L=725	650	C	G		KDV96A に変更	長いトップリンク へ要交換
MK120S・140S・160S	1	イ	ニ L=725	720	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	
MK90(96)	1	□	ホ L=725	650	C	G		KDV96A に変更	
MK100(96)・120(96)・ 140(96)・160(96)	1	イ	ホ L=725	720	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	
MK90(94)	1	□	ニ L=675	660	C	G		KDV96A に変更	
MK100(94)・120(94)・ 140(94)・160(94)	1	□	ニ L=675	720	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	

トラクタ別装着表 KRZ (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク取付け穴	ロアーリンク取付け穴	リフトロッド取付け穴	トップリンク長さ (mm)	トップリンク取付け穴	ヒッチピン取付け穴	2L	KRZ350J-2L	
							KG87	KDV91A	
MK90	1	□	ニ L=675	740	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	
MK100・120・140・160	1	□	ニ L=675	720	C	G		KDV96A に変更	
MF1726(ZLWX)	1	イ	ホ	680	C	G			井関農機 OEM TJV95(ZLWX)
MF1726(GLWD)	1	イ	L=530	760	C	G		KDV96A に変更	クイックヒッチタイプの トップリンク・ ロアーリンク 水平制御なし 井関農機 OEM TJV95(GLWD)
MF1728・1730	1	イ	ホ L=565	720	C	G			井関農機 OEM TJW107・117
MF292 MF492	1	ハ	L=800	880	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	長いトップリンク へ要交換
MF396	1	ハ	L=680	810	C	G		KDV96A に変更	
MF399	1	□	L=465	800	C	G		KDV96A に変更	
MF698	1	ハ	L=680	810	C	G		KDV96A に変更	
MF699	1	□	L=465	800	C	G		KDV96A に変更	
MF3075・3085・3095	1	イ	L=670	670	B	G		30	
MF3115・3125	1	イ	L=710	730	B	G			
MF3645(91馬力)	1	イ	L=530	630	B	G		30	馬力要確認
MF4255	1	イ	L=705	850	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	
MF4270	1	イ	L=750	890	C	G	KG97 に変更	KDV106A に変更	
MF4455	1	イ	L=615	760	B	G		KDV96A に変更	
MF5455・5460・5465	2	イ	L=650	660	C	G		30	
MF5470・5475・5480	1	イ	L=605	690	C	G			
MF6140	1	□	L=650	680	C	G		30	
MF6150・6160・6170	1	□	L=720	680	C	G		30	
MF6180・6190	1	□	L=770	740	B	G			
MF6255・6260・6265・ 6270	2	イ	L=650	670	B	G			
MF6280・6290	1	イ	L=700	740	B	G			
MF6445・6455・6460・ 6470	1	イ	L=670	670	A	G		30	
MF6465・6475・6480	1	イ	L=720	730	A	G			
MF6485・6490	2	イ	L=900	800	C	G			

必要に応じて

トラクタ別装着表

トラクタ別装着表 KRZ (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント切断寸法 (mm)		備考
	トップリンク 取付け穴	ロアーリンク 取付け穴	リフトロッド 取付け穴	トップリンク 長さ (mm)	トップリンク 取付け穴	ヒッチピン 取付け穴	2L	KRZ350J-2L	
							KG87	KDV91A	
MF7465・7475・7480	1	イ	L=690	810	A	G			
MF7485・7490	1	イ	L=700	860	A	G		KDV96A に変更	
T5050・5060・5070	1	イ	L=595	700	B	G			
T6010Delta・6015Delta・ 6030Delta・6050Delta・ 6070Delta	1	□	L=760	790	B	G			
T6020Elite・6060Plus T6030Elite・6070Plus	1	□	L=790	800	B	G			
T6050RC・6070RC・ 6080RC	1	□	L=800	800	B	G			
T6080PC	1	□	L=800	800	B	G			
TM120・130・140・155 TM115・125・135・150・ 165	1	イ	L=760	790	B	G			
F8160・8260・8360・ 8560	1	イ	L=700	780	B	G			
TS100A・110A・115A・ 125A・135A	1	□	L=830	810	B	G			
F7610・7710・7810・ 8210 F7600	1	□	L=790	710	C	G			
TL100A F7635	1	イ	L=580	730	C	G			
TS100・110・115 F7740・7840・8240・ 8340	1	□	L=800	680	C	G			トップリンク 取付け穴 1個
TS100・110・115 F7740・7840・8240・ 8340	1	□	L=800	590	B	G			トップリンク 取付け穴 2個
JD5100R	1	イ	L=740	700	A	G		30	
JD6105R・6115R・ 6125R・6130R	1	イ	L=890	740	B	G			
JD6230・6330・6430・ 6630 JD6220・6320・6420・ 6520・6620 JD6210・6310・6410・ 6510・6610 JD6300・6400・6600	1	イ	L=730	670	C	G		30	
JD6830・6930 JD6820・6920 JD6810・6910 JD6800・6900	1	イ	L=900	700	B	G		30	
JD5525	1	イ	L=530	610	C	G		30	

トラクタ別装着表 KRZ (2L仕様)

トラクタ型式	トラクタ部の調整				作業機側		ジョイント 切断寸法 (mm)		備 考
	トップ リンク 取付け穴	ローア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ (mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピン 取付け穴	2L	KRZ350J-2L	
							KG87	KDV91A	
JD3050・3350 JD3040・3140 JD3130	1	イ	L=850	730	C	G		30	
JD3650	1	イ	L=750	760	C	G		KDV96A に変更	CAT III仕様
MXU100・110・115・ 125・135	1	□	L=830	810	B	G			CNH TS100A・110A・115A・ 125A・135A
MXM120・130・140・ 155	1	イ	L=760	790	B	G			CNH TM120・130・ 140・150
PUMA125・140・155	1	□	L=800	800	B	G			CNH T6050RC・ 6070RC・ 6080RC
In5120・5130・5140	1	イ	L=630	890	C	G			長いトップリンク へ要交換
CX95・105 CX90・100	2	イ	L=720	690	C	G			
MC95・105・115・120 MC90・100 MXC90・100 MX100 MX110	1	イ	L=610	820	B	G			
MXC100(2008年～)	1	□	L=595	700	B	G			CNH T5050・5060・5070
MAXXUM 110(2008年～)	1	□	L=790	800	B	G			CNH T6020Elite
FENDT 310・311・312	1	イ	L=670	810	B	G			
FENDT 412	1	イ	L=650	780	B	G			
DK902C	1	□	L=600	770	B	G			

必要に応じて

トラクタ別装着表

異常診断一覧表

使用中あるいは使用後の点検時に下表の異常が発生した場合、そのままにしておきますと故障、事故の原因となります。

再使用せず、直ちに対策を行ってください。

本体各部	症 状	原 因	対 策
ギヤケース	異音の発生	ベアリングの損傷	ベアリング交換
		ギヤの損傷	ピニオンギヤとベベルギヤをセットで交換
		ギヤ同士のかみ合い不良	シムで調節
	オイル漏れ	入力軸：軸受け部オイルシールの損傷	オイルシール交換 (→ p.54)
		パッキンの劣化、損傷	パッキン交換 (→ p.54)
		カバー取付けボルトの緩み	ボルト増し締め (→ p.54)
	異常な高温の発生	オイル量の不足	オイル補給 (→ p.54)
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
		耕深が深く、車速が速いなど負荷が大きい	耕深を浅く、車速を遅くする
チェンケース	異音の発生	チェンの破損	チェン交換
		テンショナの破損	テンショナ交換
		スプロケットの損傷	スプロケット交換
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
	オイル漏れ	フローティングシール、Oリング、パッキンの劣化、損傷	フローティングシール、Oリング、パッキン交換 (→ p.60)
		カバー取付けボルトの緩み	ボルトの増し締め
	異常な高温の発生	オイル量の不足	オイル補給 (→ p.54)
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
		耕深が深く、車速が速いなど負荷が大きい	耕深を浅く、車速を遅くする
フレーム	エプロン作動不良	エプロンヒンジ部のセンターが出ていない	ボルトを緩めて調節
		可動部グリス切れ	グリス塗布 (→ p.57)
	ハネアゲロックピンの破損	エプロンをはね上げロック状態にしたままでの耕うん作業・路上走行	ハネアゲロックピンの交換
	コンプレッションロッドの曲がり		コンプレッションロッドの交換

本体各部	症 状	原 因	対 策
耕うん軸	異音の発生	軸受け部のベアリングの損傷	ベアリング交換
		耕うん爪取付けボルトの緩み	ボルト締め付け
		耕うん爪の変形によるカバーとの干渉	耕うん爪交換 (→ p.42)
	振動の発生	耕うん軸の曲がり	耕うん軸交換
		耕うん爪、爪軸へのワラ、草などのかかり	ワラ、草などの除去 (→ p.42)
		耕うん爪の配列不良	爪配列の点検 (→ p.42)
	軸回転不良	チェンの切損	チェン交換
		駆動軸の折損	駆動軸交換
		ギヤの破損	ギヤ交換
	オイル漏れ	フローティングシール、軸付きシールの損傷	フローティングシール、軸付きシールの交換 (→ p.60)
		パッキン、Oリングの劣化、損傷	パッキン、Oリング交換
	残耕の発生	耕うん爪の摩耗、折損	耕うん爪交換 (→ p.42)
		耕うん爪の配列不良	爪配列の点検 (→ p.42)
異常な土寄りの発生	耕うん爪の配列不良	爪配列の点検 (→ p.42)	
ジョイント	異音の発生	グリス切れ	グリスアップ (→ p.57)
		ジョイント折れ角が不適格	マッチング姿勢の矯正 (→ p.23, 30)
		ローターの上げすぎ	リフト量の規制 (→ p.22, 29)
	たわみ発生	シャフトのかみ合い幅不足	長いものと交換
	スプライン部のガタ	ノックピンとヨークの摩耗	交換

廃棄について

廃棄物などの不適切な処理は、法律により処罰されることがあります。保守時に発生した廃棄物の処置は、適切な処理をしてください。

注意事項

本作業機やその保守時に発生する廃棄物の処分は、国、または地方行政の法令の規制対象となるものがあります。

廃棄する際は、国または地方行政の法令に従い産業廃棄物処理業者に依頼するなど適切な処理をしてください。

⚠ 注意



必ず実行

本作業機やその保守時に発生した廃棄物を廃棄するときは、国または地方行政の法令に従ってください。

* 間違った廃棄を行うと、作業機からオイルが漏れ、川・海に流れだし汚染することがあります。

用語解説

ここでは用語について解説します。

アタッチメント

作業機に後付けする部品

オートヒッチ

ワンタッチで作業機を装着できるヒッチ

クリーブ

超低速の作業速度

耕深

耕うんする深さ

3点リンク

トラクタに作業機を装着するための3点で支持を行うリンク

トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の上部を吊り下げているリンク

ロアーリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下部を吊り下げているリンクで、左右1本ずつある

チェックチェン

トラクタに対し作業機が左右に振れる量を規制するチェン

揚力

トラクタが作業機を上昇させるための力

ジョイント

トラクタの動力を作業機へ伝達するための軸

リフトロッド

トラクタが作業機を上げるためロアーリンクと連結しているアーム

ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

MEMO

必要に応じて

廃棄について
用語解説

KOBASHI

小橋工業株式会社

〒701-0292 岡山市南区中畦684

インターネットでも弊社の情報をご覧いただけます。

<http://www.kobashiindustries.com>

■北海道営業所	〒071-1248	北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番	☎ (0166) 49-0070
■東北営業所	〒024-0004	岩手県北上市村崎野13地割35-1	☎ (0197) 71-1160
■関東営業所	〒321-3325	栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台47-1	☎ (028) 687-1600
■新潟営業所	〒942-0041	新潟県上越市安江477-1	☎ (025) 546-7747
■岡山営業所	〒701-0165	岡山市北区大内田727	☎ (086) 250-1833
■九州営業所	〒861-2236	熊本県上益城郡益城町広崎1586-8 2F	☎ (096) 286-0202